

茨木市次世代育成支援に関するニーズ調査

結果報告書（案）

（就学前児童・小学生児童）

平成31年（2019年）3月

茨木市

目 次

I. 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	1
4 調査結果の見方	1
II. 調査結果	2
1 家族構成・保護者の就労状況などについて	2
2 平日の定期的な施設やサービス利用の状況	18
3 学童保育の利用について	23
4 子どもが病気になったときの対応について	30
5 平日の定期的な施設やサービスの利用希望について	35
6 幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日の利用について	37
7 仕事と子育ての両立について	42
8 就学前児童（5歳以上）の小学校就学後の放課後の過ごし方について	51
9 子どもを預かるサービスの不定期的な利用について	61
10 地域子育て支援サービスの利用について	68
11 市役所などへの要望について	75
12 子どもの生活習慣について	80
13 子どものふだんの過ごし方	83
14 子どもの地域での自然体験などへの参加などについて	83
15 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について	86
16 子育てに対する意識について	89

I. 調査概要

1 調査目的

現行の「茨木市次世代育成支援行動計画」が2019年度末で終了することから、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を含めた、次世代育成支援施策の新たな計画として「茨木市次世代育成支援行動計画（第4期）」を策定することとしている。本調査は、新たな計画策定にあたって、市民の子ども・子育て支援施策の利用状況と今後の利用希望、また子育て世帯の生活実態、意見・要望などを把握することを目的に実施した。

2 調査設計

- (1) 調査地域 茨木市全域
- (2) 調査対象
 - ・市内在住の就学前児童の保護者
 - ・市内在住の小学生の保護者
- (3) 対象者数 住民基本台帳から、就学前児童の保護者 2,000 人、小学生の保護者 2,000人の合計4,000人を無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配付及び郵送回収による郵送調査法（調査期間中に礼状兼督促はがきを送付）と、インターネット調査
- (5) 調査期間 平成30年12月13日（木）～平成30年12月27日（木）

3 回収結果

区分		配付数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	平成30年度調査	2,000	1,139	57.0%
	平成25年度調査	2,000	1,034	51.7%
小学生の保護者	平成30年度調査	2,000	1,087	54.4%
	平成25年度調査	2,000	958	47.9%
計	平成30年度調査	4,000	2,226	55.7%
	平成25年度調査	4,000	1,992	48.6%

4 調査結果の見方

- (1) 図中の「n」は、設問に対する回答者数のことを示す。
- (2) 回答比率（%）は回答者数（n）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示している。小数点以下の端数処理の関係で、内訳の合計が計に一致しないことがある。
- (3) 複数回答（すべてに○、3つまでに○等）を依頼した質問は、回答比率（%）の計は100.0%を超える。
- (4) 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

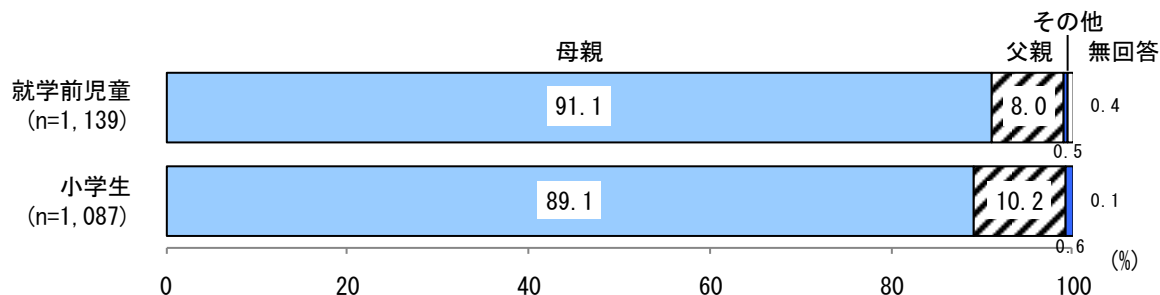
II. 調査結果

1 家族構成・保護者の就労状況などについて

(1) 調査票回答者

問2(問2) この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

調査票回答者は、就学前児童は「母親」が91.1%を占め、「父親」が8.0%となっている。一方、小学生は、「母親」が89.1%で、「父親」は10.2%となっている。

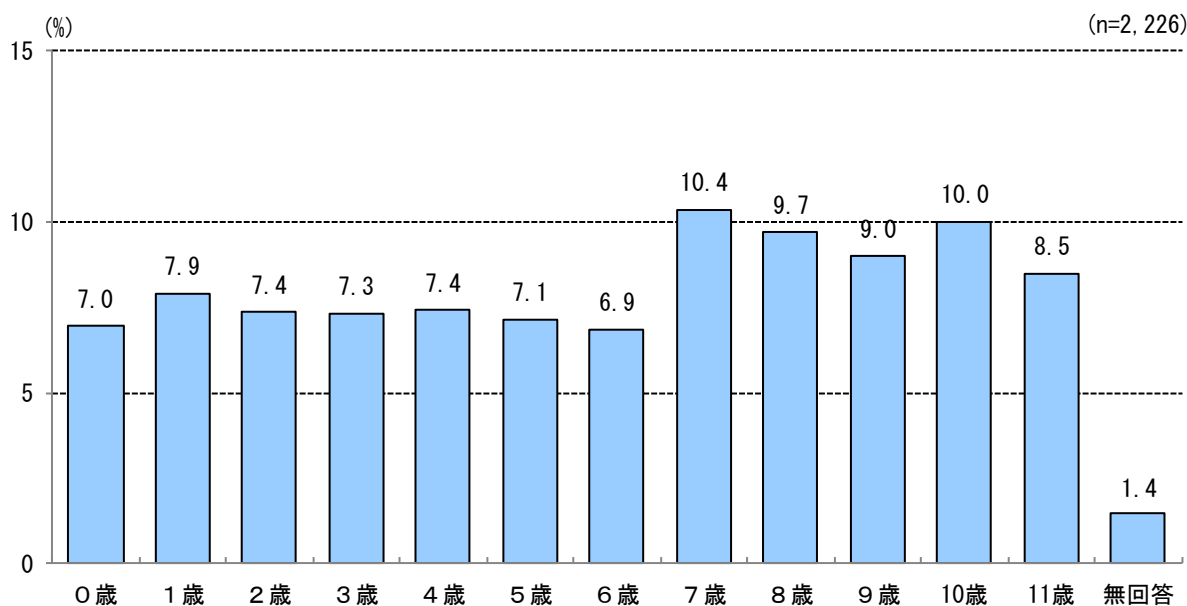


(2) 対象の子どもの年齢・学年

問3(問3) 封筒のあて名のお子さんの生年月について、「平成」か「西暦」に○をつけ、() 内に数字を入れてください。

就学前児童に該当する年齢(0~5歳)では、「1歳」が7.9%、「2歳」「4歳」が各々7.4%となっている。

小学生に該当する年齢(6~11歳)では、「7歳」は10.4%、「10歳」が10.0%、「8歳」が9.7%となっている。



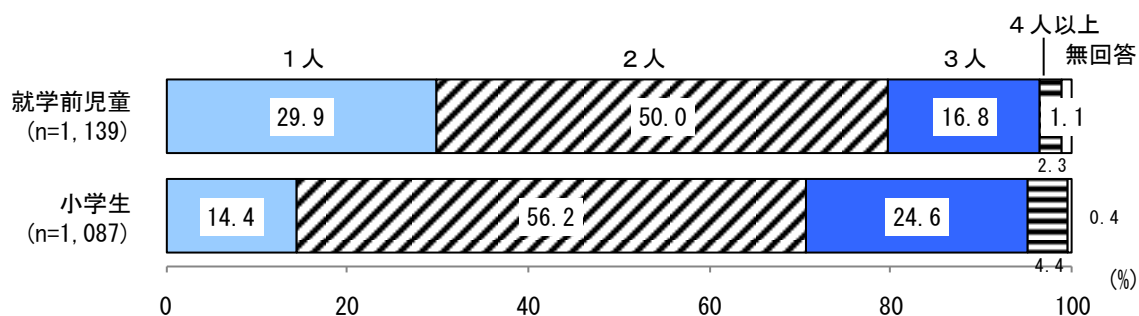
※割合は就学前児童と小学生の回答を合算して算出

(3) 子どもの人数

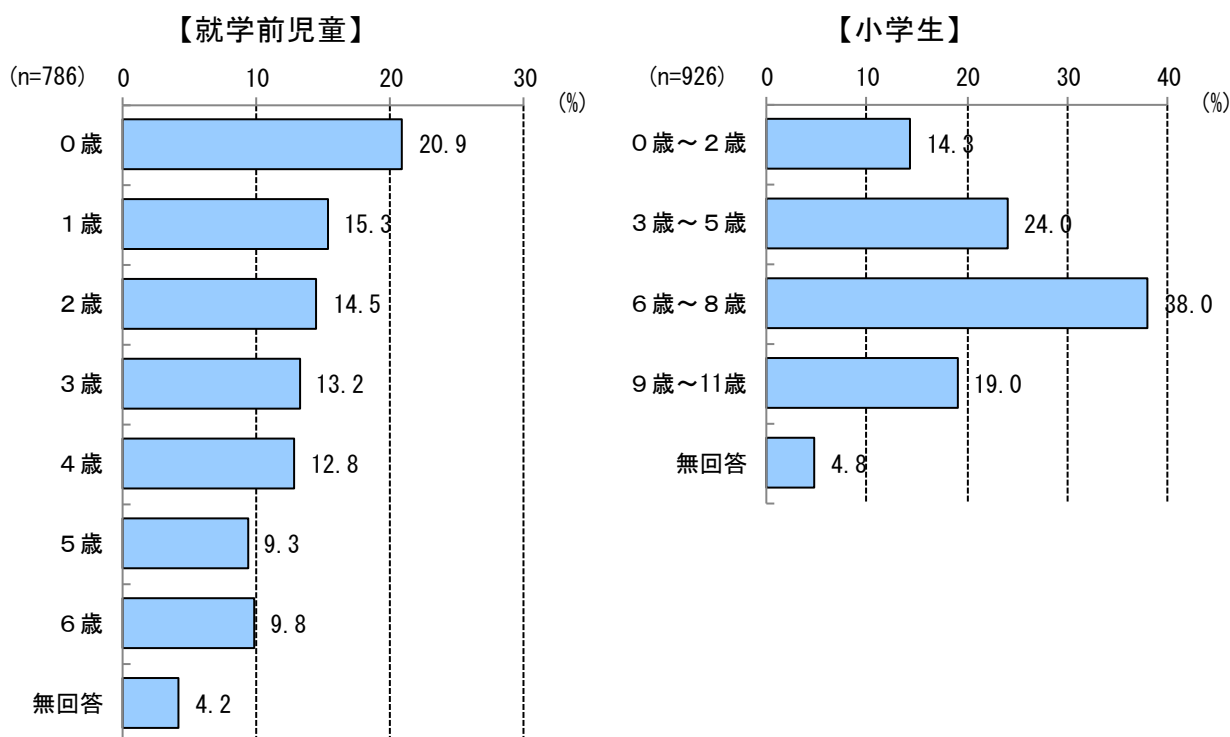
問4 (問4) 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成30年4月1日現在の年齢）を記入してください。

就学前児童は、「2人」が50.0%で最も多く、次いで、「1人」が29.9%、「3人」が16.8%、「4人以上」が2.3%となっている。一方、小学生も「2人」が56.2%と最も多く、次いで、「3人」が24.6%、「1人」が14.4%、「4人以上」が4.4%となっている。
末子の年齢は、就学前児童は「0歳」が20.9%と最も多く、小学生は「6～8歳」が38.0%で最も多い。

□子どもの人数



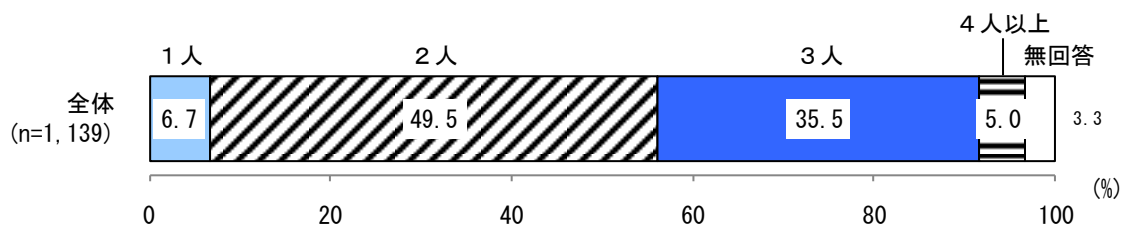
□末子の年齢



(4) 希望の子どもの数 [就学前児童のみ]

問5 希望として子どもが何人ほしいですか。

「2人」が49.5%と最も多く、次いで、「3人」が35.5%となっている。

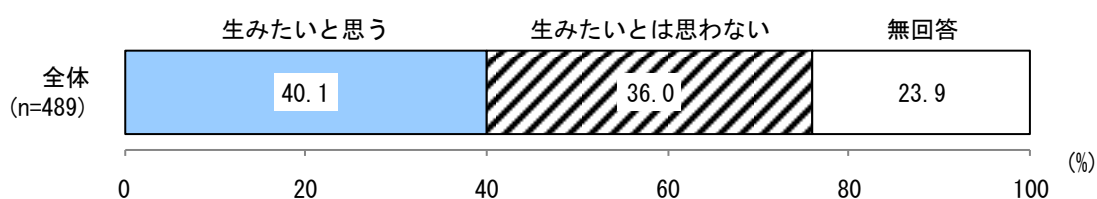


(5) 現在の家庭・教育環境等において、もう1人以上子どもを生むことについて [就学前児童のみ]

① もう1人以上子どもを生むことに対する意向

問6 希望するお子さんの数が現在のお子さんの数より多い方におうかがいします。現在の家庭・教育環境等においても、もう1人以上の子どもを生みたいと思えますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

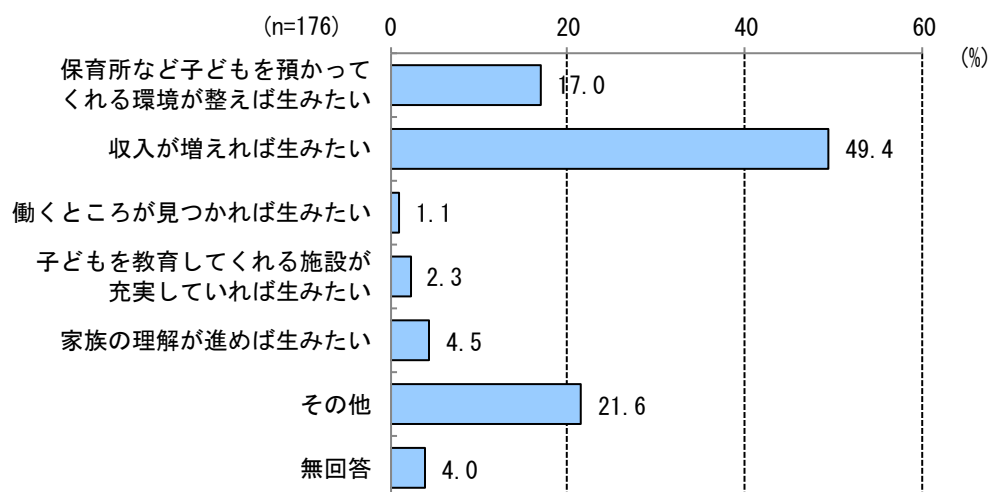
「生みたいと思う」が40.1%に対し、「生みたいと思わない」が36.0%となっている。



② もう1人以上子どもを生むために必要な環境

問6-1 問6で「2. 生みたいと思わない」を選ばれた方におうかがいします。どのような環境が整えばもう1人以上の子どもを生みたいと思えますか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

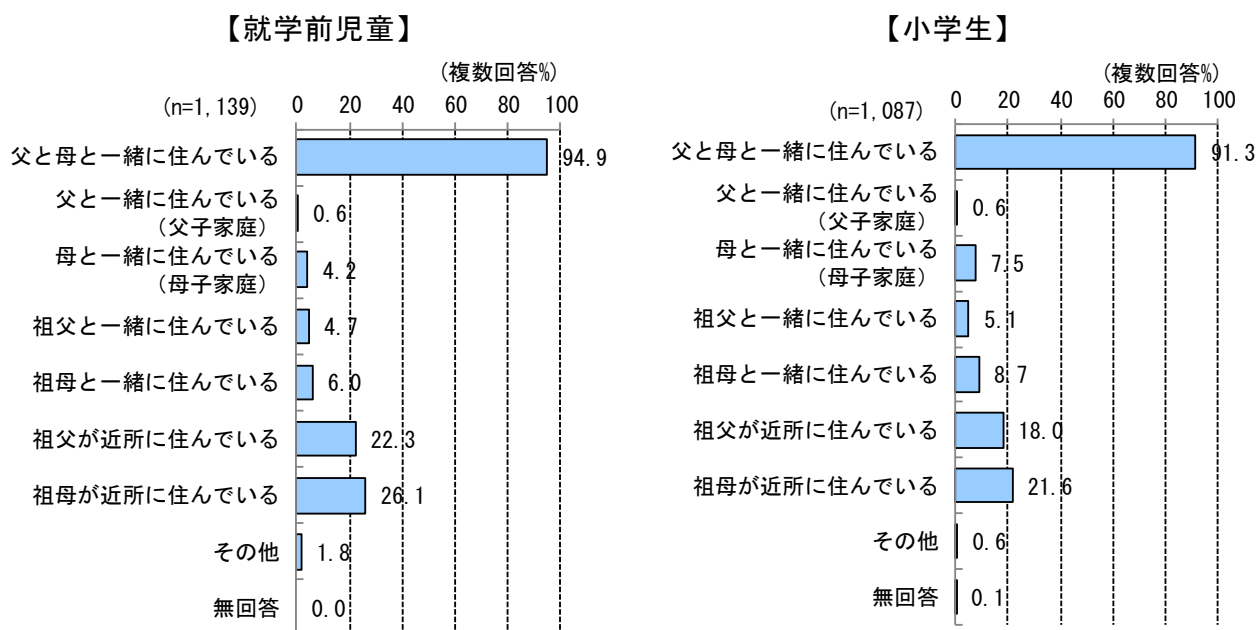
「収入が増えれば生みたい」が49.4%で最も多い。



(6) 同居・近居者の状況

問7(問5) 封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢は封筒のあて名のお子さんから見た関係です。

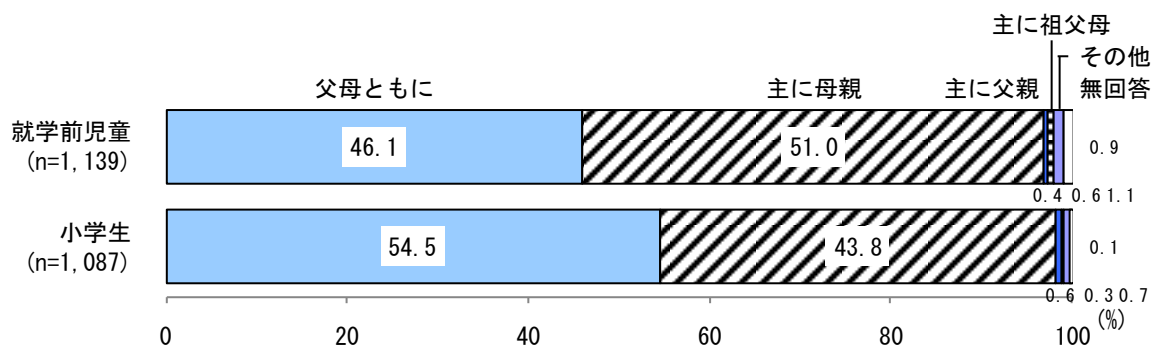
就学前児童、小学生とも「父と母と一緒に住んでいる」が9割を占めている。父子家庭は、就学前児童、小学生とも0.6%、母子家庭は就学前児童が4.2%、小学生は7.5%となっている。



(7) 子育てや子どもの教育を主に行っている人

問8(問6) 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。選択肢は封筒のあて名のお子さんから見た関係です。

就学前児童は、「主に母親」が51.0%で半数を超えているのに対し、小学生では「父母ともに」が54.5%となっている。

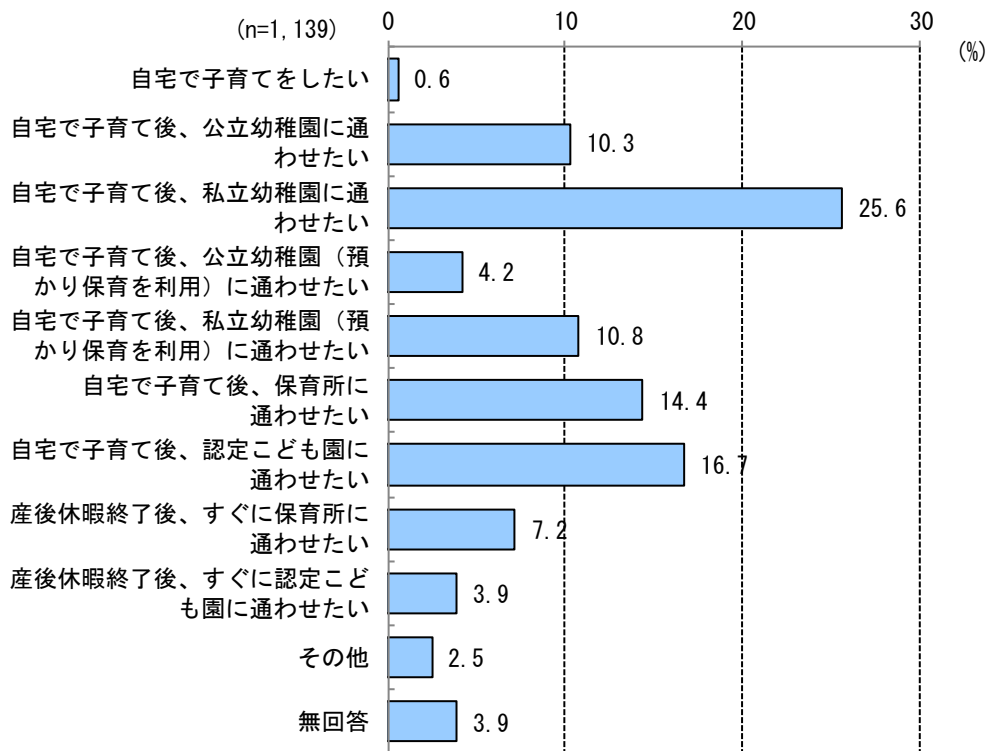


(8) 希望する子育ての環境 [就学前児童のみ]

問9 就学前の子育てについておうかがいします。現在、国では幼児期の教育・保育の無償化を進めています。条件が許せば、どのような子育てを希望しますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 なお、「自宅で子育て」には、産後休暇は含みません。

「自宅で子育てをした後、私立幼稚園に通わせたい」が25.6%で最も多い。これに次いで「自宅で子育てをした後、認定こども園に通わせたい」が16.7%、「自宅で子育てをした後、保育所に通わせたい」(14.4%)などが続く。

□希望する子育ての環境



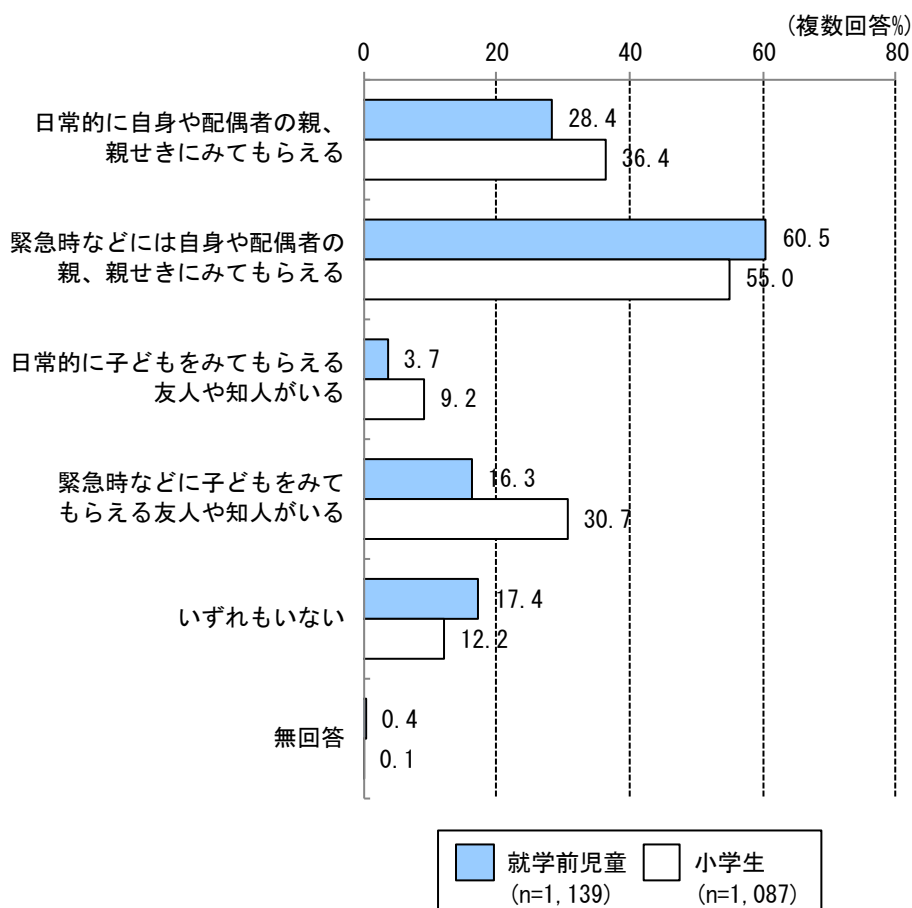
□子育て支援施設に通わせたい子どもの年齢

	n	0歳まで	1歳まで	2歳まで	3歳まで	4歳まで	5歳まで	6歳まで	無回答
自宅で子育てをしたい	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自宅で子育て後、公立幼稚園に通わせたい	117	-	0.9	17.9	64.1	13.7	1.7	1.7	-
自宅で子育て後、私立幼稚園に通わせたい	292	-	1.0	20.2	74.0	3.4	0.3	0.3	0.7
自宅で子育て後、公立幼稚園(預かり保育を利用)に通わせたい	48	-	4.2	22.9	68.8	2.1	-	-	2.1
自宅で子育て後、私立幼稚園(預かり保育を利用)に通わせたい	123	-	5.7	27.6	64.2	0.8	-	0.8	0.8
自宅で子育て後、保育所に通わせたい	164	3.7	51.2	28.7	15.2	1.2	-	-	-
自宅で子育て後、認定こども園に通わせたい	190	1.1	32.6	30.0	33.2	1.6	-	0.5	1.1
産後休暇終了後、すぐに保育所に通わせたい	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産後休暇終了後、すぐに認定こども園に通わせたい	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(9) 日頃、子どもの面倒をみてもらえる人の有無

問10(問7) 日頃、封筒のあて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童、小学生とも「緊急時もしくは用事のあるときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」(就学前60.5%、小学生55.0%)が最も多く、これに次いで「日常のご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」(就学前28.4%、小学生36.4%)となっている。「緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」の割合は、就学前児童(16.3%)に比べ、小学生(30.7%)のほうが14.4ポイント高い。

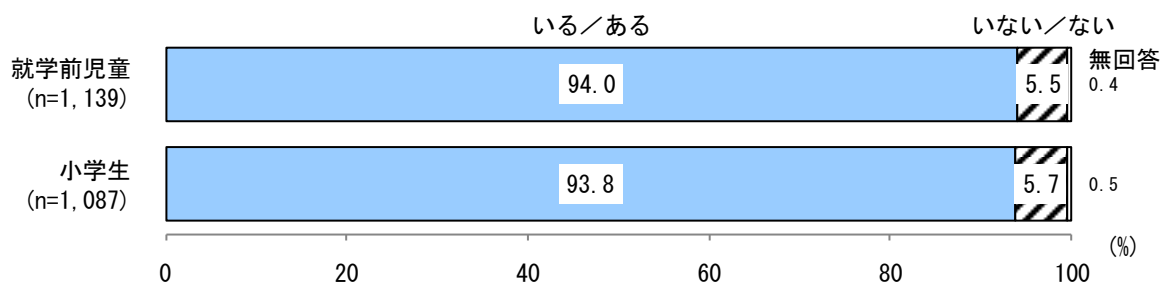


(10) 子育てや子どもの教育についての相談の状況

①気軽に相談できる人や場所の有無

問11(問8) 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

就学前児童、小学生とも「いる／ある」が9割を占めているが、「いない／ない」と回答した保護者が6%程度存在する。

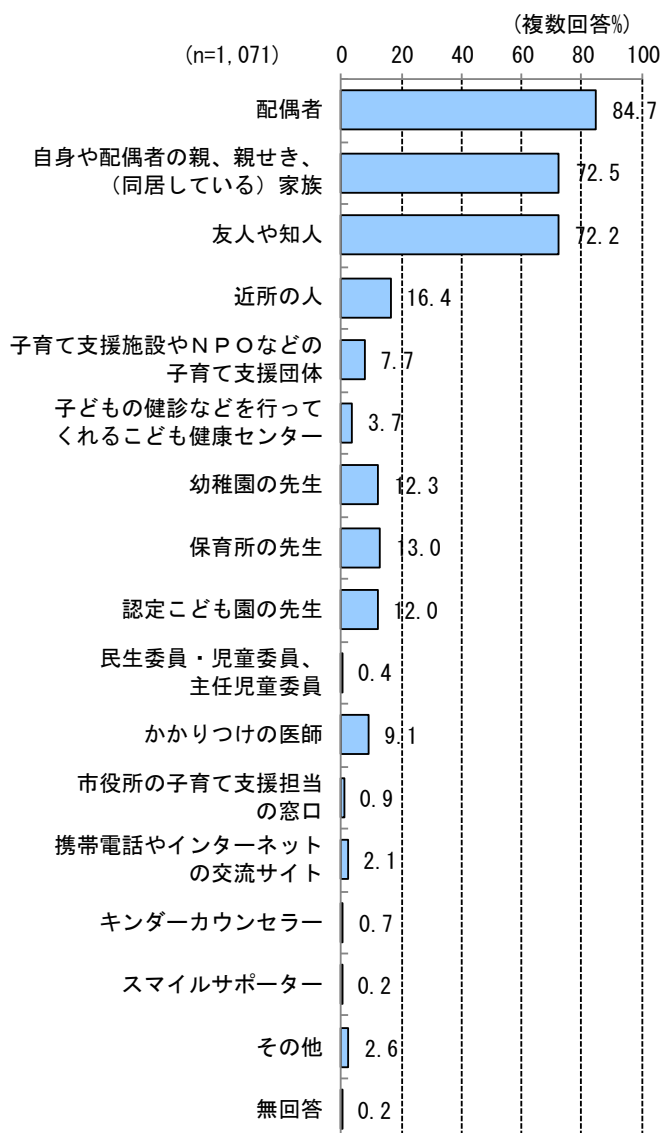


②具体的な相談先

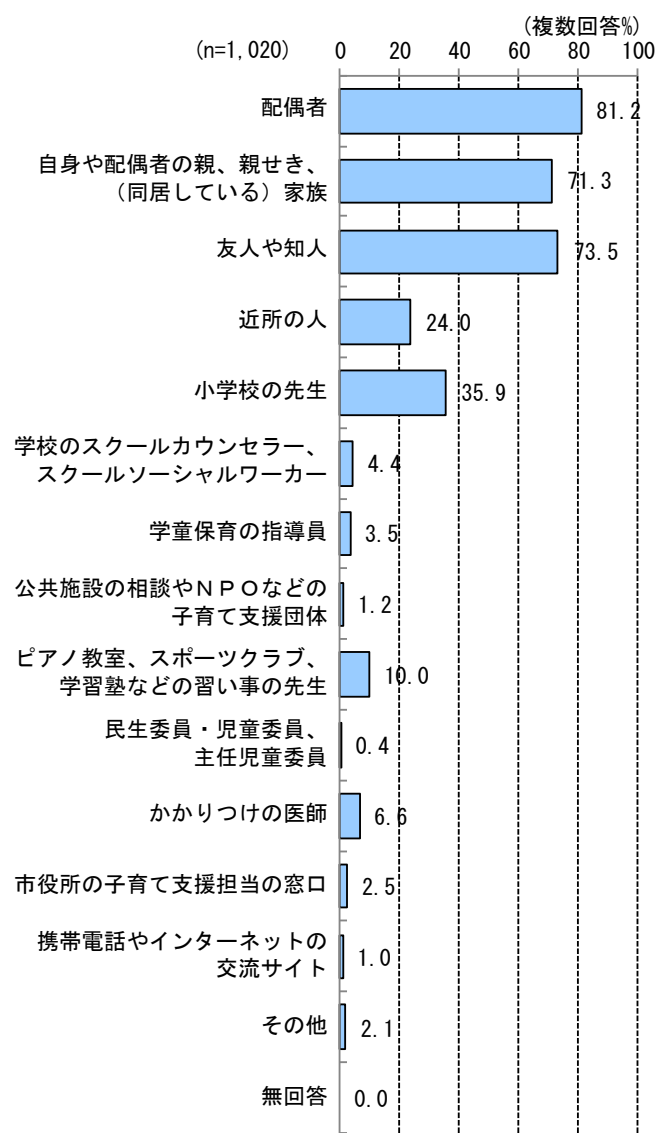
問11-1(問8-1) 問11(問8)で「1. いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童、小学生とも「配偶者」がそれぞれ8割を占め最も多い。これに次いで、就学前児童、小学生とも「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」(就学前72.5%、小学生71.3%)、「友人や知人」(就学前72.2%、小学生73.5%)が上位となっている。

【就学前児童】



【小学生】

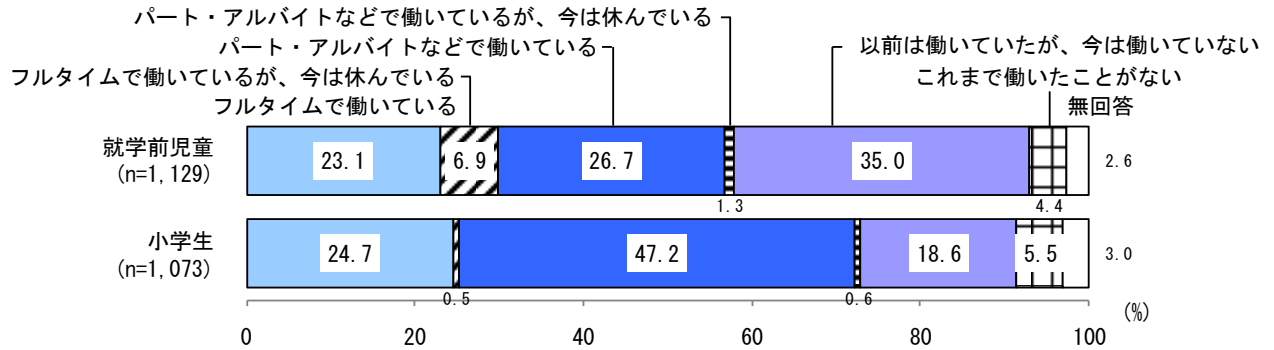


(11) 母親の就労状況

① 就労形態

問12(問9) 封筒のあて名のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

就学前児童の母で、育休等で休んでいる場合を含めた就労者は58.0%で、そのうちフルタイム就労者が30.0%、パート等就労者が28.0%となっている。一方、「以前は働いていたが、今は働いていない」が35.0%となっている。一方、小学生の母の就労者は73.0%で、そのうちパート等の就労者が47.8%となっており、就学前児童の母に比べ非正規雇用の割合が高い。



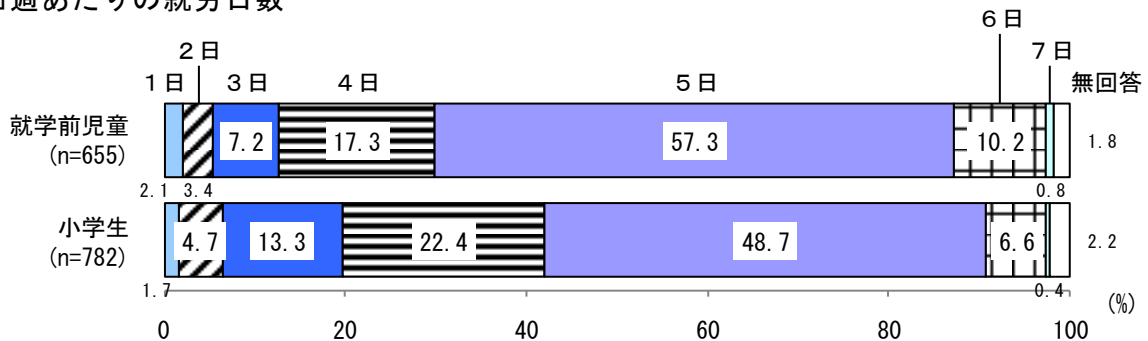
②週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間

問12-1(問9-1) 問12(問9)で「フルタイム」または「パート・アルバイト」を選ばれた方(休業中の方も含む)におうかがいします。1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

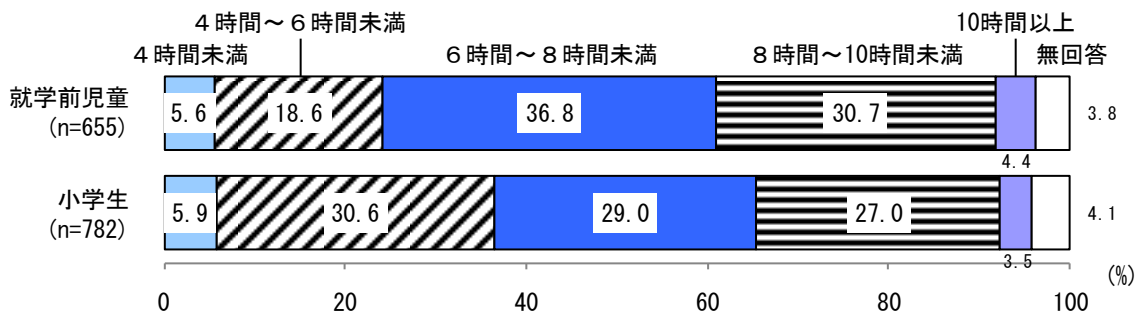
週あたりの就労日数は、就学前児童の母では「5日」が57.3%で最も多く、次いで「4日」の17.3%である。小学生の母も「5日」が48.7%で最も多く、就学前児童の比べ「3日」「4日」の各割合が高くなっている。

1日あたりの就労時間は、就学前児童の母では「6時間～8時間未満」が36.8%で最も多く、次いで「8時間～10時間未満」が30.7%となっている。小学生の母では「4時間～6時間未満」(30.6%)と「6時間～8時間未満」(29.0%)が各3割程度となっている。

□週あたりの就労日数



□1日あたりの就労時間



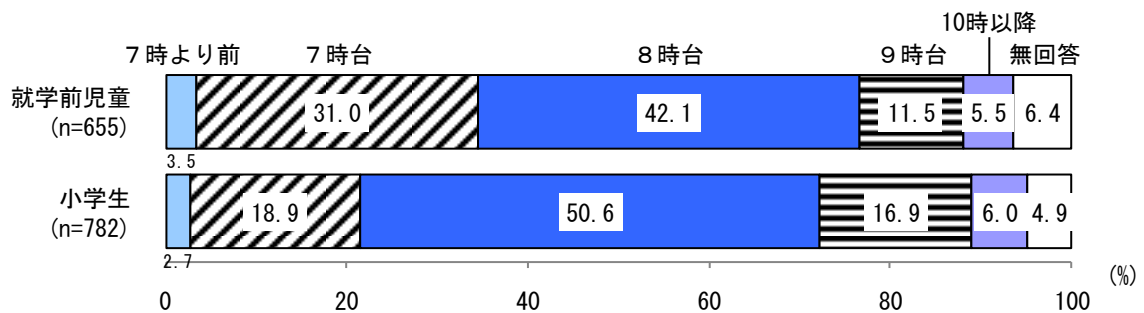
③家を出る時間と帰宅時間

問12-2 (問9-2) 問12 (問9)で「フルタイム」または「パート・アルバイト」を選ばれた方(休業中の方も含む)におうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

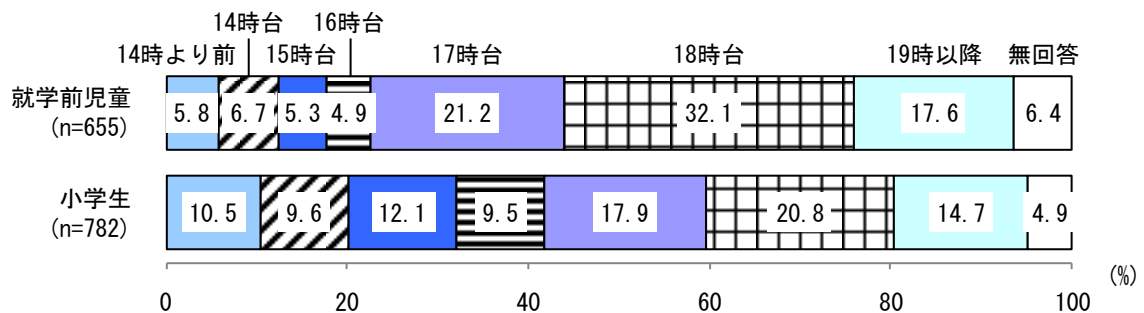
家を出る時間は、就学前児童の母では「8時台」が42.1%で最も多く、次いで「7時台」の31.0%である。小学生の母も「8時台」が50.6%で最も多くなっている。

帰宅時間は、就学前児童の母では「18時台」が32.1%で最も多く、次いで「17時台」の21.2%である。小学生の母の場合は、帰宅時間にばらつきがあり、「18時台」が20.8%で最も多くなっている。

□家を出る時間



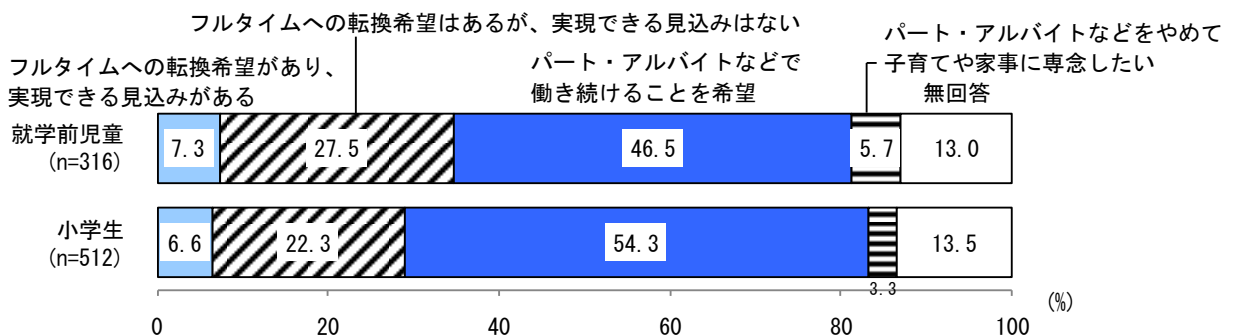
□帰宅時間



④パート・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望

問14(問11) 問12(問9)で、「フルタイム」または「パート・アルバイト」を選ばれた方(休業中の方も含む)におうかがいします。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

現在、パート・アルバイトで働く母の中で、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」する割合が就学前児童、小学生とも半数前後を占めている。一方、フルタイムへ転換希望のある割合は、就学前児童の母では34.8%、小学生の母では28.9%で、いずれも「実現できる見込みはない」の割合が高い。

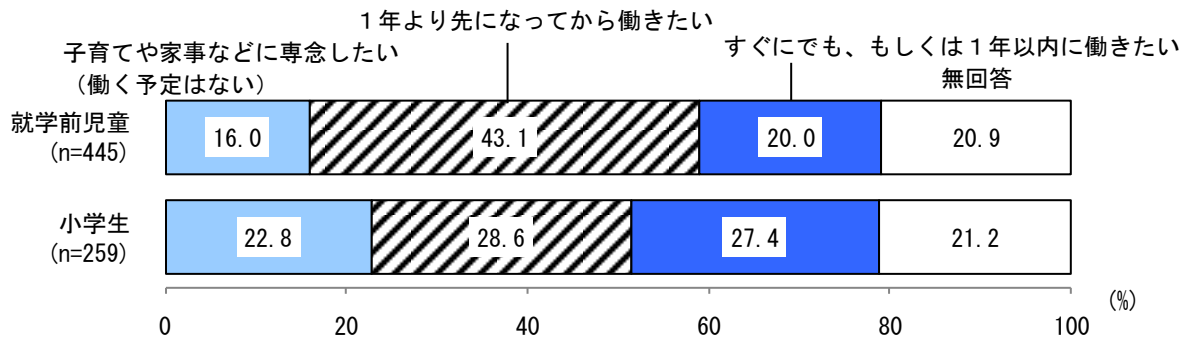


⑤無職の人の就労希望の状況

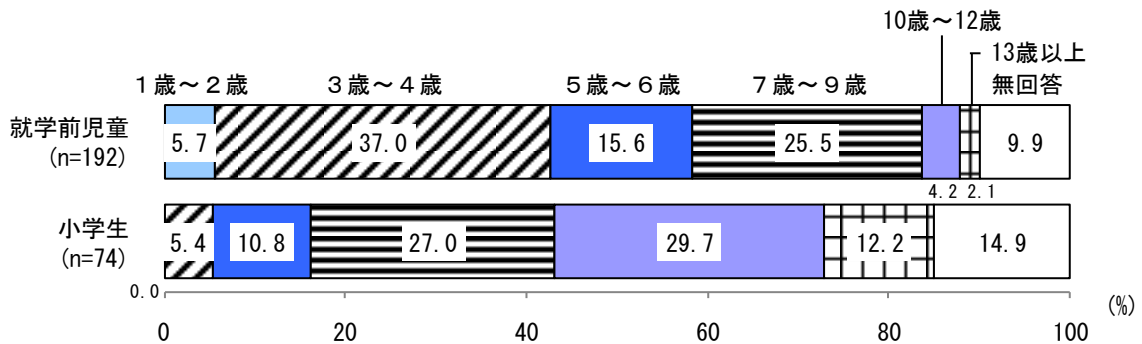
問15(問12) 問12(問9)で「働いていない」を選ばれた方におうかがいします。
働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

現在働いていない母で、今後就労希望がある割合は、就学前児童では63.1%で、小学生では56.0%となっている。就学前児童の母で就労希望がある人では、1年より先で、一番下の子どもが3～4歳になったところに働きたいという割合が37.0%で最も高い。また小学生の母では、1年より先で、一番下の子どもが7歳～12歳になったところに働きたいという割合が56.7%と高くなっている。

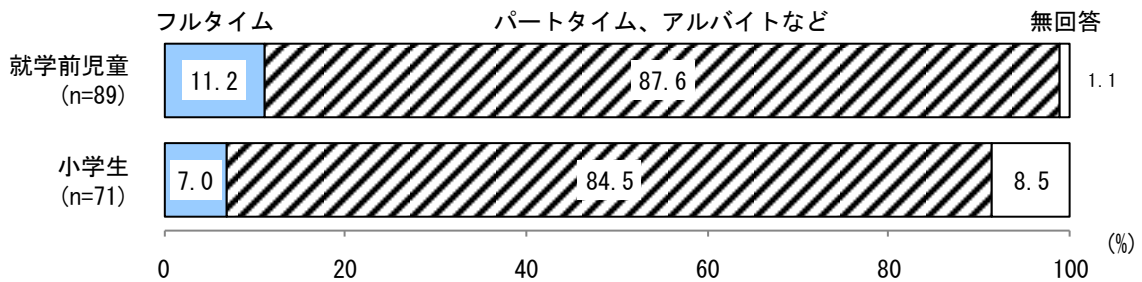
希望する就労形態としては、就学前児童・小学生とも、週に3～4日程度、1日あたり「4時間～6時間未満」ぐらいの「パートタイム、アルバイトなど」が多くなっている。

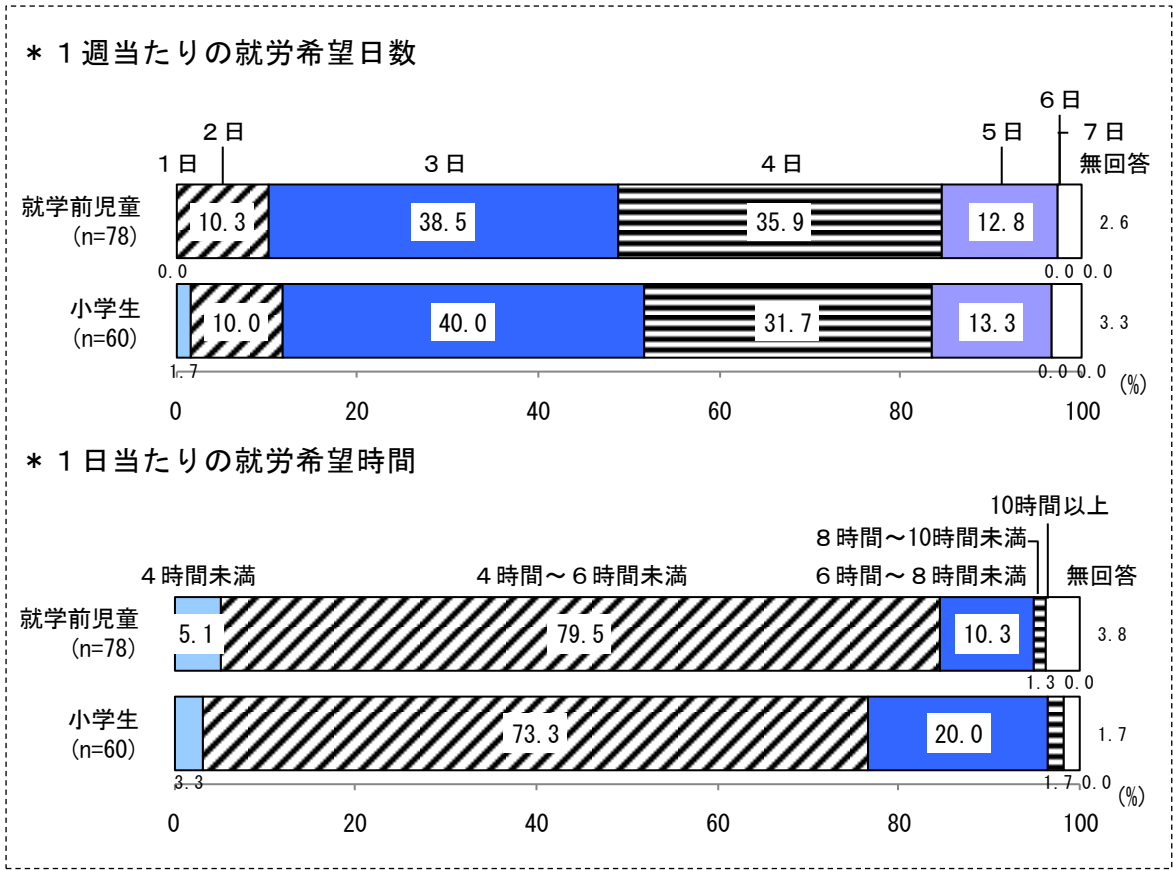


* 1年より先で働きたいときの末子の年齢



* 希望する働き方





(12) 父親の就労状況

① 就労形態

問13(問10) 封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

就学前児童、小学生のいずれも、育休等で休んでいる場合を含めた就労する父は9割を占めている。

	n	フルタイムで働いている	フルタイムは休んでいる	パート・アルバイトなど	パート・アルバイトなど、今までは働いていないが、	今以前は働いていないが、	これまで働いたことがない	無回答
就学前児童	1,088	92.6	0.2	0.8	-	0.3	0.1	6.1
小学生	998	91.7	0.2	1.0	-	0.4	0.2	6.5

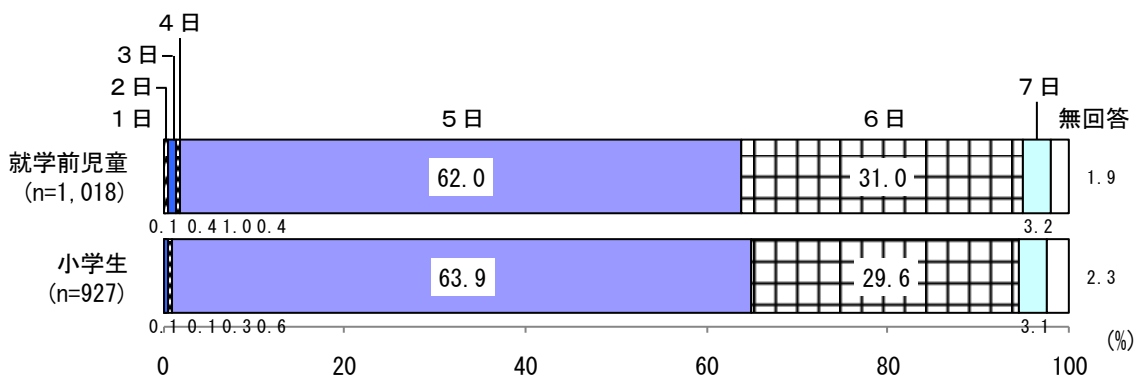
②週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間

問13-1(問10-1) 問13(問10)で「フルタイム」または「パート・アルバイト」を選ばれた方(休業中の方も含む)におうかがいします。1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

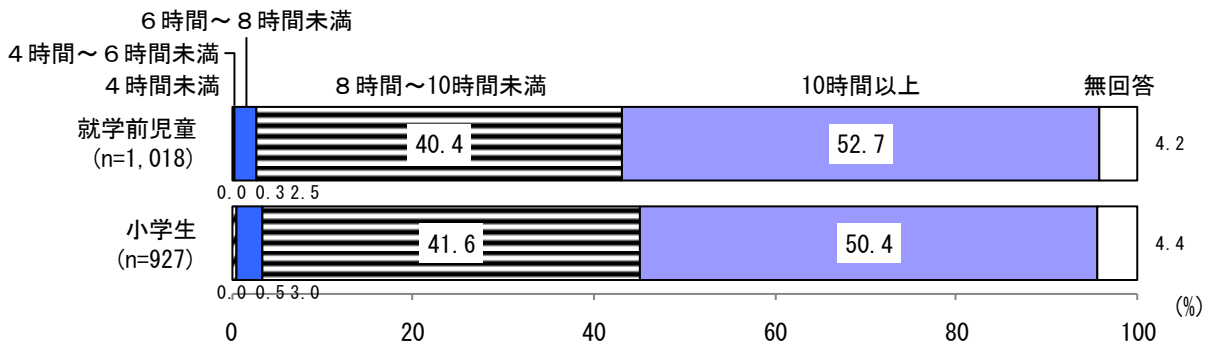
週あたりの就労日数は、就学前児童、小学生のいずれも「5日」が最も多く、次いで「6日」となっている。

1日あたりの就労時間は、就学前児童、小学生のいずれも「10時間以上」が5割を占め、次いで「8時間～10時間未満」となっている。

□週あたりの就労日数



□1日あたりの就労時間



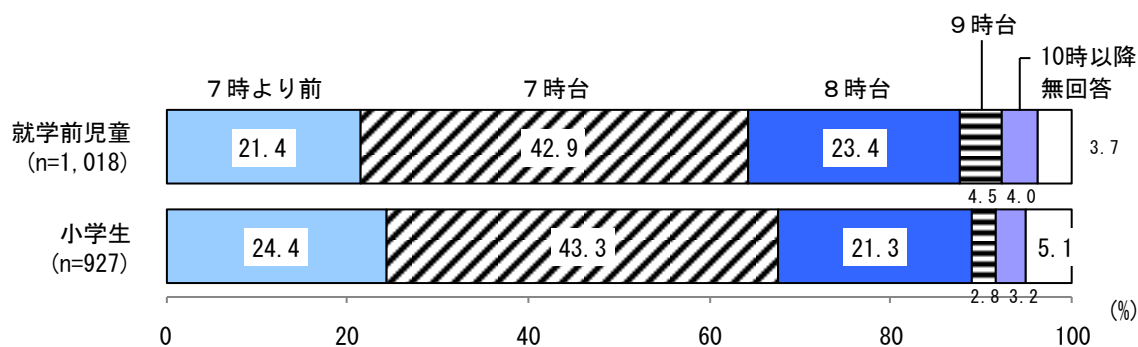
③家を出る時間と帰宅時間

問13-2(問10-2) 問13(問10)で「フルタイム」または「パート・アルバイト」を選ばれた方(休業中の方も含む)におうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

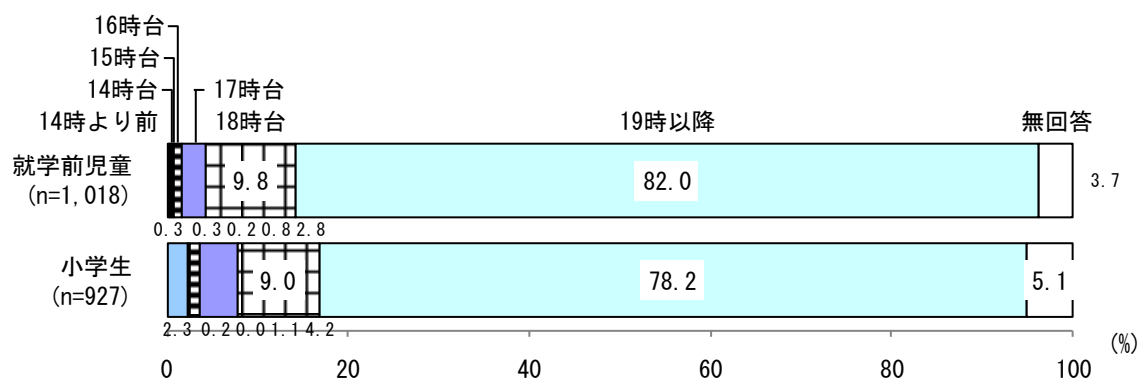
家を出る時間は、就学前児童の父、小学生の父とも「7時台」が4割台%で最も多くなっている。

帰宅時間は、就学前児童の父、小学生の父とも「19時以降」が8割前後を占めている。

□家を出る時間



□帰宅時間



④パート・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望

問14(問11) 問13(問10)で、「フルタイム」または「パート・アルバイト」を選ばれた方（休業中の方も含む）におうかがいします。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

現在、パート・アルバイトで働く父の中で、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」する割合が就学前児童で22.2%（2人）、小学生で30.0%（3人）となっている。

一方、フルタイムへ転換希望のある割合は、就学前児童の父では77.7%（7人）、小学生の父では60.0%（6人）となっている。

(上段：回答者数、下段：%)

	n	見込あり、実現の転換希望	望みあり、実現の転換希望	希望あり、継続する意向	パート・専念して子育てやパートを希望	無回答
就学前児童	9	4	3	2	-	-
	100.0	44.4	33.3	22.2	-	-
小学生	10	-	6	3	-	1
	100.0	-	60.0	30.0	-	10.0

⑤無職の人の就労希望の状況

問15(問12) 問13(問10)で「働いていない」を選ばれた方におうかがいします。
働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて
ください。

現在働いていない父で、今後就労希望がある割合は、就学前児童では50.0%（2人）で、
小学生では33.4%（2人）となっている。

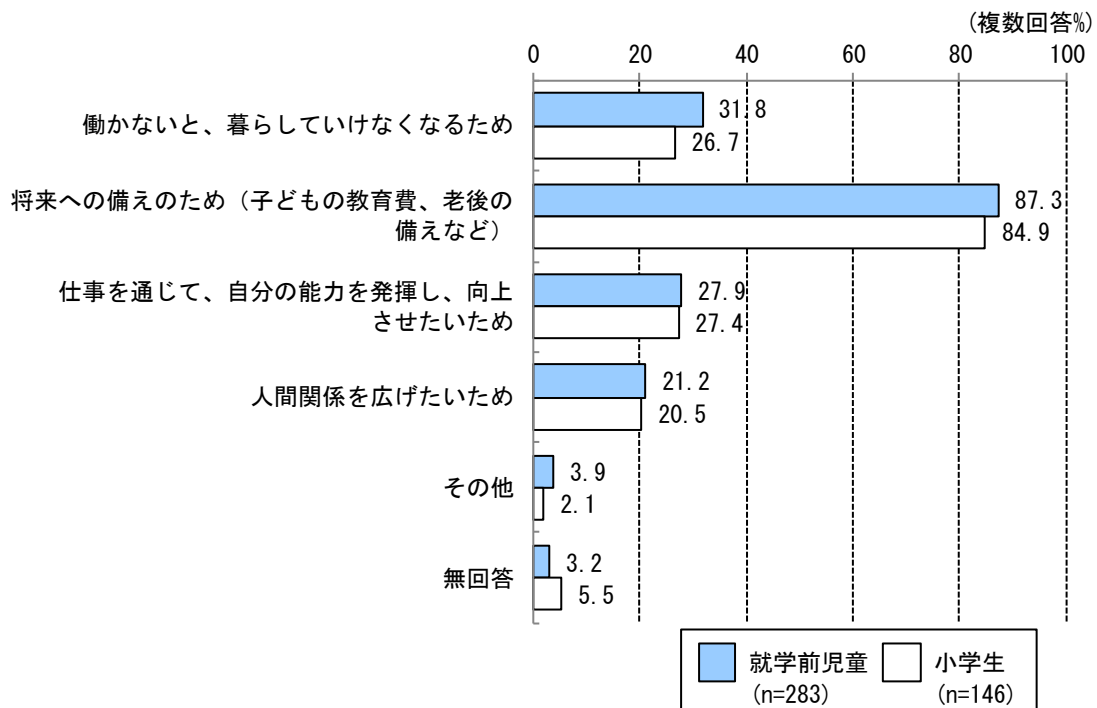
(上段：回答者数、下段：%)

	n	ない 念子育 したて いや (家事 なく 予定 は専	ら1 働年 きよ たり 先 にな つて か	1す 年ぐ 以 内 に も 働 き た し く は	無 回 答
就学前児童	4 100.0	- -	- -	2 50.0	2 50.0
小学生	6 100.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7

(13) 働きたい理由

問15-1(問12-1) 問15(問12)の(1)または(2)で、今後働きたいと考えておられる
方におうかがいします。働きたい理由は何ですか。あてはまる番号す
べてに○をつけてください。

今後働きたい理由は、就学前児童、小学生とも「将来の備えのため（子どもの教育費、
老後の備えなど）」が最も多い。



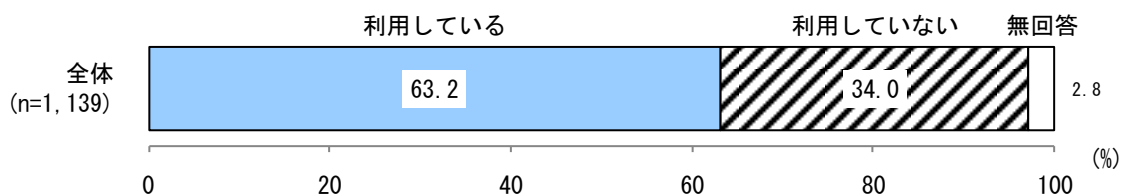
2 平日の定期的な施設やサービス利用の状況

(1) 施設やサービスの利用の有無 [就学前児童のみ]

① 利用の有無

問16 平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園や保育所、認定こども園などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用されていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

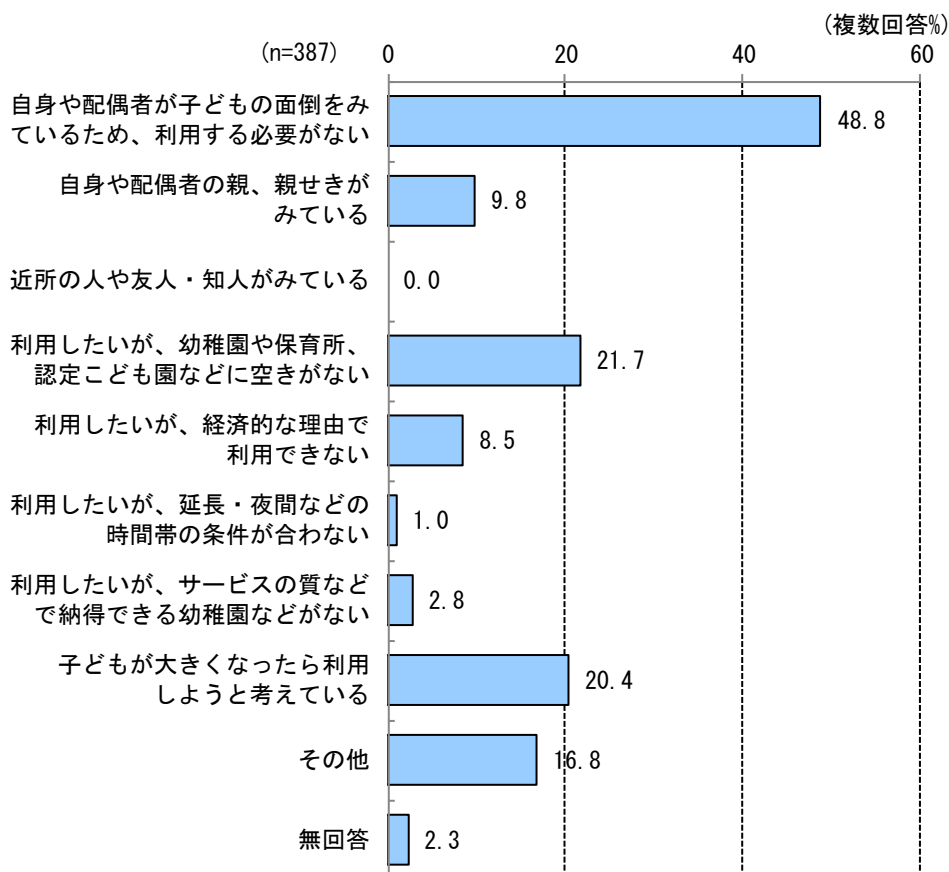
平日に幼稚園や保育所、認定こども園などの子どもを預かる施設やサービスを定期的に利用する家庭は63.2%に対し、利用していない家庭は34.0%である。



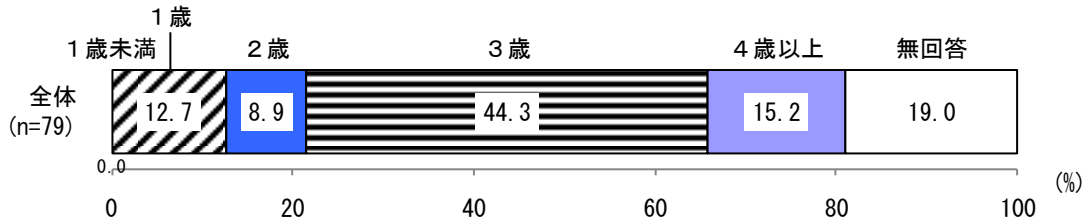
② 平日に定期的に施設やサービス利用していない理由 [就学前児童のみ]

問16-1 問16で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が48.8%で最も多く、次いで「利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない」(21.7%)となっている。「子どもがまだ小さいため大きくなったら利用しようと考えている」は20.4%で、そのうち「3歳」くらいになってから利用したいと考えている家庭が44.3%で最も多い。



□子どもが大きくなったら利用しようと考えている場合の子どもの年齢

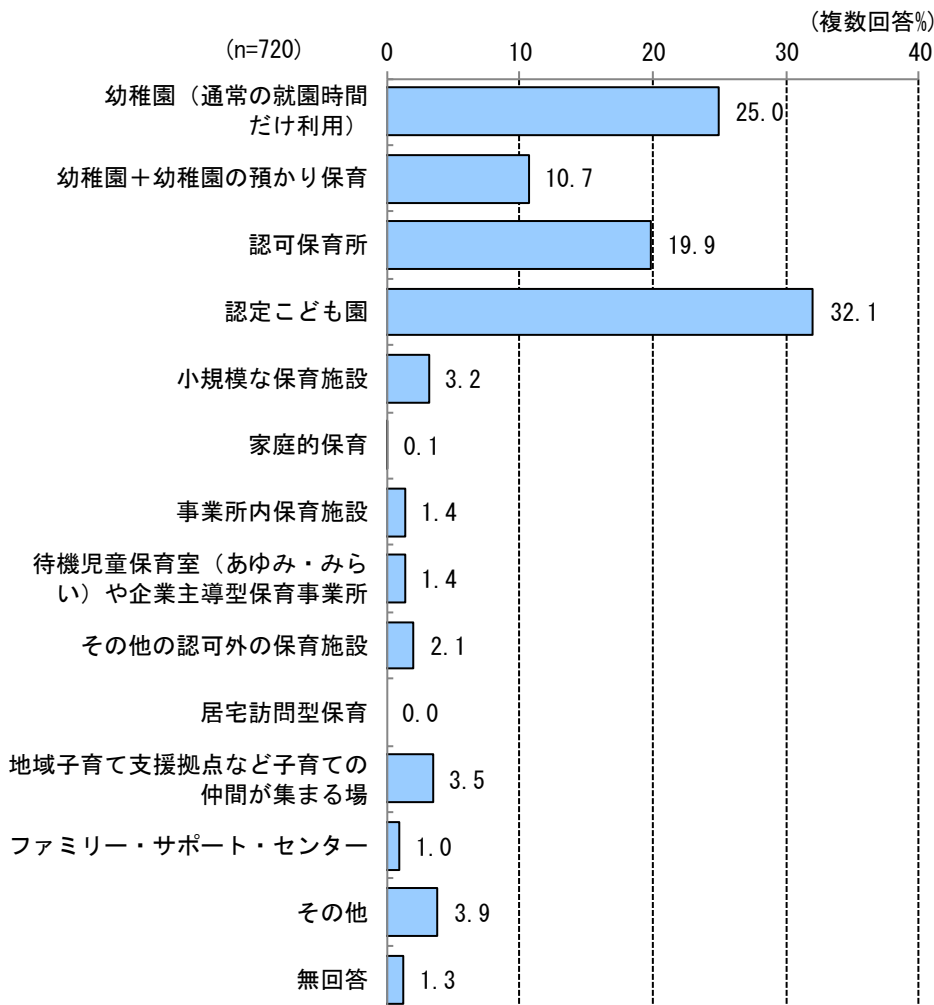


(2) 施設やサービスの利用状況 [就学前児童のみ]

① 平日に定期的に利用している施設やサービス

問16-2 問16で「利用している」を選ばれた方におうかがいします。
封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。
年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用されているサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

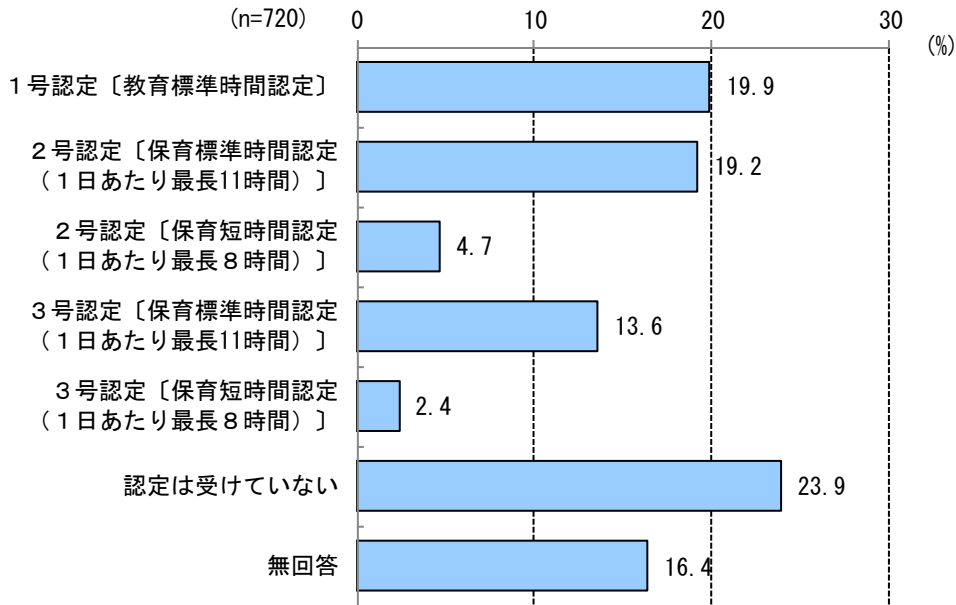
平日に定期的に利用している子どもを預かる施設やサービスで最も多いものは、「認定こども園」で32.1%となっている。次いで「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」が25.0%、「認可保育所」が19.9%となっている。



②保育の必要性の有無や保育の必要量についての認定（支給認定）状況

問16-3 問16で「利用している」を選ばれた方におうかがいします。
 保育の必要性の有無や保育の必要量について認定（「支給認定」）を受けている場合は、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子どもを預かる施設やサービスを利用する子どもの59.7%が支給認定を受け、そのうち「1号認定（教育標準時間認定）」が19.9%、「2号認定（保育標準時間認定（1日あたり最長11時間）」が19.2%と多くなっている。

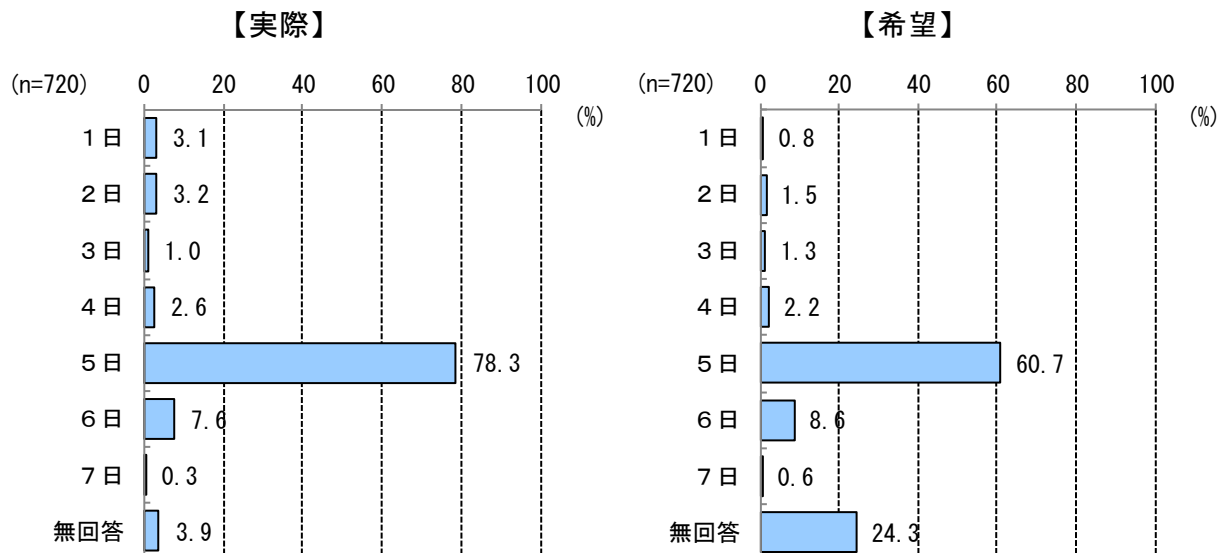


③施設やサービスの利用日数・利用時間（時間帯）

問16-4 問16で「利用している」を選ばれた方におうかがいします。
 現在利用している幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスについてもっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、1日当たり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

施設やサービスの利用日数は、実際も希望も「5日」が多い。

□利用（希望）日数

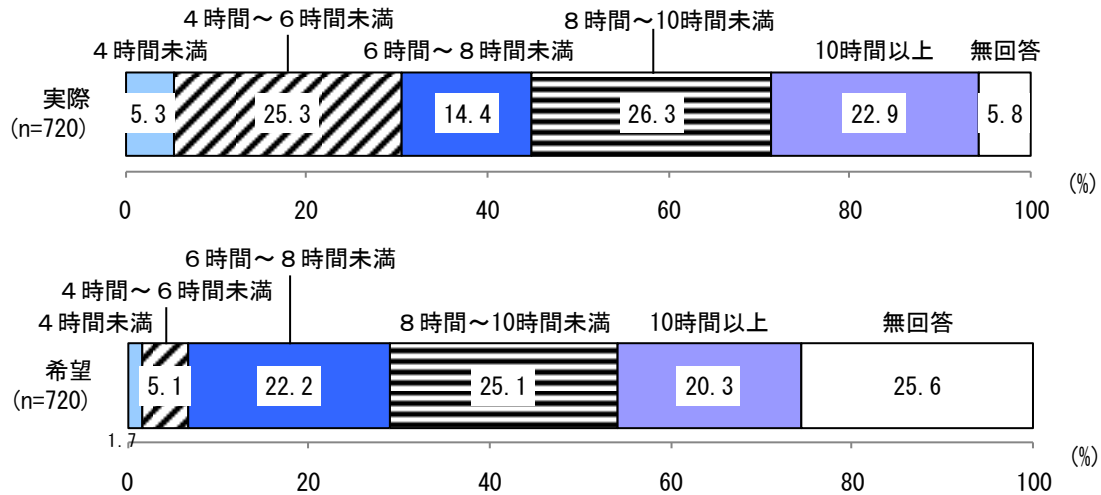


施設やサービスの利用時間は、実際は「8時間～10時間未満」が26.3%で最も多く、次いで「4時間～6時間未満」が25.3%となっている。

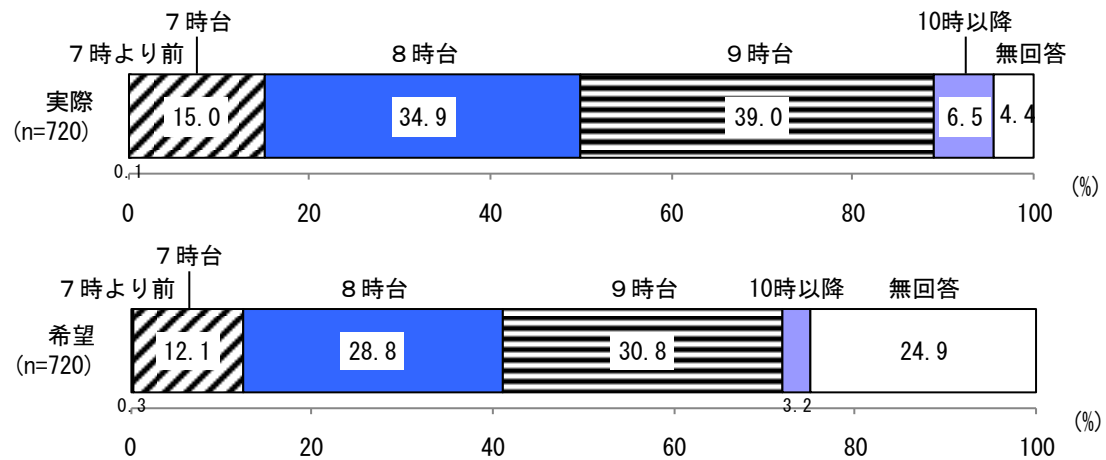
利用開始時間は、実際も希望も8時台が多くなっている。

利用終了時間は、実際は「14時台」が26.4%、「17時台」が24.2%、「18時台」が20.3%となっているが、希望は「17時台」（19.9%）と「18時台」（18.1%）が多くなっている。

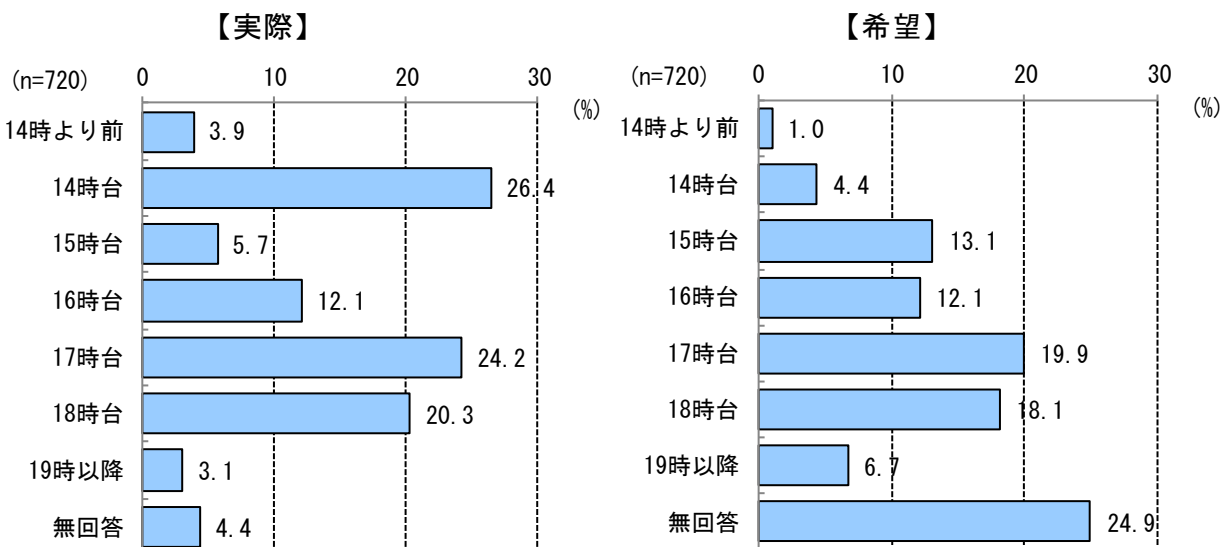
□利用（希望）時間



□利用開始（希望）時間帯



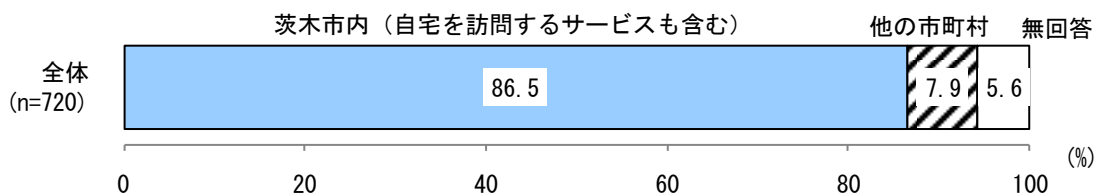
□利用終了（希望）時間帯



④利用施設等の場所

問16-5 問16で「利用している」を選ばれた方におうかがいします。
 現在、利用されている施設などはどこにありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

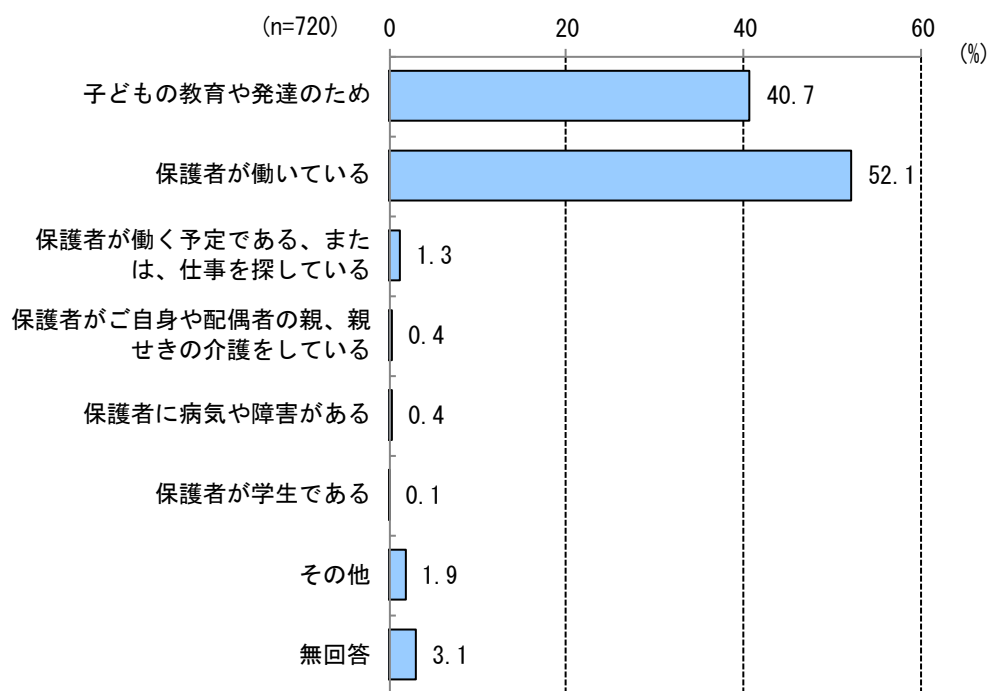
利用施設の場所は、「茨木市内（自宅を訪問するサービスも含む）」が多い。



⑤施設やサービスの利用理由

問16-6 問16で「利用している」を選ばれた方におうかがいします。
 幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用されている理由について、もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスの利用理由は、「保護者が働いている」が52.1%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が40.7%となっている。



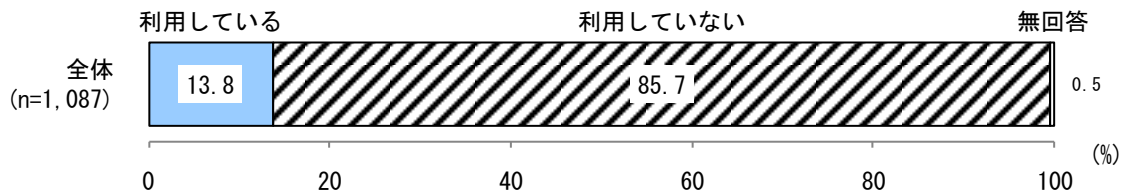
3 学童保育の利用について

(1) 平日の学童保育の利用状況 [小学生のみ]

① 学童保育の利用の有無

問13 すべての方におうかがいします。平日（月曜日から金曜日）に、現在、学童保育を利用されていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

学童保育を現在利用している家庭は13.8%である。



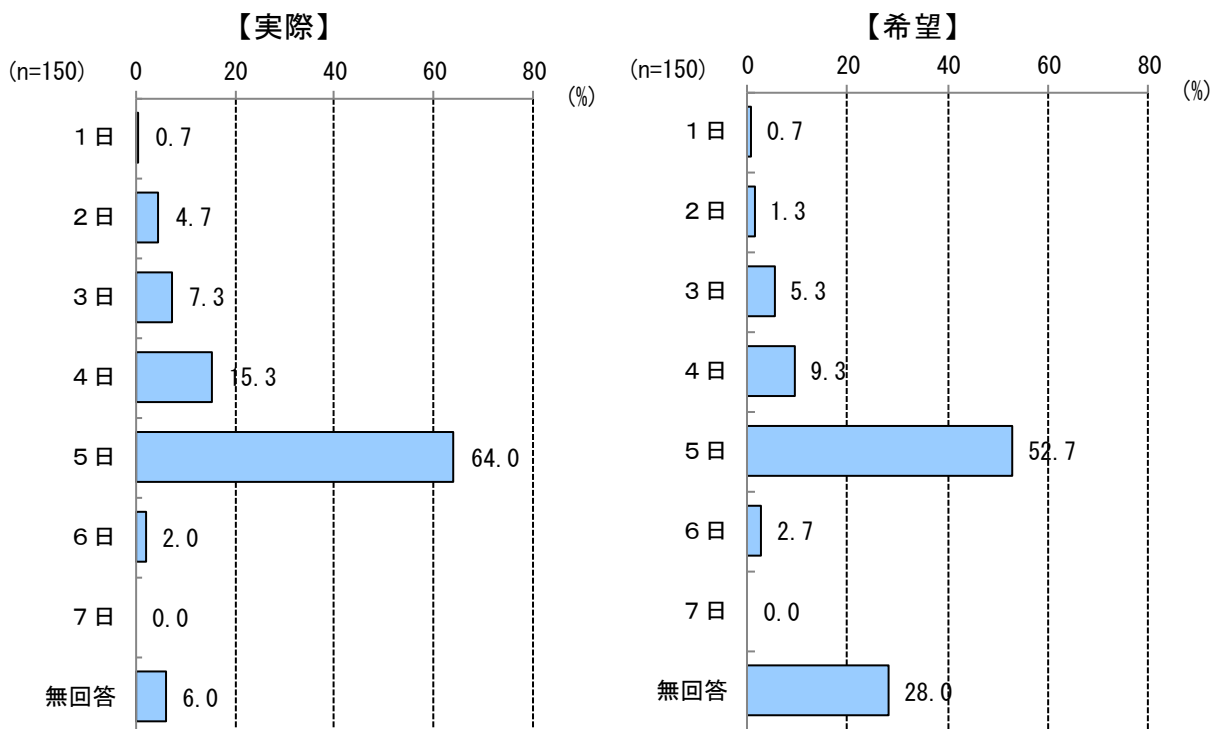
② 学童保育の週当たりの利用（希望）日数・利用（希望）時間

問14 問13で「利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在利用している学童保育について、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、何時まで利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

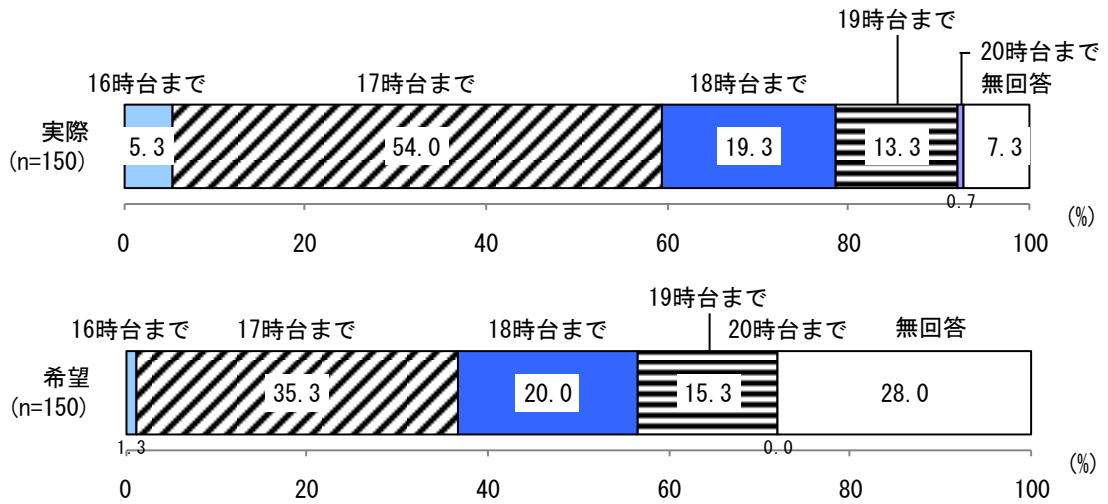
学童保育の現在の週当たりの利用日数は、「5日」が64.0%で最も多い。希望でも「5日」が52.7%で最も多くなっている。

また、学校終了後の利用時間帯（終了時間）は、「17時台まで」が54.0%と半数を占め、18時以降の利用が32.6%となっている。希望の利用時間帯（終了時間）も「17時台まで」が35.3%で最も多く、18時以降の希望は27.3%となっている。

□ 利用（希望）日数



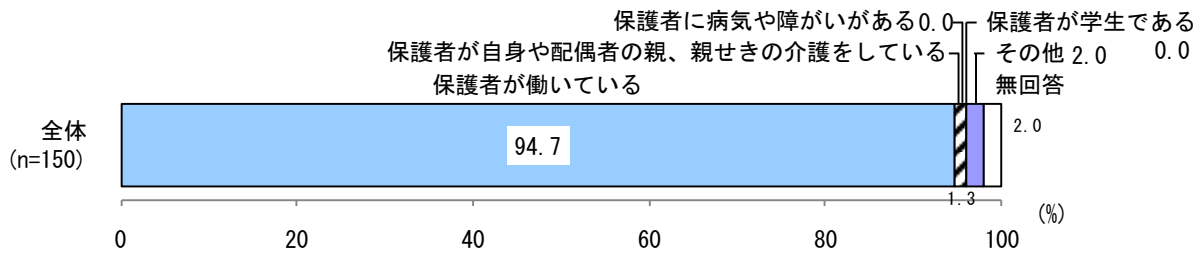
□利用（希望）時間帯（終了時間）



③学童保育の利用理由

問14-1 問13で「利用している」を選ばれた方におうかがいします。
 学童保育を利用されている理由について、もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

「保護者が働いている」が94.7%で大部分を占めている。



④土曜日、日曜日・祝日の学童保育の利用希望

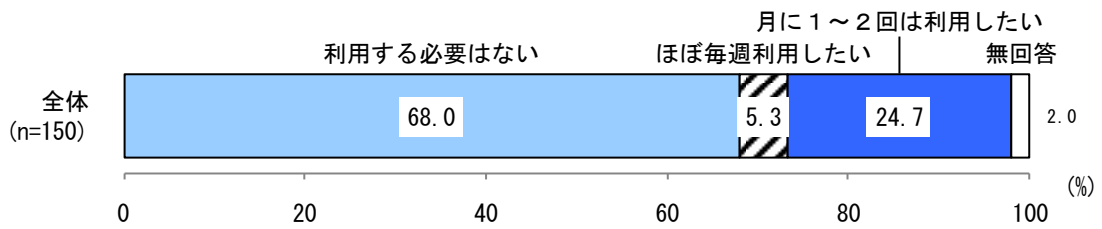
問14-2 問13で「利用している」を選ばれた方におうかがいします。

土曜日、日曜日・祝日に、学童保育の利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。希望がある場合は、()内に具体的な数字を入れてください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が必要となります。

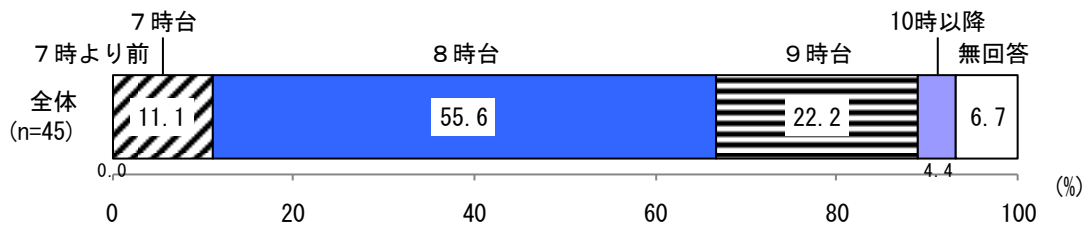
(ア) 土曜日の利用希望

「利用する必要はない」が68.0%で最も多い。利用したい割合は30.0%で、そのうち「月に1～2回は利用したい」が24.7%と大部分を占める。

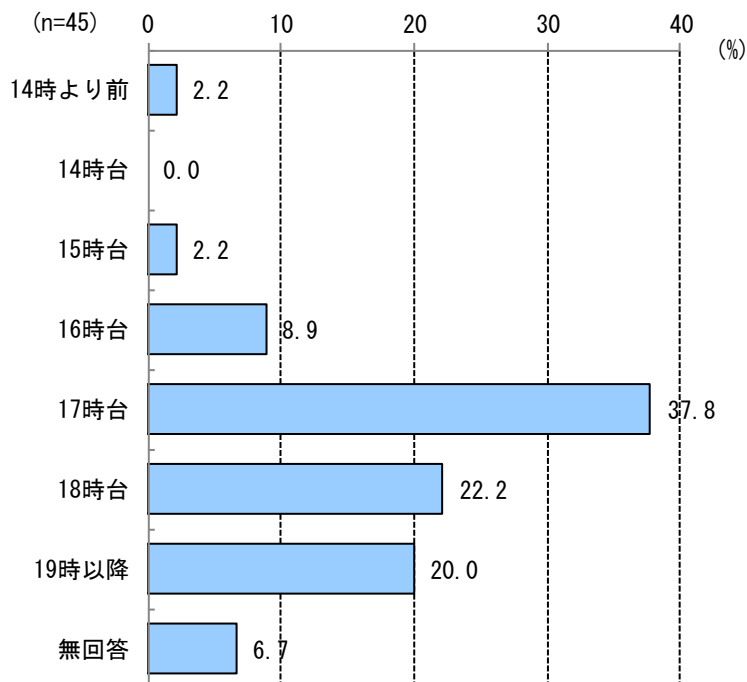
利用開始希望時間は、「8時台」(55.6%)が、利用終了希望時間は、「17時台」(37.8%)が多くなっている。また、18時以降も利用したいとの希望が42.2%となっている。



□利用開始希望時間



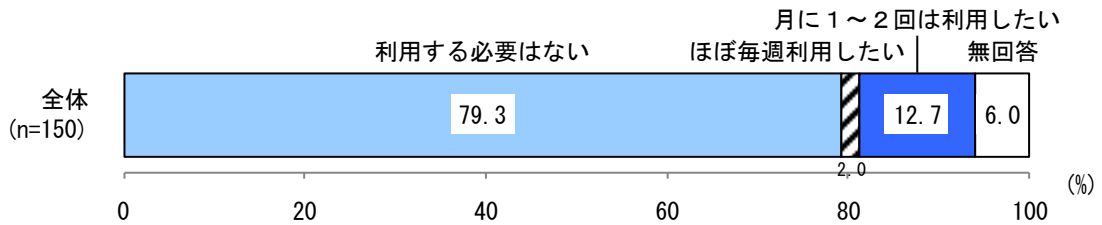
□利用終了希望時間



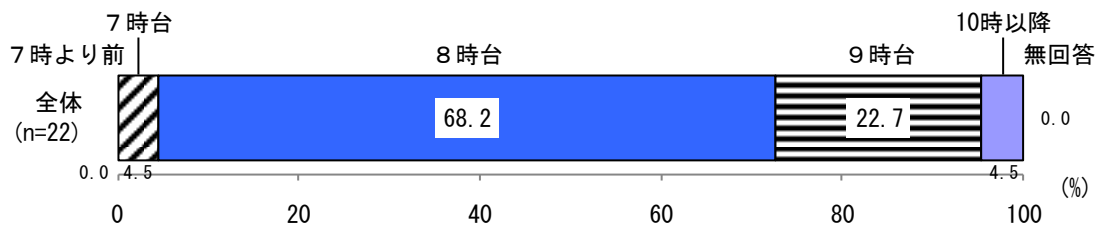
(イ) 日曜日・祝日の利用希望

「利用する必要はない」が79.3%で最も多い。利用したい割合は14.7%で、そのうち「月に1～2回は利用したい」が12.7%と大部分占める。

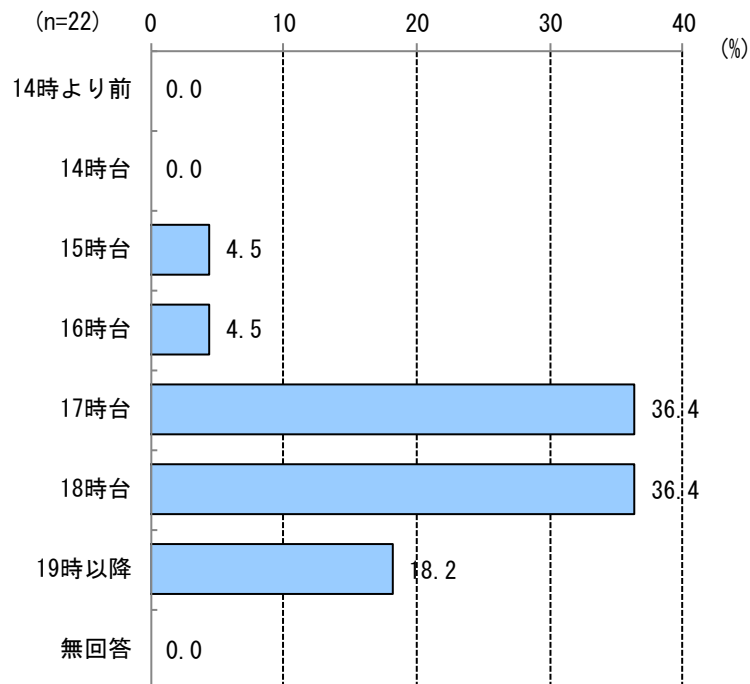
利用開始希望時間は、「8時台」(68.2%)が、利用終了希望時間は、「17時台」「18時台」(各36.4%)が多くなっている。



□利用開始希望時間



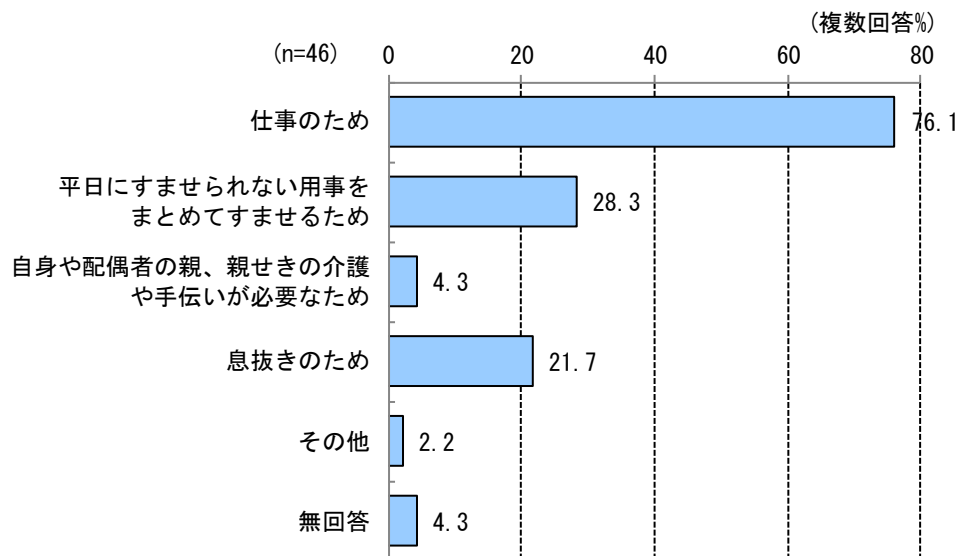
□利用終了希望時間



⑤ 土曜日、日曜日・祝日に学童保育を利用したい理由

問14-3 問14-2の(1)または(2)で、「ほぼ毎週利用したい」、または「月に1~2回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。
利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

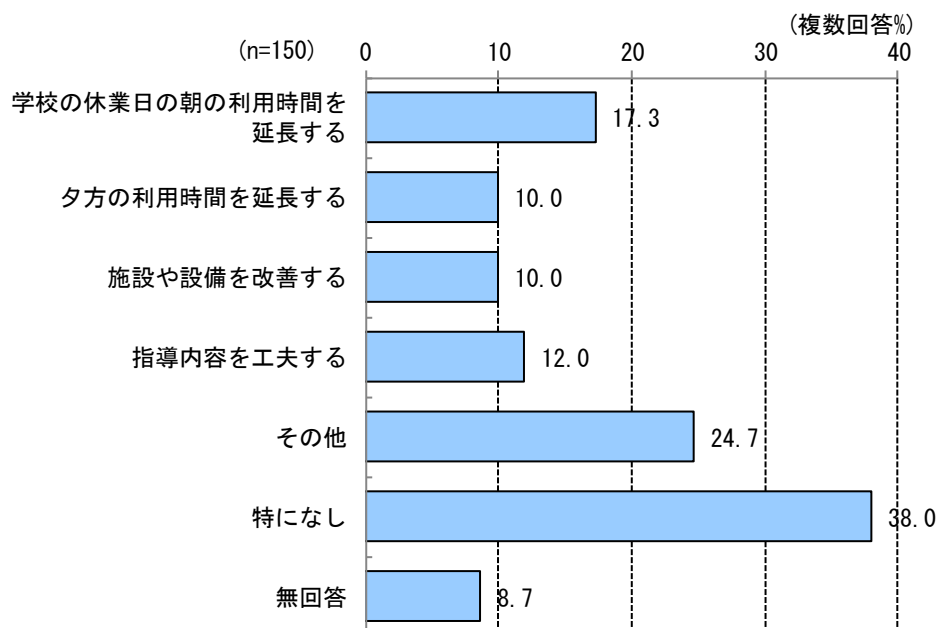
「仕事のため」が76.1%で最も多い。これに次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」(28.3%)、「息抜きのため」(21.7%)となっている。



⑥ 現在利用している学童保育に対する希望

問14-4 問13で「利用している」を選ばれた方におうかがいします。
現在通っている学童保育にどのようなことを希望しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「特になし」が38.0%となっているが、何らかの希望がある利用者は53.3%を占めている。希望としては、「学校の休業日の朝の利用時間を延長する」が17.3%で最も多い。

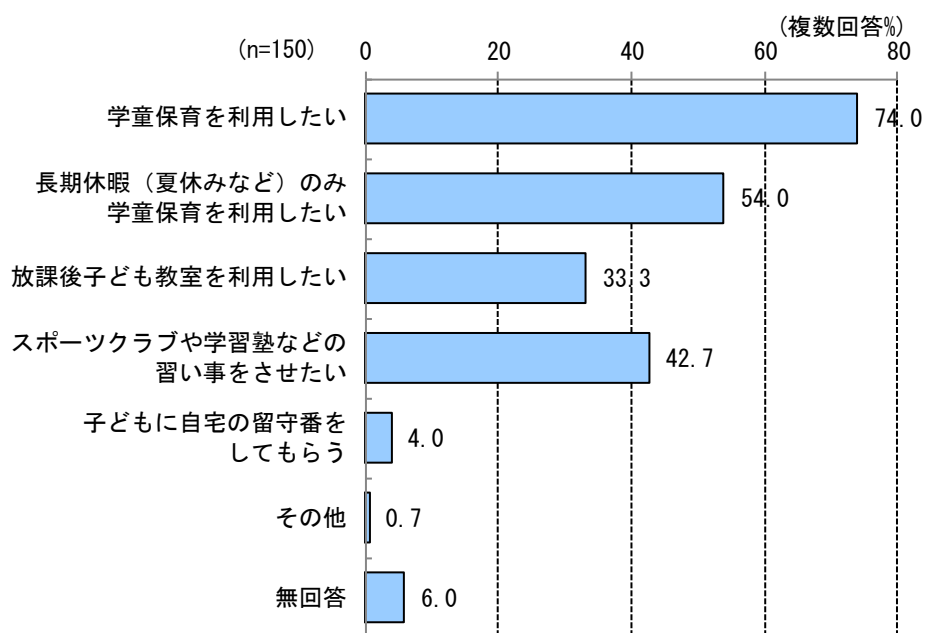


⑦放課後の過ごし方についての希望

問14-5 問13で「利用している」を選ばれた方におうかがいします。
 放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。「学童保育を利用したい」「長期休暇（夏休みなど）のみ学童保育を利用したい」を選択した場合は、() 内に具体的な数字を入れてください。

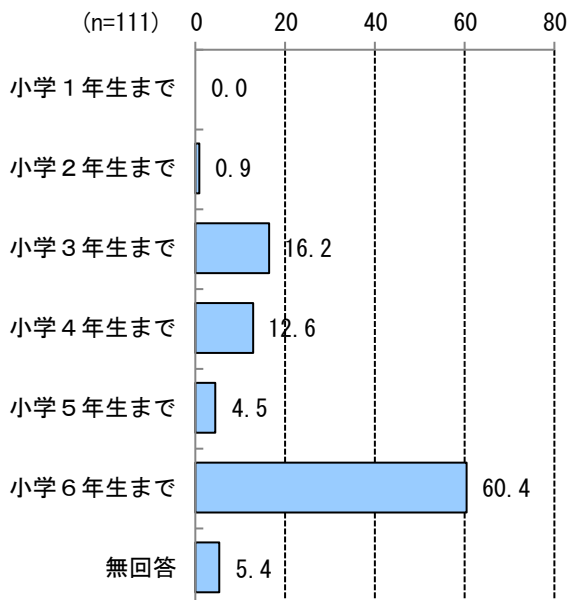
学童保育を利用している家庭の子どもの放課後の過ごし方の希望として、「学童保育を利用したい」が74.0%で最も多い。これに次いで「長期休暇（夏休みなど）のみ学童保育を利用したい」（54.0%）、「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」（42.7%）となっている。

また、学童保育については、通常の利用も長期休暇のみの利用も「小学6年生まで」の希望が6割を占めている。

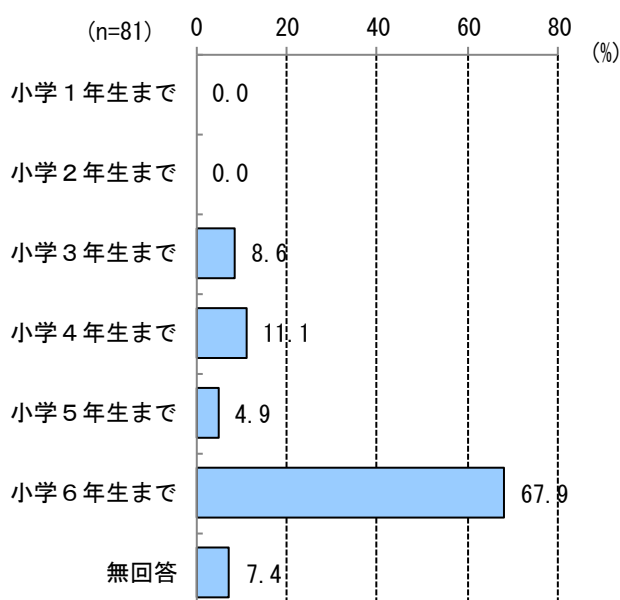


□学童保育を利用したい学年

【通常の利用】



【長期休暇のみ利用】

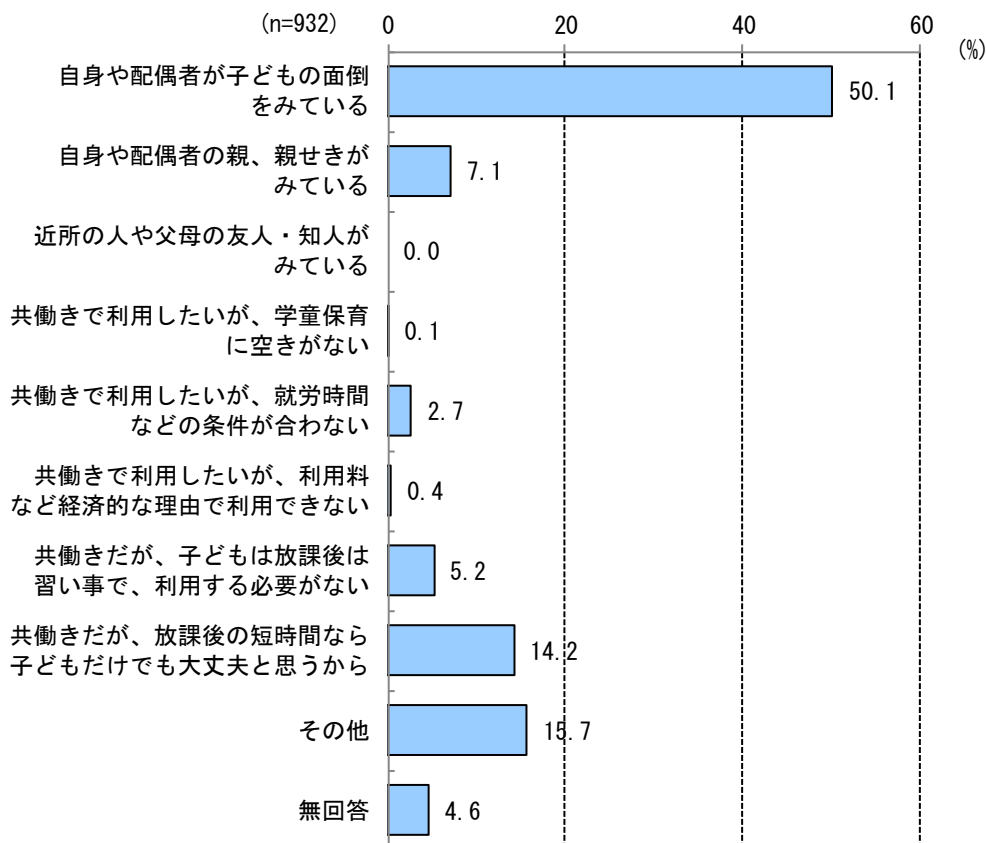


(2) 学童保育の未利用者の利用希望 [小学生のみ]

① 学童保育を利用していない理由

問15 問13で「利用していない」を選ばれた方におうかがいします。
学童保育を利用していない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

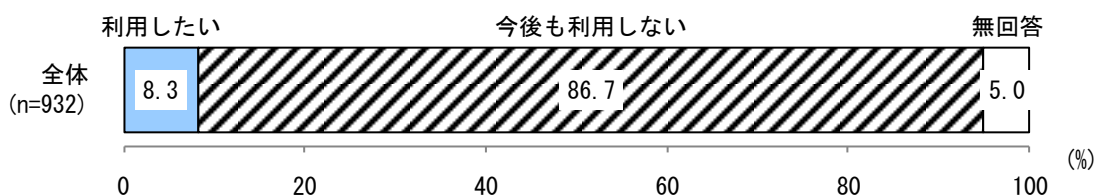
学童保育の未利用理由は、「自身や配偶者が子どもの面倒をみている」が50.1%で最も多く、これに次いで「父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」(14.2%)となっている。



② 学童保育の利用希望の有無

問15-1 問13で「利用していない」を選ばれた方におうかがいします。
封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、学童保育を利用したいとお考えですか。あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が必要となります。

学童保育を利用していない家庭の今後の利用希望は、「利用したい」が8.3%に対し「今後も利用しない」が86.7%となっている。



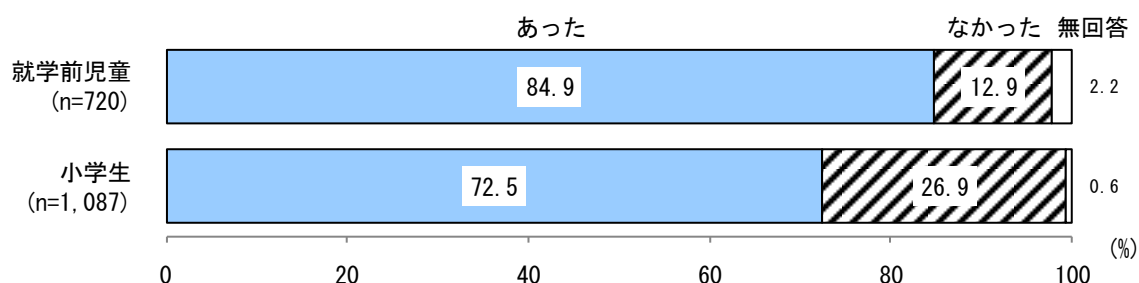
4 子どもが病気になったときの対応について

(1) 子どもが病気になったときの対応

①子どもが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかった（小学校を休まなければならなかった）ことの有無

問17(問16) 平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などを利用していると答えた保護者の方（問16で「利用している」に○をつけた方）に、封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。
この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかったことはありますか。
（この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。）

幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかったり、小学校を休まなければならなかったりした家庭は、就学前児童では84.9%、小学生では72.5%となっている。



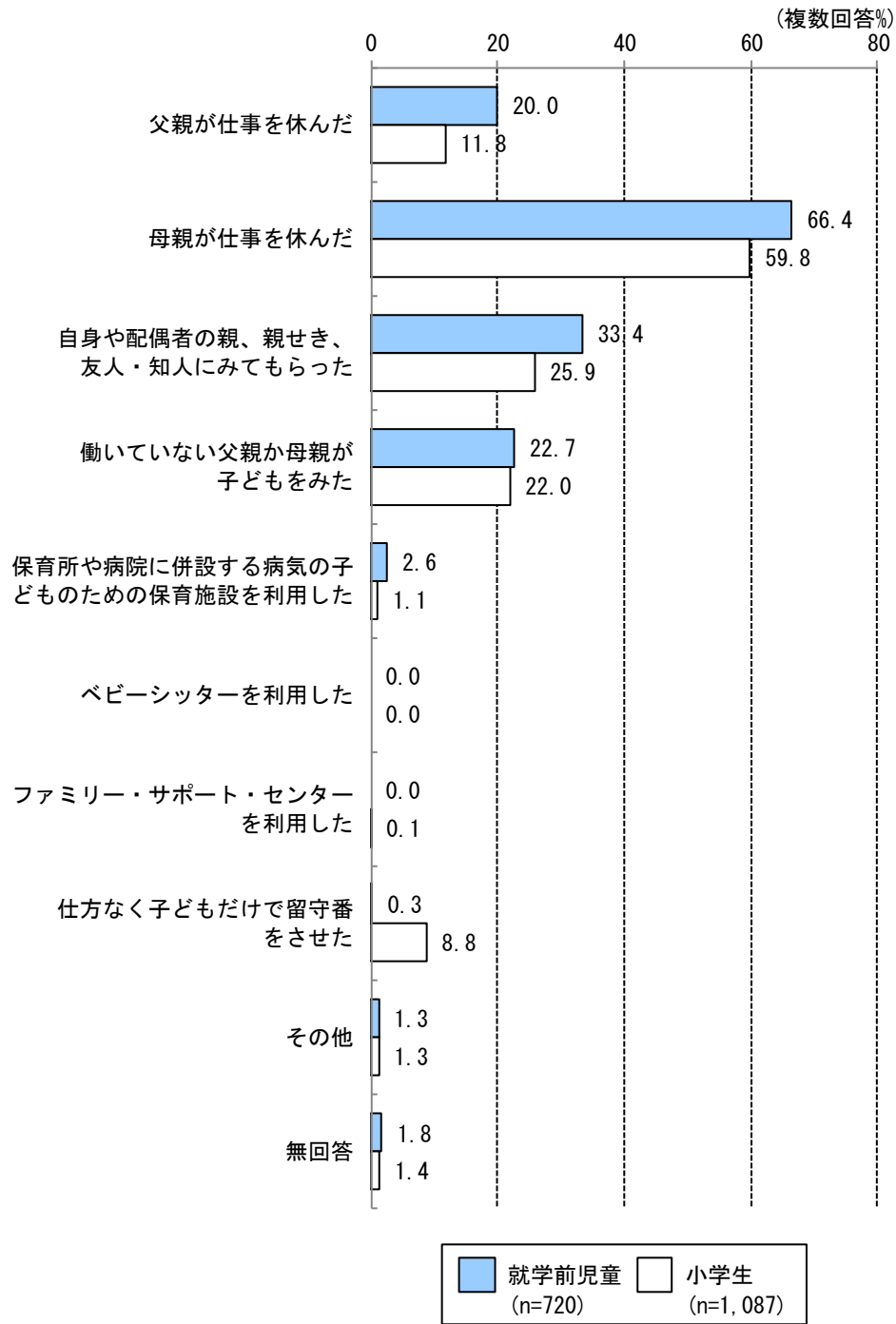
②幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかった（小学校を休まなければならなかった）ときの対処方法とその日数

問17-1(問16-1) 問17(問16)で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。
この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について具体的な数字を記入してください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）
（この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について具体的な数字を入れてください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかったり、小学校を休まなければならなかったりした場合の対処方法として、就学前児童、小学生とも「母親が仕事を休んだ」が最も多い（就学前児童66.4%、小学生59.8%）。また、「保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した」との回答は、就学前児童では2.6%、小学生では1.1%となっている。

対処方法別の年間延べ日数は、就学前児童では、父親が仕事を休んだ場合は「1日～2日」（43.4%）が多いのに対し、母親が仕事を休んだ場合は「3日～5日」（36.0%）が多くなっている。また、父親が仕事を休んで子どもを看た場合を除く対処方法では、いずれも「3日～5日」が多くなっている。

□ 対処方法



□対処方法別日数

【就学前児童】

(%)

	n	1日 ～ 2日	3日 ～ 5日	6日 ～ 10日	11日 ～ 20日	21日 ～ 30日	31日 以上	無回答
①父親が仕事を休んだ	122	43.4	37.7	14.8	0.8	0.8	-	2.5
②母親が仕事を休んだ	406	18.0	36.0	27.8	11.3	3.0	1.7	2.2
③自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	204	24.5	33.3	26.5	6.9	1.5	2.5	4.9
④働いていない父親か母親が子どもをみた	139	22.3	36.0	21.6	10.1	3.6	0.7	5.8
⑤保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	16	37.5	50.0	-	6.3	-	-	6.3
⑥ベビーシッターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
⑧仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	100.0	-	-	-	-	-	-
⑨その他	8	25.0	62.5	12.5	-	-	-	-

【小学生】

(%)

	n	1日 ～ 2日	3日 ～ 5日	6日 ～ 10日	11日 ～ 20日	21日 ～ 30日	31日 以上	無回答
①父親が仕事を休んだ	93	72.0	21.5	4.3	1.1	-	-	1.1
②母親が仕事を休んだ	471	48.6	35.0	10.6	2.1	0.2	-	3.4
③自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	204	53.4	33.3	5.4	2.5	-	0.5	4.9
④働いていない父親か母親が子どもをみた	173	38.2	39.3	10.4	2.3	0.6	1.7	7.5
⑤保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	9	55.6	33.3	-	-	-	-	11.1
⑥家事育児代行サービスを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦ファミリー・サポート・センターを利用した	1	100.0	-	-	-	-	-	-
⑧仕方なく子どもだけで留守番をさせた	69	68.1	23.2	4.3	-	-	-	4.3
⑨その他	10	50.0	20.0	-	-	-	-	30.0

(2) 病児保育施設の利用についての考え

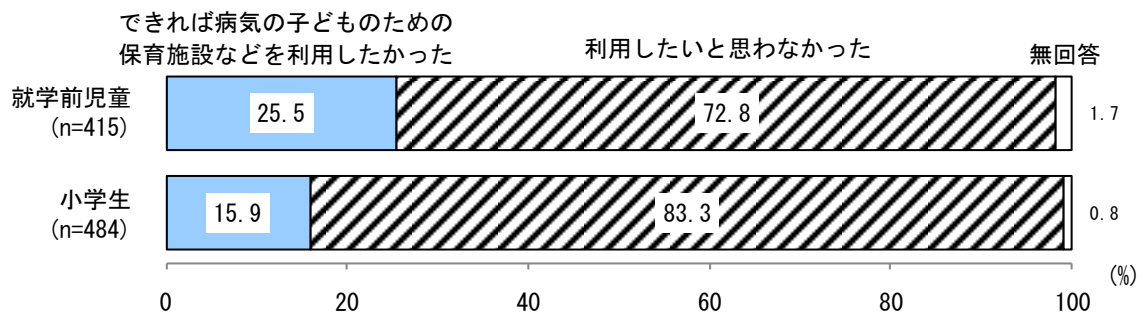
① 病児保育施設の利用意向

問17-2(問16-2) 問17-1(問16-1)で「父親または母親が仕事を休んだ」を選ばれた方におうかがいします。

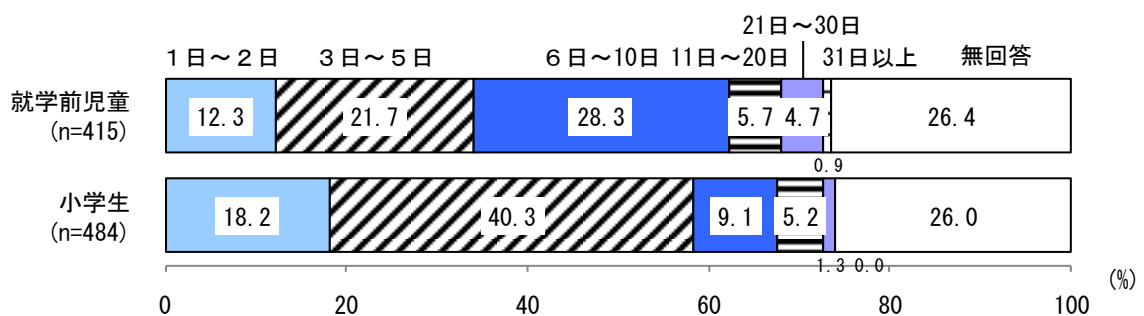
そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は具体的な日数を記入してください。利用実態にかかわらず、希望がある場合は「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したかった」を選択ください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要です。

父親または母親が仕事を休んで子どもを看た家庭で、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したかった」は、就学前児童が25.5%、小学生が15.9%となっている。

利用希望の日数(年間)は、就学前児童では「6日～10日」が28.3%、小学生では「3日～6日」が40.3%で多くなっている。



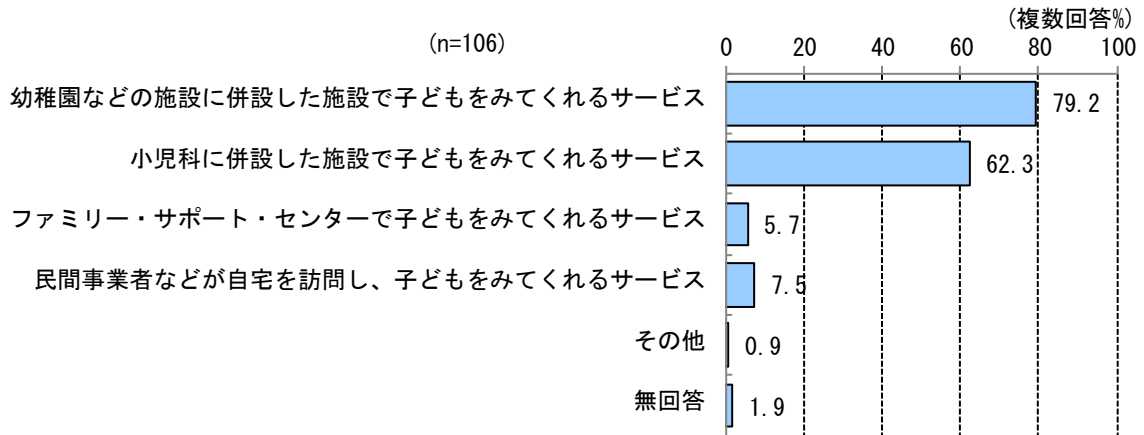
□ 病気の子どものための保育施設などの利用希望日数



②病児保育施設を利用する場合のサービス形態 [就学前児童のみ]

問17-3 問17-2で「利用しなかった」を選ばれた方におうかがいします。
 利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童で病児保育施設を利用する場合の望ましいサービスは、「幼稚園や保育所、認定こども園などの施設に併設した施設で子どもをみてるサービス」が79.2%で最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもをみてるサービス」が62.3%となっている。

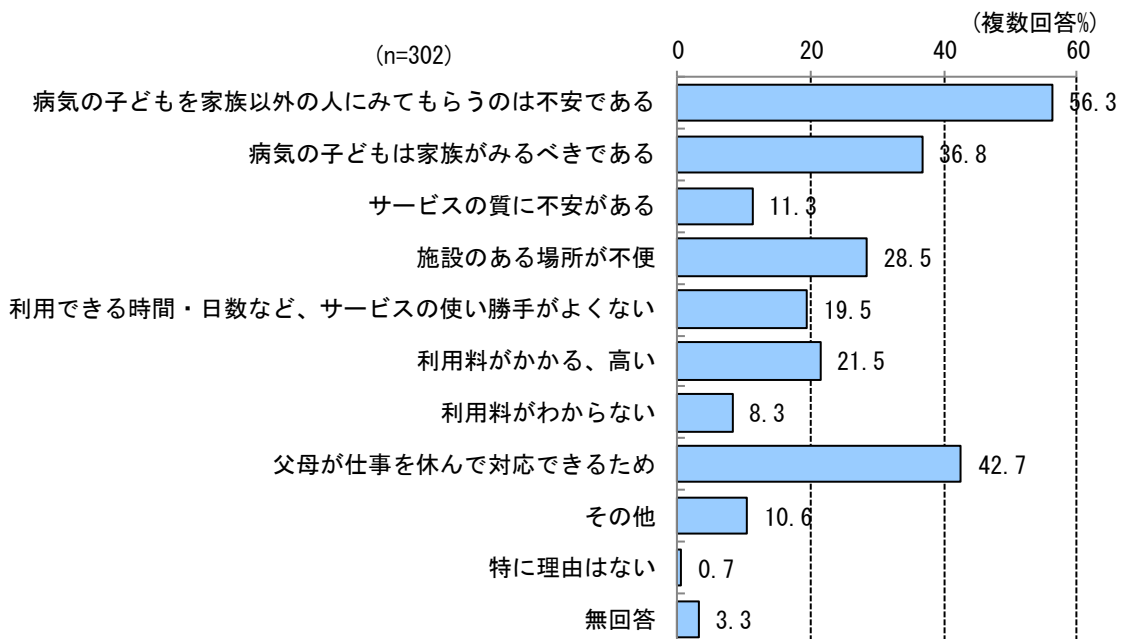


③病児保育施設を利用しなかった（利用したいと思わなかった）理由 [就学前児童のみ]

[就学前児童のみ]

問17-4 問17-2で「利用しなかった」が実際利用しなかった方、「利用したいと思わなかった」を選ばれた方におうかがいします。
 その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童で病児保育施設を実際利用しなかった（利用したいと思わなかった）理由をみると、「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が56.3%で最も多く、次いで「病気の子どもは家族がみるべきである」が36.8%となっている。

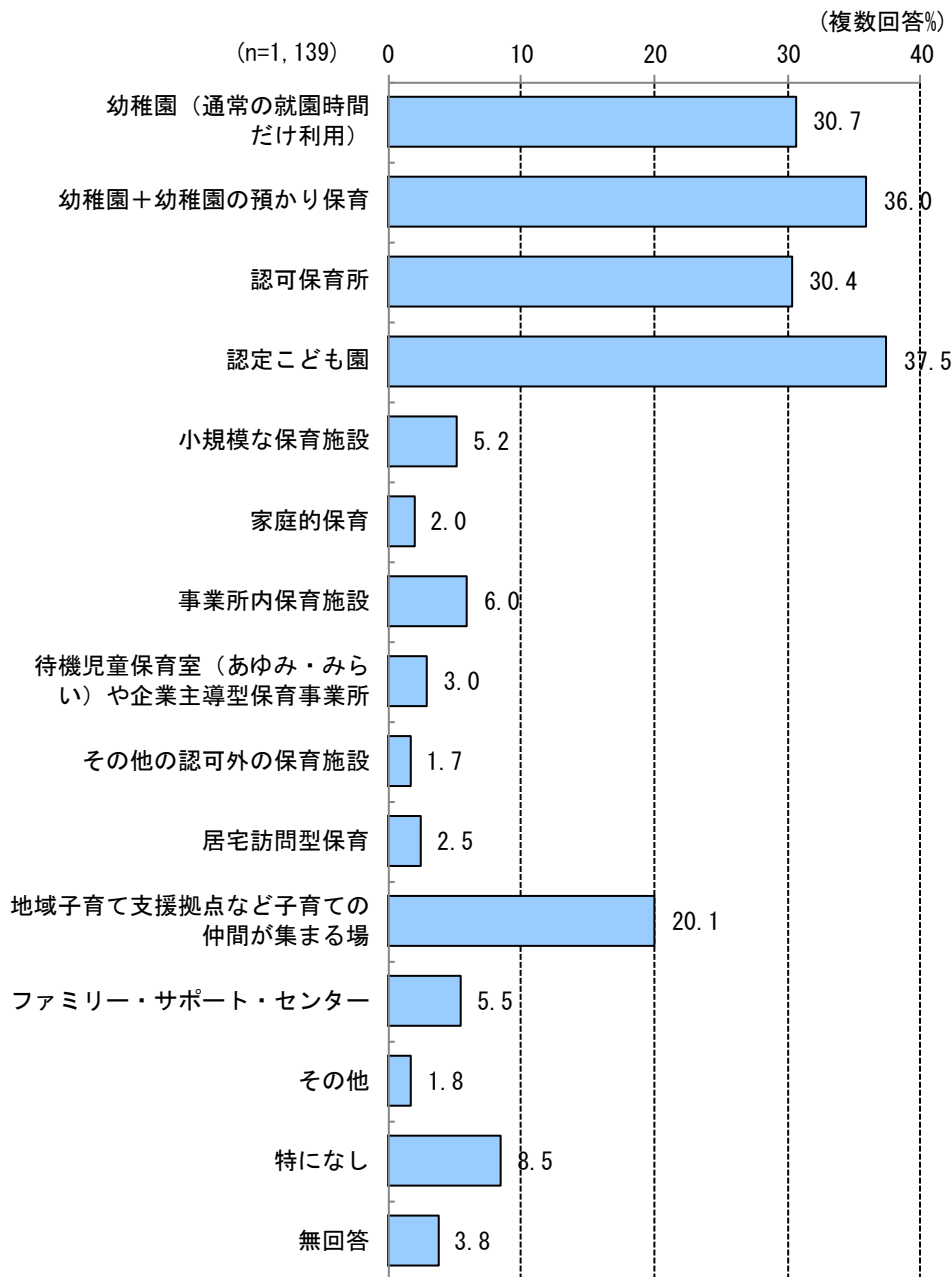


5 平日の定期的な施設やサービスの利用希望について

(1) 平日に定期的に利用したい施設やサービス [就学前児童のみ]

問18 幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）に封筒のあて名のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらのサービスを利用するためには、一定の利用料が必要となります。

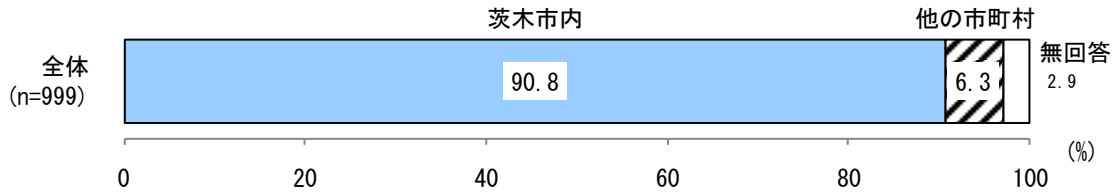
平日に定期的に利用したい施設やサービスとして、「認定こども園」(37.5%)と「幼稚園+幼稚園の預かり保育」(36.0%)の利用希望が多い。「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」(30.7%)、「認可保育所」(30.4%)も利用希望が3割台となっている。



(2) 利用を希望している施設やサービスのある場所 [就学前児童のみ]

問18-1 利用を希望している施設やサービスはどこにありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

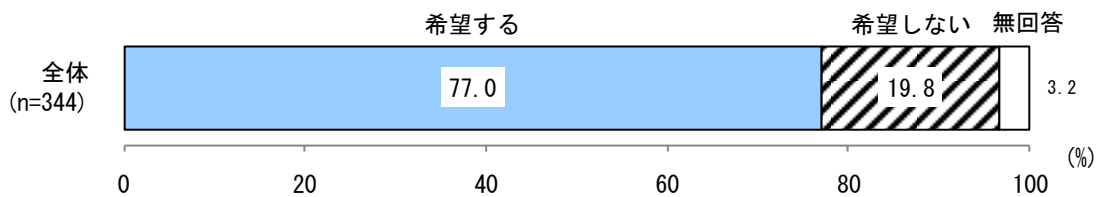
平日に定期的に利用したい施設やサービスの場所は、「茨木市内」が90.8%を占めている。



(3) 幼稚園の利用希望の強さ [就学前児童のみ]

問18-2 問18で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ、これら以外の番号にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」を回答し、他の施設・サービスの利用希望もある家庭に、幼稚園の利用希望の強さをたずねたところ、「希望する」が77.0%に対し「希望しない」は19.8%となっている。



6 幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日の利用について

(1) 土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望 [就学前児童のみ]

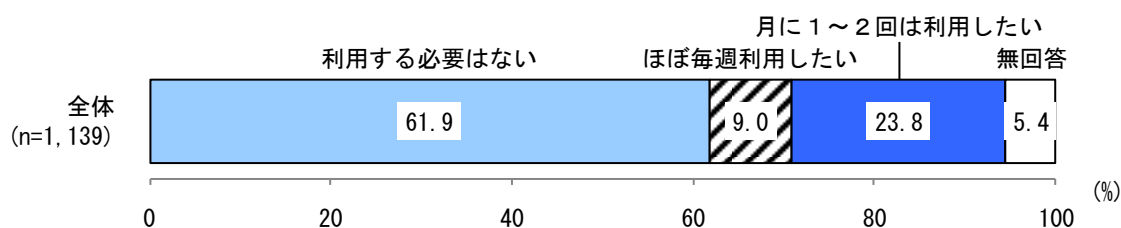
① 利用希望

問19 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所、認定こども園などの利用希望がありますか。(仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。)あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。なお、これらのサービスを利用するには、一定の利用料が必要となります。

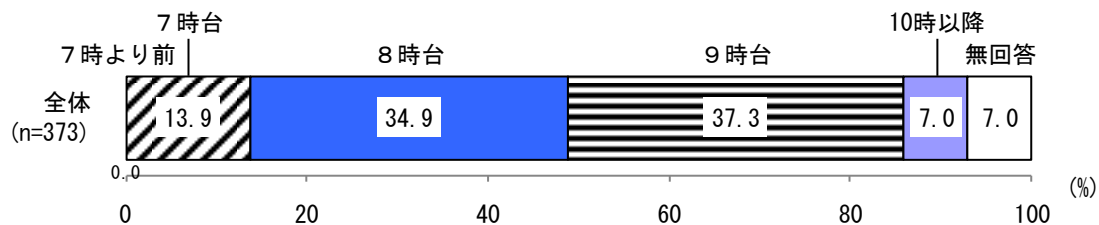
(ア) 土曜日

土曜日に幼稚園や保育所、認定こども園などを「利用する必要はない」が61.9%となっている。これに対し、利用希望がある家庭は32.8%で、そのうち「月に1～2回は利用したい」が23.8%となっている。

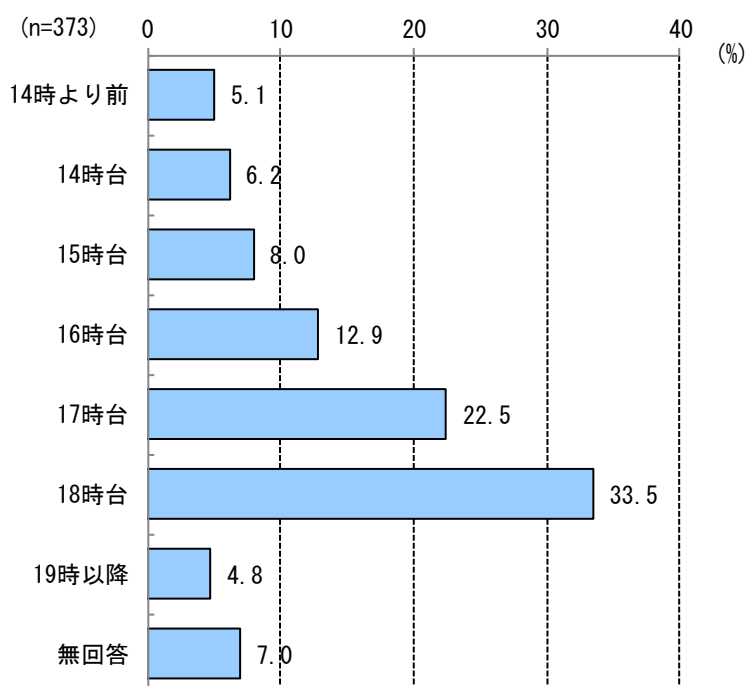
利用希望のある家庭に利用したい時間帯をたずねると、開始時間は「9時台」(37.3%)が、終了時間は「18時台」(33.5%)がそれぞれ最も多くなっている。



□ 利用したい時間帯 (開始)



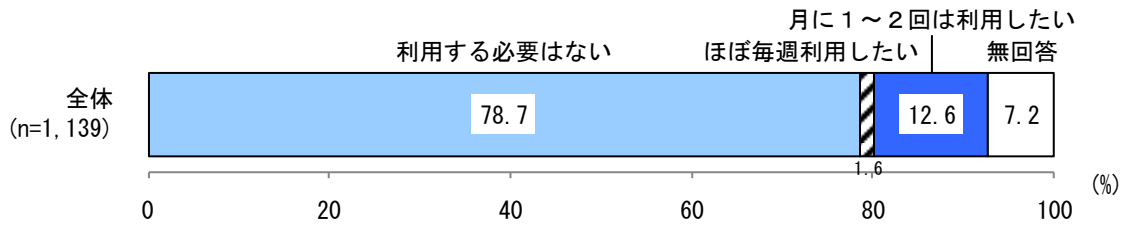
□ 利用したい時間帯 (終了)



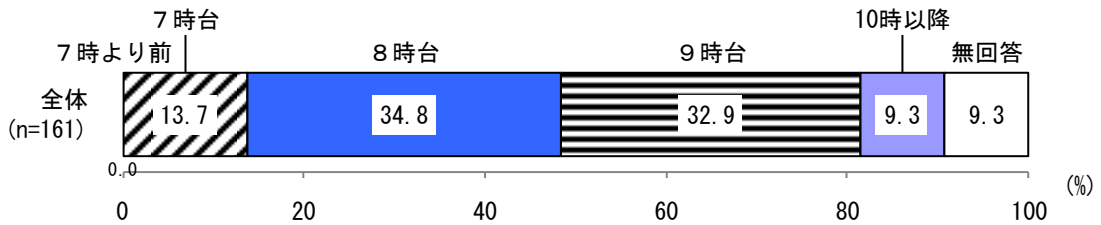
(イ) 日曜日・祝日

日曜日・祝日に幼稚園や保育所、認定こども園などを「利用する必要はない」が78.7%となっている。これに対し、利用希望がある家庭は14.2%で、そのうち「月に1～2回は利用したい」が12.6%となっている。

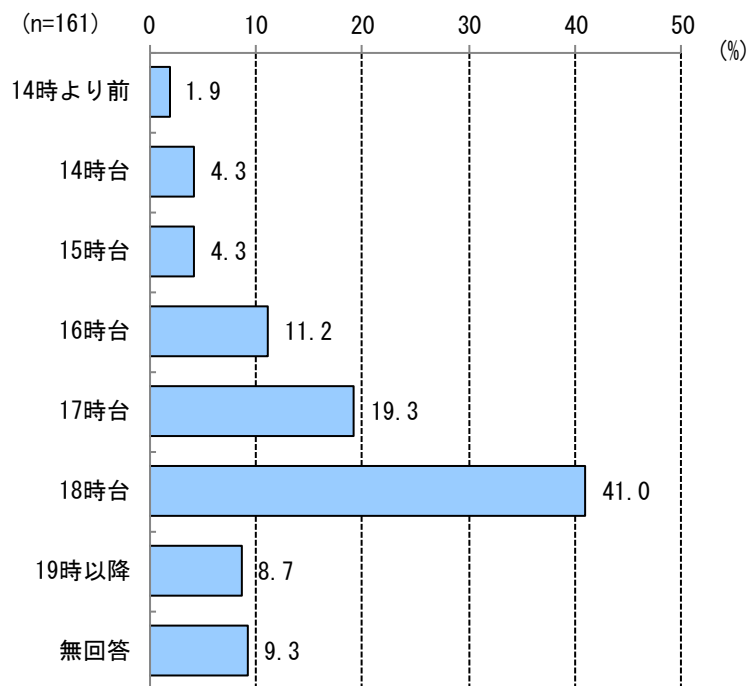
利用希望のある家庭に利用したい時間帯をたずねると、開始時間は「8時台」(34.8%)が、終了時間は「18時台」(41.0%)がそれぞれ最も多くなっている。



□利用したい時間帯（開始）



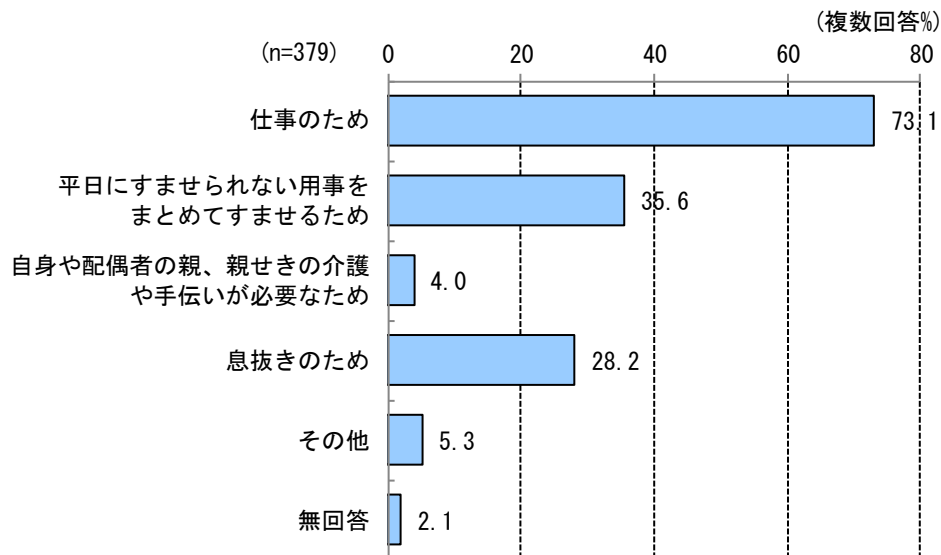
□利用したい時間帯（終了）



②利用したい理由

問19-1 問19の(1)または(2)で、「ほぼ毎週利用したい」または「月に1~2回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。
利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「仕事のため」が73.1%で最も多い。これに次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」(35.6%)、「息抜きのため」(28.2%)となっている。



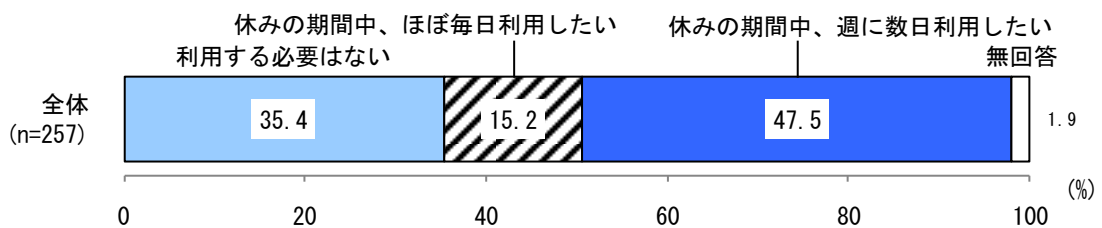
(2) 夏休み・冬休みなど長期休暇中での幼稚園の利用希望 [就学前児童のみ]

① 利用希望

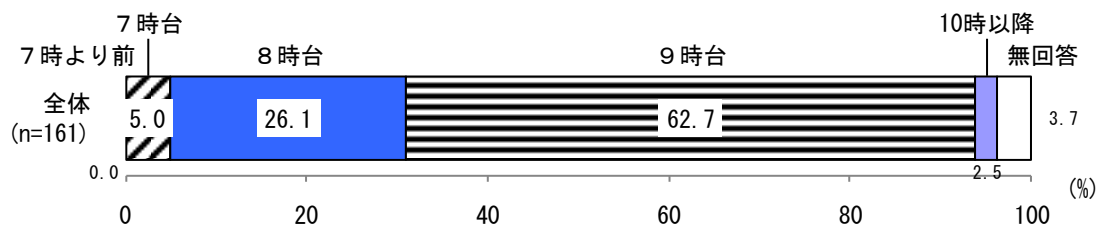
問20 封筒のあて名のお子さんが「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。希望がある場合は、() 内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず(9:00~18:00)のように24時間制でお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が必要となります。

現在、幼稚園を利用し、夏休み・冬休みなど長期休暇中に幼稚園の利用を希望する家庭は62.7%で、そのうち「休みの期間中、週に数日利用したい」が47.5%で最も多い。

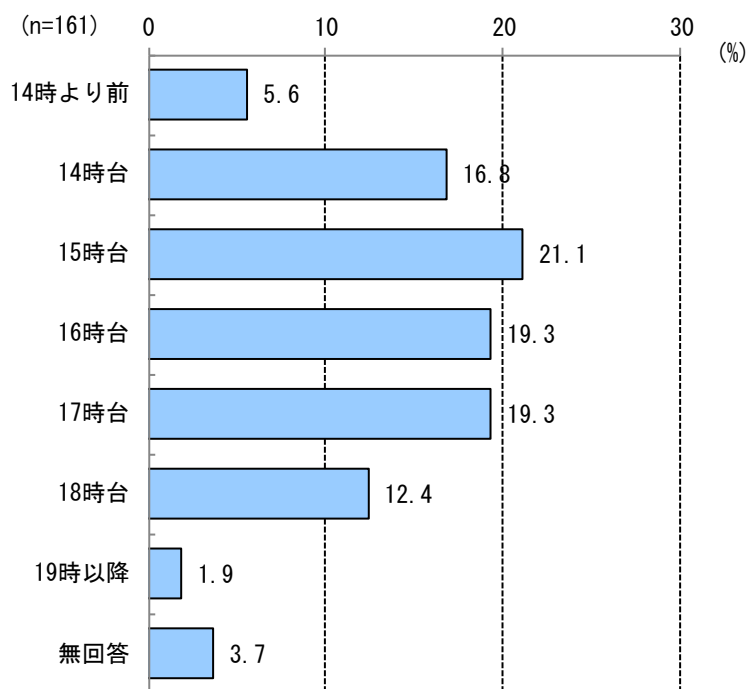
利用希望のある家庭に利用したい時間帯をたずねると、開始時間は「9時台」(62.7%)が、終了時間は「15時台」(21.1%)がそれぞれ最も多くなっている。



□ 利用したい時間帯 (開始)



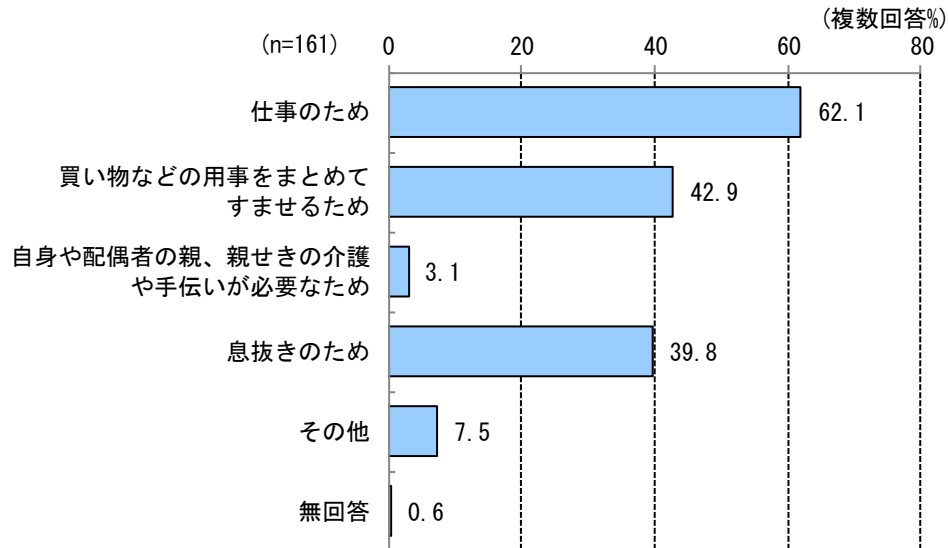
□ 利用したい時間帯 (終了)



②利用したい理由

問20-1 問20で「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方におうかがいします。
利用したい理由は何ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

「仕事のため」が62.1%で最も多い。これに次いで「買い物などの用事をまとめて済ませるため」(42.9%)、「息抜きのため」(39.8%)となっている。



7 仕事と子育ての両立について

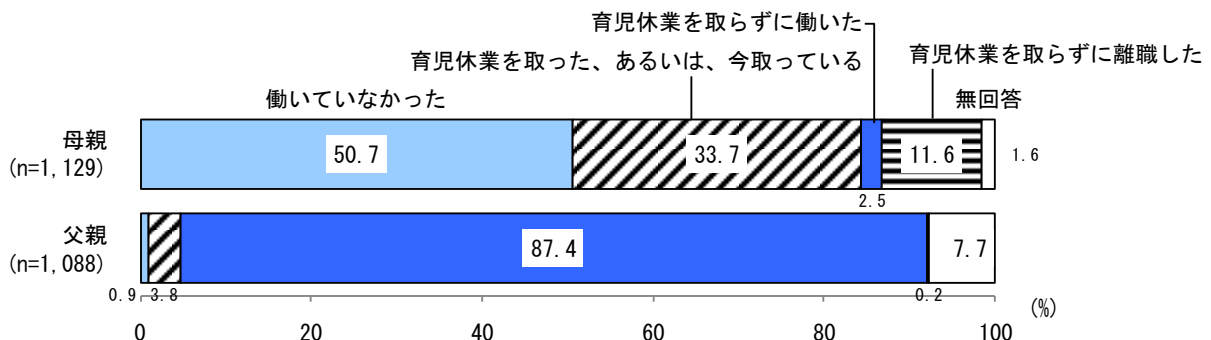
(1) 母親・父親の育児休業の取得状況 [就学前児童のみ]

問21 封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。父親について、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について数字を記入してください。また、「育児休業を取らずに働いた」「育児休業を取らずに離職した」を選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる記号すべてを選んでください。

母親・父親の育児休業の取得状況をみると、母親の場合は、「働いていなかった」が50.7%で最も多く、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」は33.7%となっている。また、母親の11.6%は、「育児休業を取らずに離職した」と回答している。これに対し、父親の場合は、「育児休業を取らずに働いた」が87.4%を占め、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」は3.8%となっている。

母親が育児休業を取らずに働いた理由は、「収入減となり、経済的に苦しくなる」「職場に育児休業の制度がなかった」(各28.6%)が多く、「出産後すぐに仕事に復帰したかった」(25.0%)、「保育所などに預けることができた」(21.4%)などが続いている。

また、母親が育児休業を取らずに離職した理由は「子育てや家事に専念するため」(30.5%)が最も多く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」(22.1%)となっている。



□母親の育児休業を取得しなかった（取得していない）理由

	n	(複数回答%)															
		職場に育児休業を取りにくい雰囲気	仕事が多忙だった	出産後すぐに仕事に復帰したかった	仕事に戻るのが難しそうだった	昇給・昇格などが遅れそうだった	収入減となり、経済的に苦しくなる	保育所などに預けることができた	配偶者が育児休業制度を利用した	配偶者が無職、親にみてもらうなど制度を利用する必要がなかった	子育てや家事に専念するため	職場に育児休業の制度がなかった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	育児休業を取れることを知らなかった	産前産後の休暇を取得できなかった	その他	無回答
育児休業を取らずに働いた理由	28	14.3	17.9	25.0	3.6	-	28.6	21.4	3.6	3.6	-	28.6	7.1	-	-	25.0	14.3
育児休業を取らずに離職した理由	131	17.6	7.6	3.8	22.1	-	1.5	0.8	-	-	30.5	19.1	6.1	-	-	18.3	19.8

父親が育児休業を取らずに働いた理由は、「仕事が忙しかった」が38.4%で最も多く、次いで「配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(32.0%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(31.4%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(26.0%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(24.9%)などが続いている。

□父親の育児休業を取得しなかった（取得していない）理由

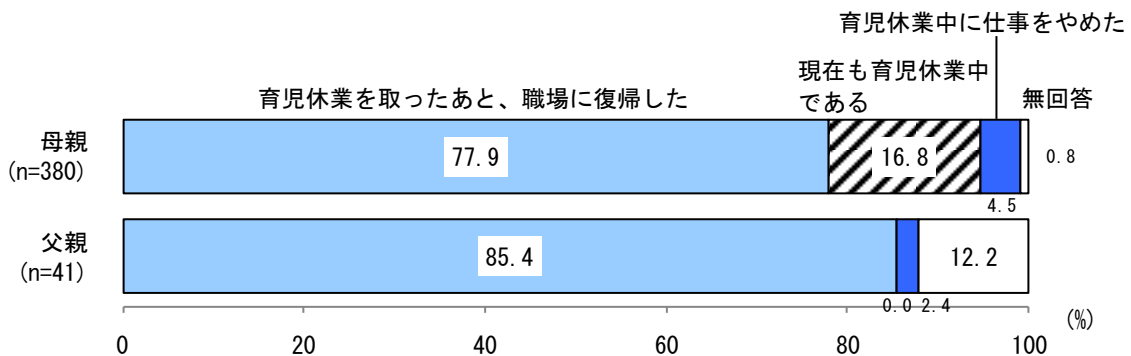
	n	(複数回答%)															
		職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	仕事が忙しかった	出産後すぐに仕事に復帰しなかった	仕事に戻るのが難しそうだった	昇給・昇格などが遅れそうだった	収入減となり、経済的に苦しくなる	保育所などに預けることができた	配偶者が育児休業制度を利用した	配偶者が無職、親にみてもらうなど制度を利用する必要がなかった	子育てや家事に専念するため	職場に育児休業の制度がなかった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	育児休業を取れることを知らなかった	産前産後の休暇を取得できなかった	その他	無回答
育児休業を取らずに働いた理由	951	31.4	38.4	0.7	3.8	6.4	26.0	1.4	24.9	32.0	0.1	10.9	0.1	1.7	0.3	4.1	7.6
育児休業を取らずに離職した理由	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-

(2) 母親・父親の育児休業後の職場復帰について [就学前児童のみ]

① 職場復帰の状況

問21-1 問21の(1)母親、(2)父親とも、またはどちらかで「育児休業を取った、あるいは、今取っている」を選ばれた方におうかがいします。
 育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」割合は、母親が77.9%に対し、父親は85.4%となっている。また、母親では、「現在も育児休業中である」が16.8%となっている。



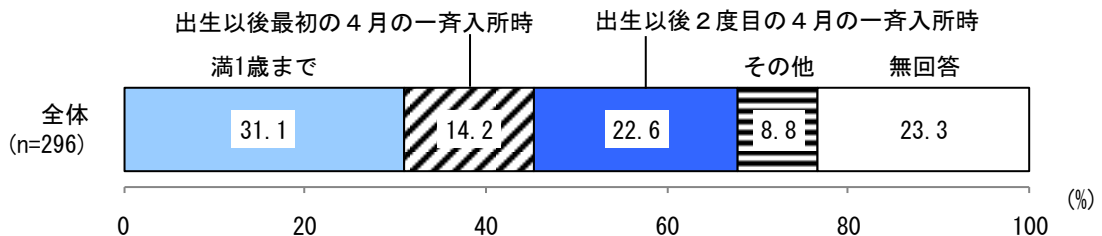
②職場復帰の時期と実際の育児休業取得希望期間

問21-2 問21-1の(1)母親、(2)父親とも、またはどちらかで「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」を選ばれた方におうかがいします。
 育児休業を取ったあと、「実際」に封筒のあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのことになりませんが、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

母親の育児休業の希望取得時期(希望の復帰時期)は「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」が37.2%で最も多いが、実際に職場に復帰した時期(子どもの年齢)は、「0歳6ヶ月～11ヶ月」と「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」が各35.8%で、7割が0歳半～1歳半までの間に復帰している。また、「出生以後最初の4月の一斉入所時」までの希望は14.2%、「出生以後2度目の4月の一斉入所時」までの希望は22.6%となっている。

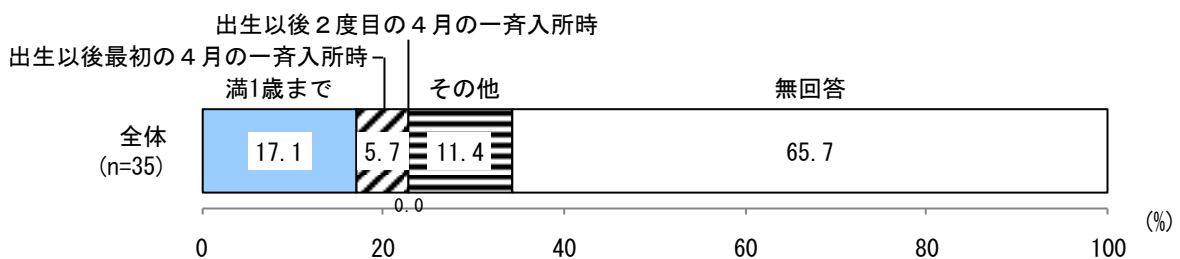
□母親

	n	00歳 51ヶ月	00歳 16ヶ月	11歳 50ヶ月	11歳 16ヶ月	22歳 50ヶ月	22歳 16ヶ月	33歳 10ヶ月	無回答
実際の復帰時期	296	12.5	35.8	35.8	10.5	1.7	0.7	1.7	1.4
希望の復帰時期	296	2.0	5.1	37.2	11.5	8.8	2.4	8.8	24.3



□父親

	n	00歳 51ヶ月	00歳 16ヶ月	11歳 50ヶ月	11歳 16ヶ月	22歳 50ヶ月	22歳 16ヶ月	33歳 10ヶ月	無回答
実際の復帰時期	35	54.3	11.4	5.7	-	-	-	2.9	25.7
希望の復帰時期	35	17.1	17.1	5.7	-	2.9	-	5.7	51.4

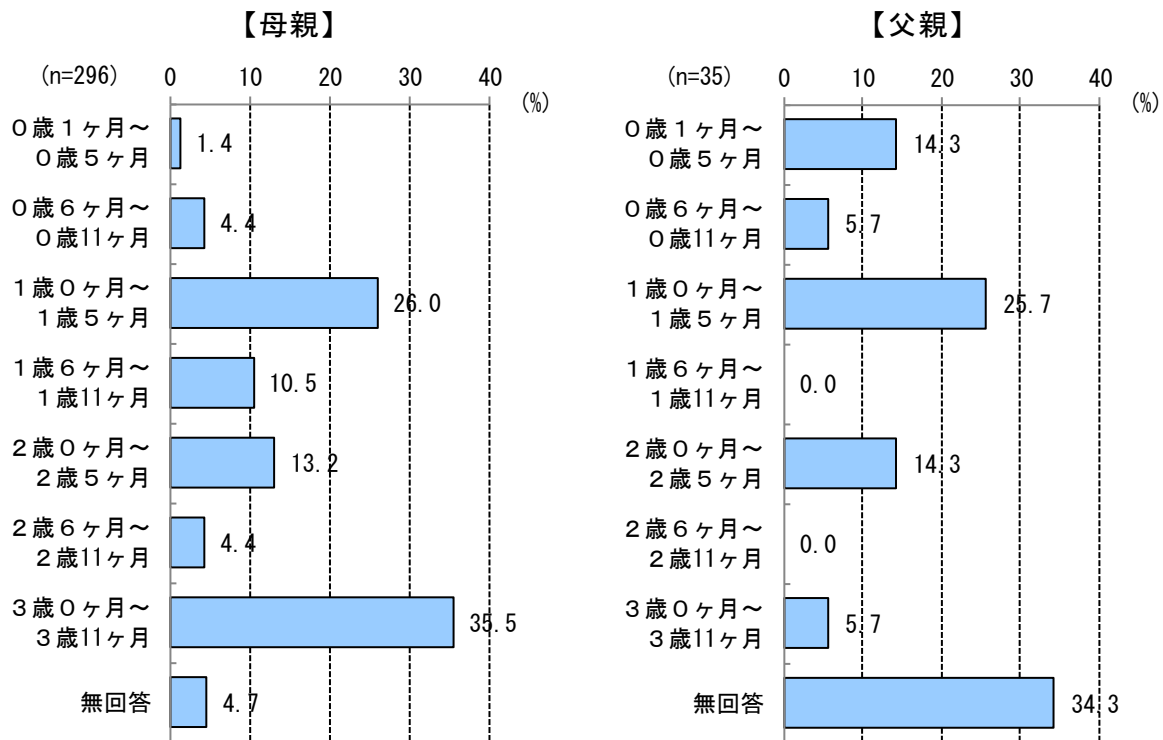


③ 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の育児休業取得希望期間

問21-3 問21-1で(1)母親、(2)父親とも、またどちらかで「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。
 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては封筒のあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の育児休業取得希望期間は、母親の場合は「3歳0ヶ月～3歳11ヶ月」が35.5%で最も多く、次いで「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」(26.0%)となっている。

父親の場合は、「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」が25.7%で最も多く、次いで「0歳1ヶ月～0歳5ヶ月」と「2歳0ヶ月～2歳5ヶ月」(各14.3%)となっている。



④実際の職場への復帰時期が希望と異なる場合の理由

問21-4 問21-2で実際の復帰と希望が異なる方におうかがいします。
希望の時期に職場復帰しなかった理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(ア) 希望より早く職場復帰した理由

職場への復帰時期を希望より早くした理由は、母親の場合、「保育所の入所に合わせたため」が70.3%で最も多い。

(複数回答%)

	n	た保育所の入所に合わせ	あ配偶者や家族の希望が	帰経済的必要な理由があつた	の人事期異動や業務の節目	その他	無回答
母親	145	70.3	2.8	18.6	11.0	16.6	4.1
父親	6	16.7	-	66.7	-	33.3	-

(イ) 希望より遅く職場復帰した理由

職場への復帰時期を希望より遅くした理由は、母親の場合、「保育所の入所に合わせたため」が61.9%で最も多い。

(複数回答%)

	n	た保育所の入所に合わせ	た調自分思やわ子どもなどの体	あ配偶者や家族の希望が	整職つ場の受け入れ態勢が	が子いなどもみたくれる人	その他	無回答
母親	21	61.9	-	-	-	23.8	4.8	28.6
父親	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間

問22(問19) 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。平日及び休日の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を1つだけ記入してください。

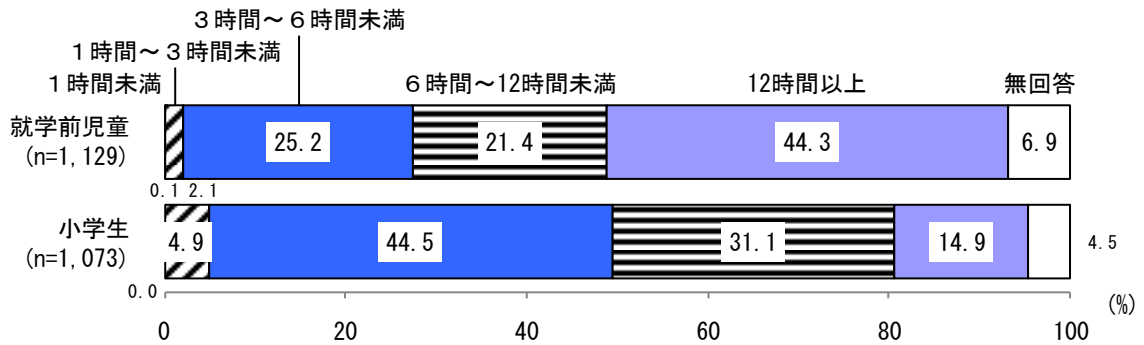
(ア) 平日

就学前児童と過ごす時間は、母親の場合、「12時間以上」が44.3%に対し、父親は5.3%で、「1時間～3時間未満」が38.1%となっている。

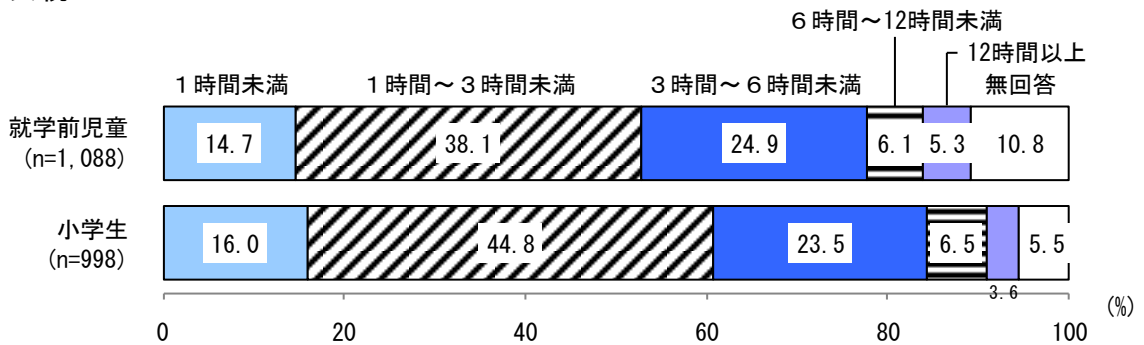
小学生と過ごす時間は、母親の場合、「3時間～6時間未満」が44.5%に対し、父親は「1時間～3時間未満」が44.8%となっている。

一緒に過ごす時間に対し、母親は十分との評価の割合のほうが就学前児童、小学生とも高いのに対し、父親は不十分との評価の割合のほうが高い。

□ 母親

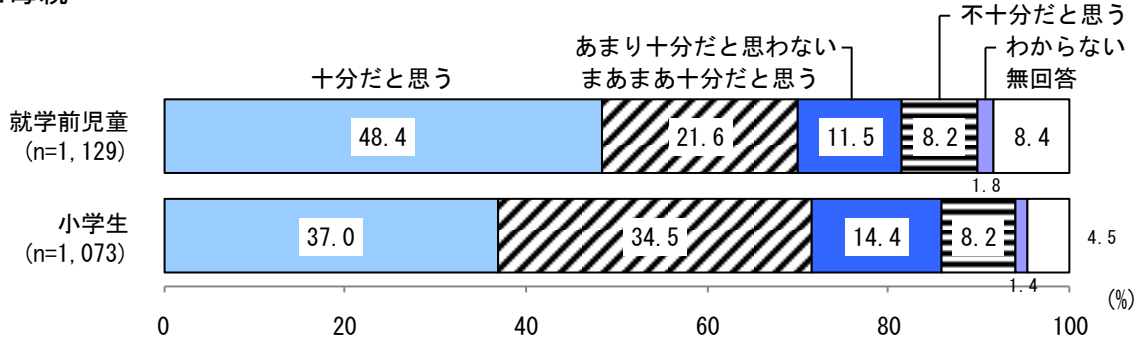


□ 父親

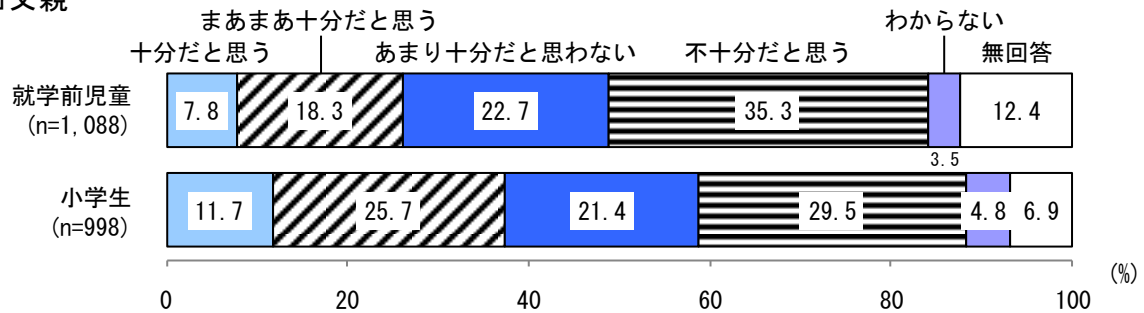


平日に子どもと一緒に過ごす時間に対する評価

□ 母親



□ 父親



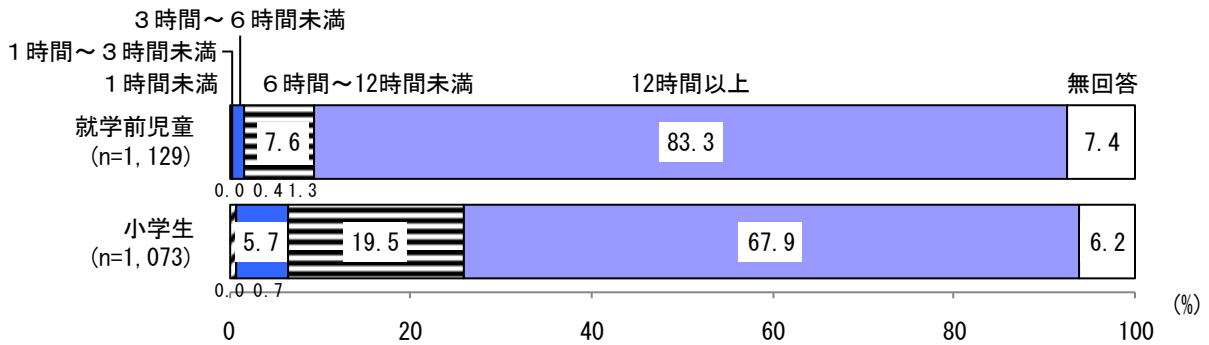
(イ) 休日

就学前児童と過ごす時間は、母親・父親とも「12時間以上」が多く、母親83.3%に対し、父親61.5%で、母親の割合が高い。

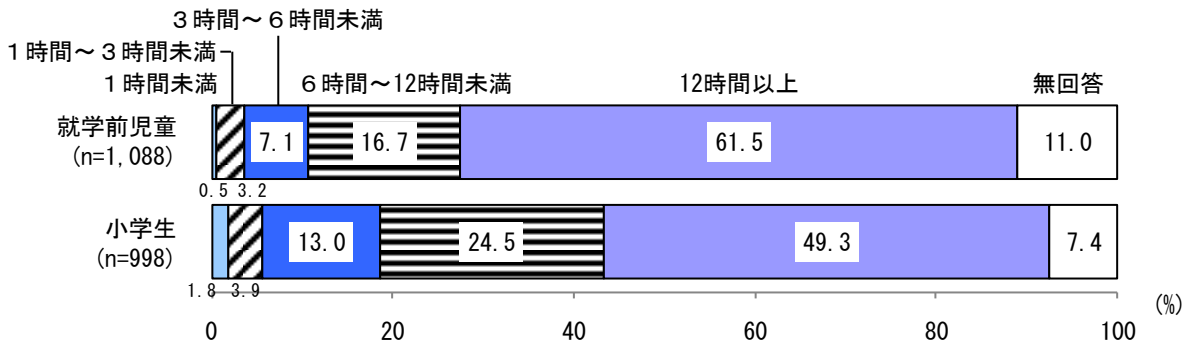
小学生と過ごす時間も、母親・父親とも、「12時間以上」が多いが、母親に比べ父親の割合は低く、12時間未満の割合が母親に比べ高くなっている。

一緒に過ごす時間に対し、母親・父親とも十分との評価の割合が就学前児童、小学生とも高くなっているが、父親の割合は母親に比べ低い。

□ 母親

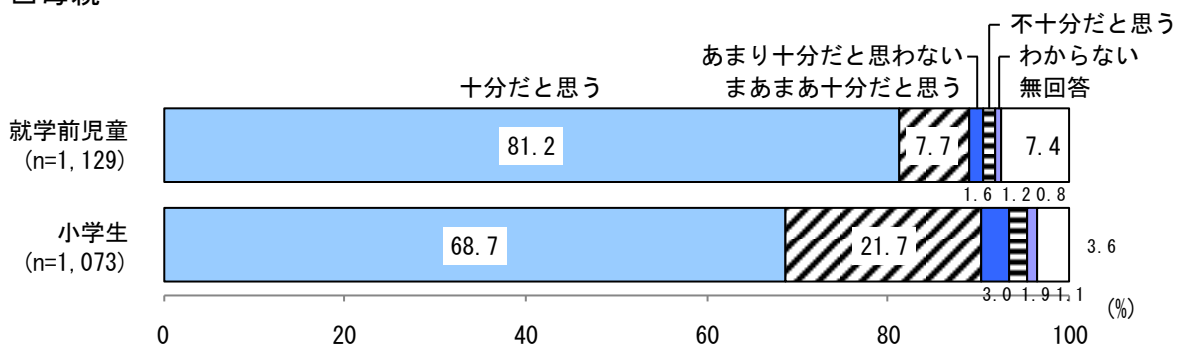


□ 父親

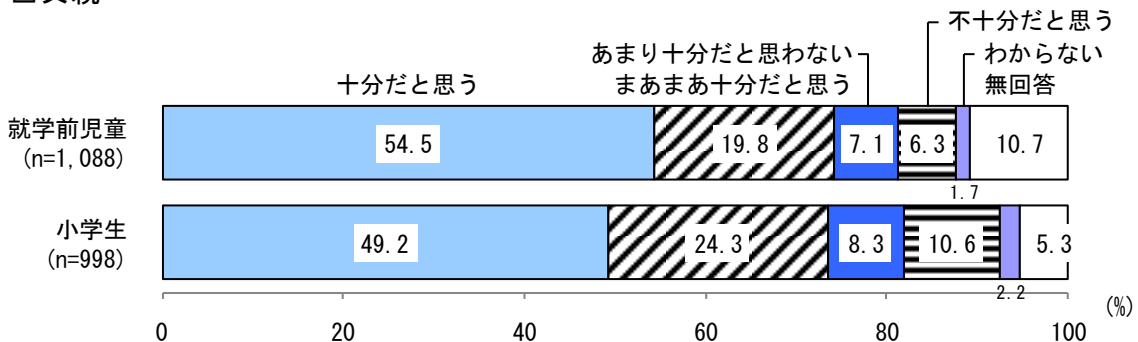


休日子どもと一緒に過ごす時間に対する評価

□ 母親



□ 父親

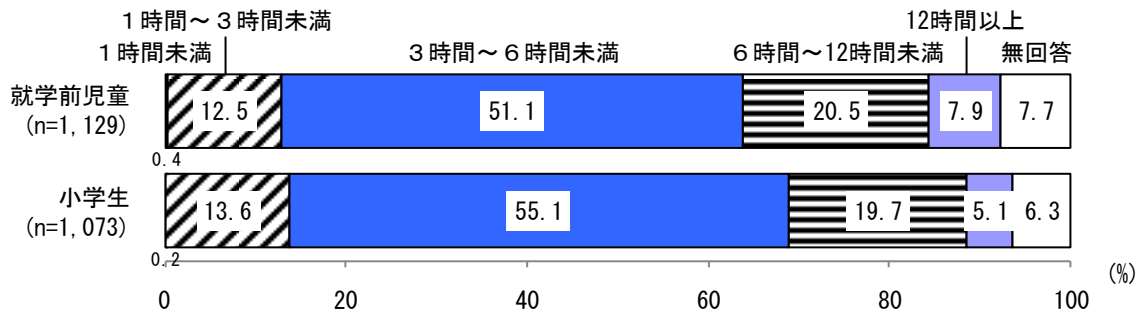


(4) 1日当たり家事に従事する時間

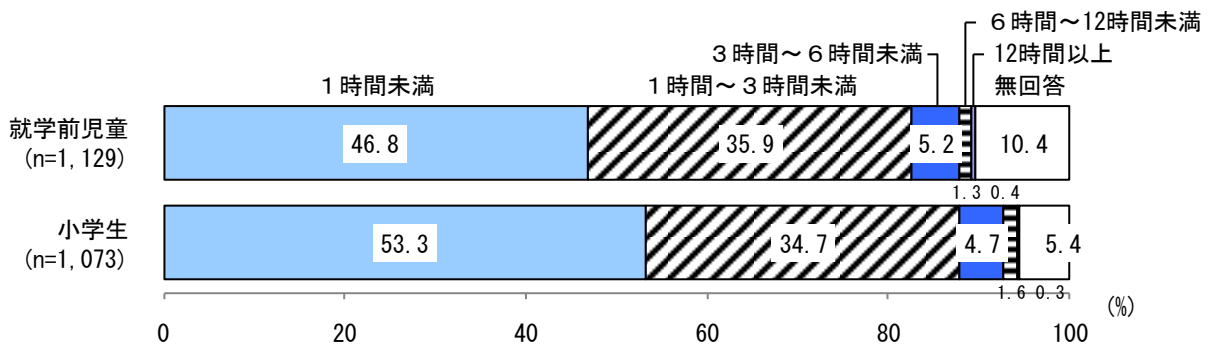
問23(問20) 1日当たり家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

1日当たり家事に従事する時間について、就学前児童及び小学生の母親は「3時間～6時間未満」が5割を占めている。これに対し、父親は、就学前児童、小学生とも「1時間未満」が半数前後で、「1時間～3時間未満」を合わせると、3時間未満が8割を占めている。

□ 母親



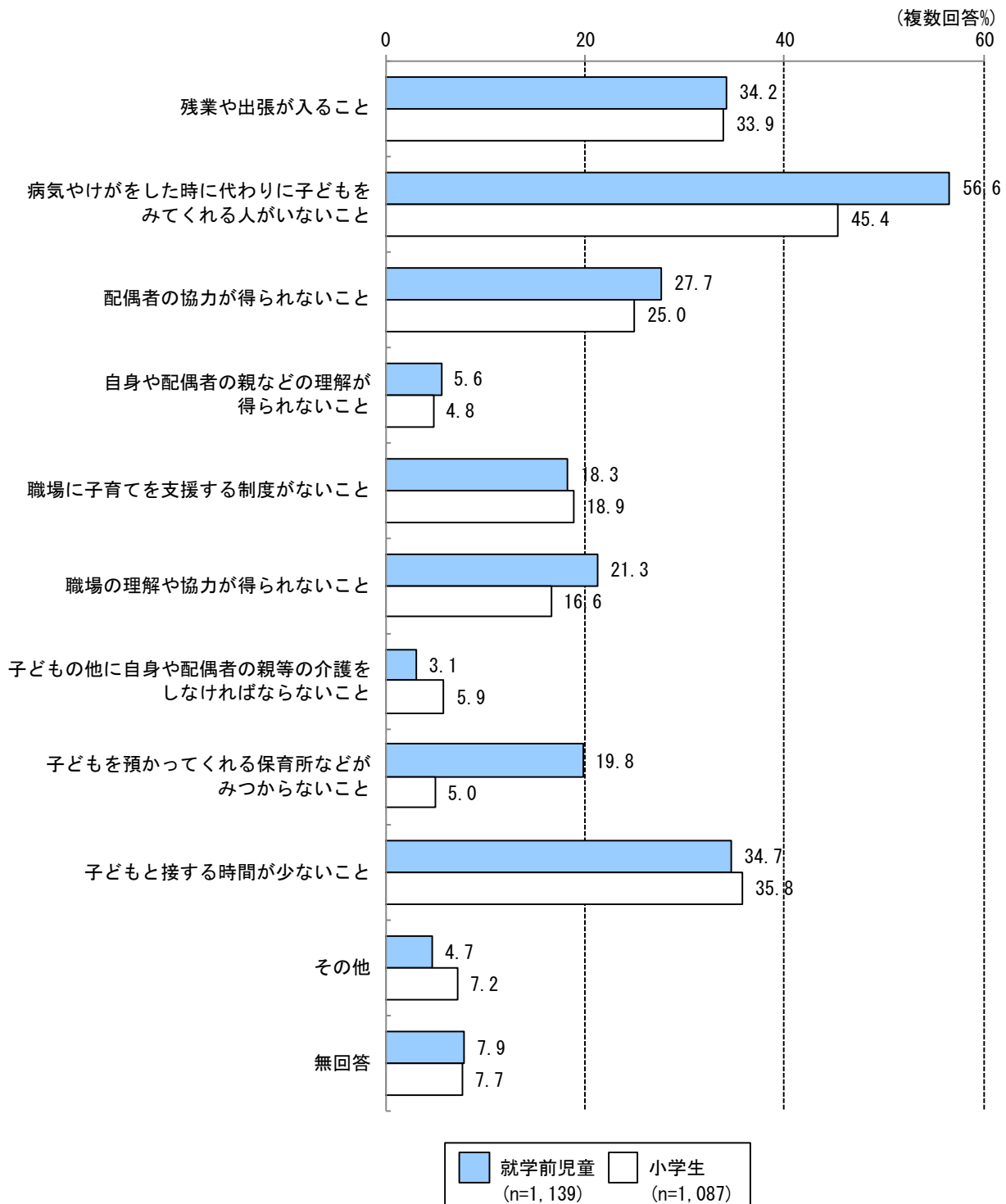
□ 父親



(5) 仕事と子育てを両立させる上での課題

問24(問21) あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で課題だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童、小学生とも、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてる人がいないこと」が最も多く、小学生(45.4%)に比べ就学前児童(56.6%)の割合が高くなっている。これに次いで、就学前児童、小学生とも、「残業や出張が入ること」(就学前34.2%、小学生33.9%)、「配偶者の協力が得られないこと」(就学前27.7%、小学生25.0%)などが続いている。



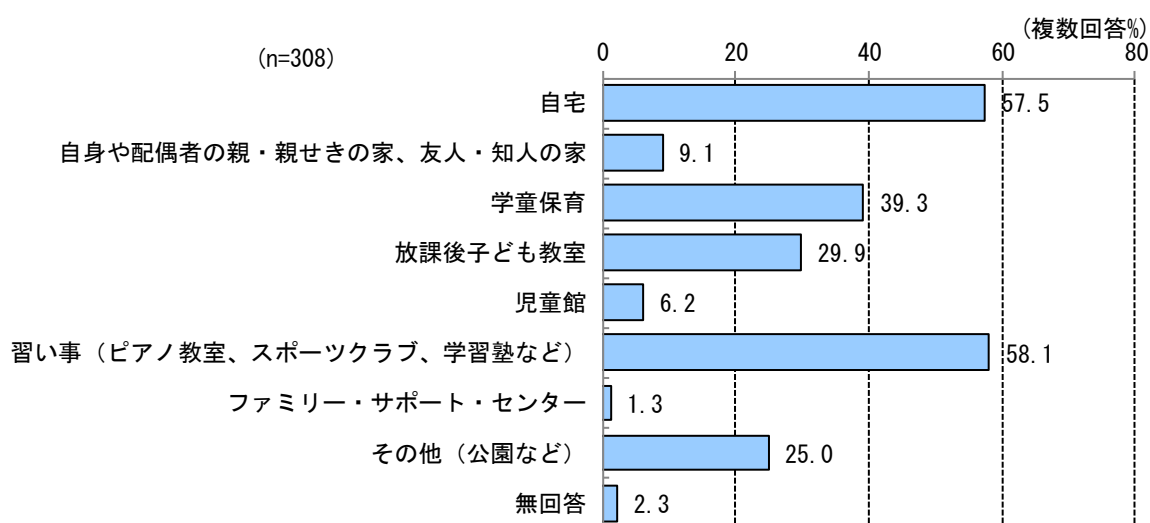
8 就学前児童（5歳以上）の小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学校低学年での希望する放課後の過ごし方 [就学前児童のみ]

問25 小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について記入してください。
「学童保育」を選択された場合には、利用を希望する時間についても記入してください。

小学校低学年の放課後の過ごし方の希望は、「自宅」（57.5%）と「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」（58.1%）が半数で多い。

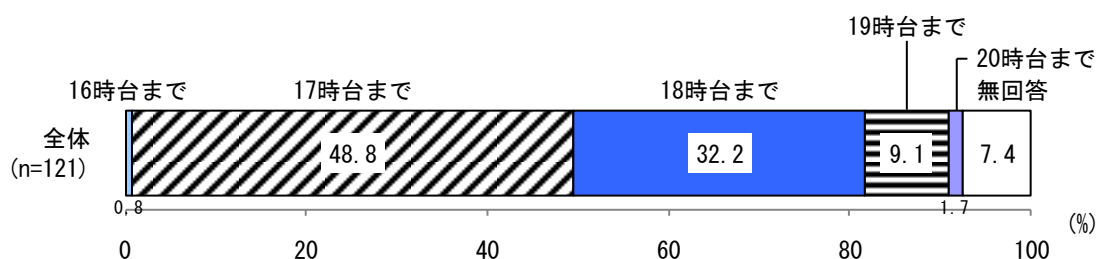
「学童保育」は39.3%で、週5日の利用希望が66.9%となっている。利用希望時間は「17時台まで」が48.8%、「18時台」が32.2%となっている。「放課後子ども教室」は29.9%で、週1日の利用希望が41.3%で多くなっている。



□居場所別希望日数

	n	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
①自宅	177	20.3	22.0	19.2	7.3	23.2	7.9
②自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	28	53.6	10.7	7.1	-	10.7	17.9
③学童保育	121	3.3	5.8	8.3	11.6	66.9	4.1
④放課後子ども教室	92	41.3	25.0	12.0	7.6	12.0	2.2
⑤児童館	19	47.4	15.8	15.8	-	15.8	5.3
⑥習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	179	24.0	44.1	19.0	6.1	2.8	3.9
⑦ファミリー・サポート・センター	4	25.0	-	-	-	50.0	25.0
⑧その他（公園など）	77	22.1	39.0	18.2	3.9	11.7	5.2

□小学校低学年での学童保育の利用希望時間

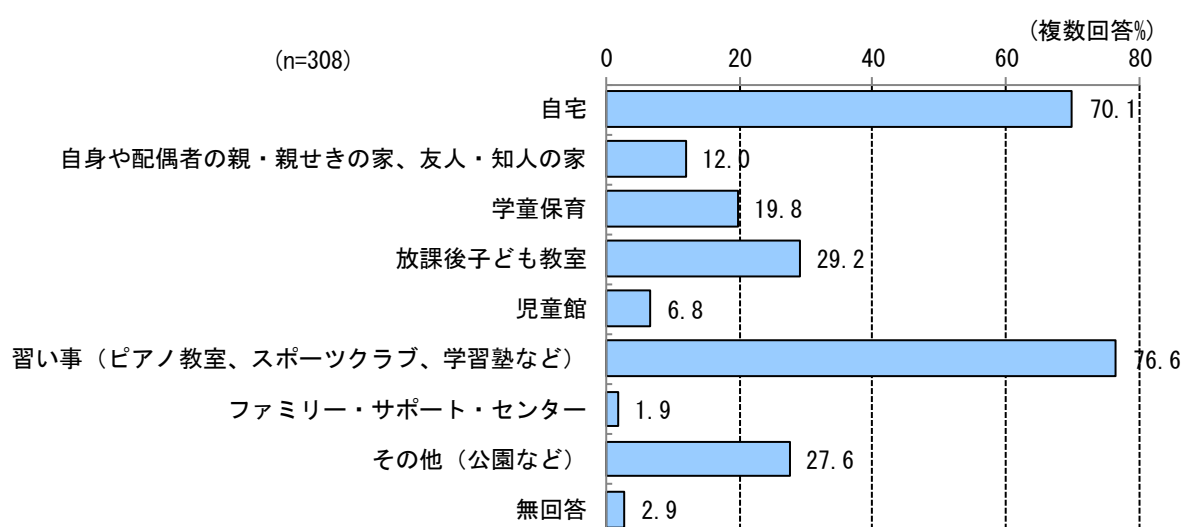


(2) 小学校高学年での希望する放課後の過ごし方 [就学前児童のみ]

問26 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について記入してください。
「3. 学童保育」を選択された場合には、利用を希望する時間についても記入してください。

小学校高学年の放課後の過ごし方の希望は、「自宅」（70.1%）と「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」（76.6%）が7割を占め多い。

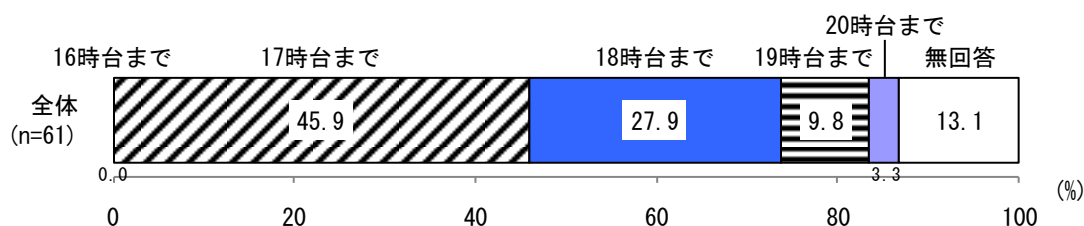
「学童保育」は19.8%で、低学年に比べ低く、週5日（49.2%）、「17時台まで」（45.9%）の利用希望が多くなっている。「放課後子ども教室」は29.2%で、週1日の利用希望が41.1%と多くなっている。



□居場所別希望日数

	n	希望する日数 (%)					無回答 (%)
		1日	2日	3日	4日	5日	
①自宅	216	19.9	29.2	16.7	2.8	21.3	10.2
②自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	37	59.5	18.9	5.4	2.7	8.1	5.4
③学童保育	61	13.1	9.8	21.3	4.9	49.2	1.6
④放課後子ども教室	90	41.1	32.2	7.8	7.8	8.9	2.2
⑤児童館	21	23.8	38.1	4.8	-	23.8	9.5
⑥習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	236	15.3	35.6	30.1	11.4	4.2	3.4
⑦ファミリー・サポート・センター	6	33.3	16.7	-	-	33.3	16.7
⑧その他（公園など）	85	28.2	34.1	12.9	9.4	12.9	2.4

□小学校高学年での学童保育の利用希望時間



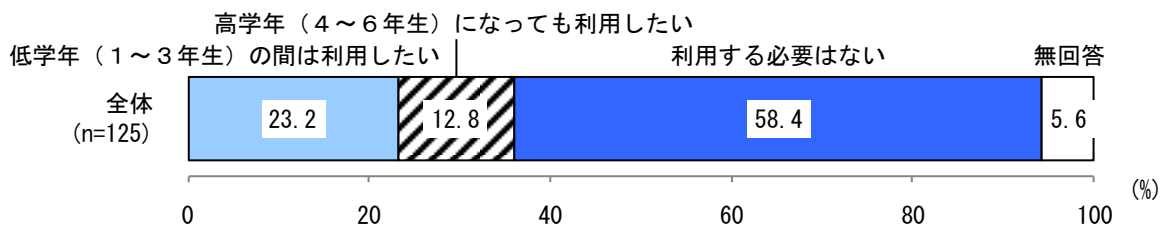
(3) 土曜日、日曜日・祝日の学童保育の利用希望 [就学前児童のみ]

問27 問25または問26で「学童保育」を選ばれた方におうかがいします。
 土曜日、日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。それぞれについて、
 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を記入
 してください。
 なお、サービスの利用にあたっては、利用料が必要となります。

(ア) 土曜日の利用希望

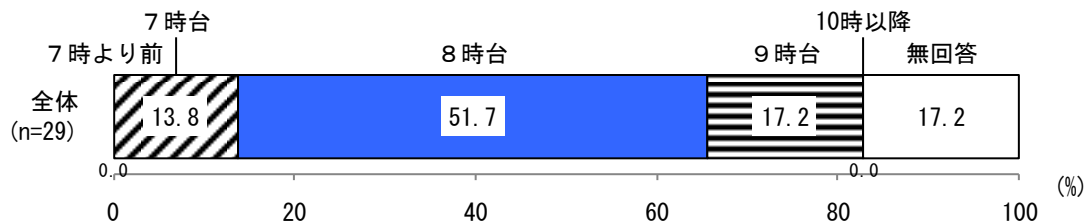
「利用する必要はない」が58.4%で半数を超える。利用したい割合は36.0%で、その
 うち「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が23.2%となっている。

低学年での利用開始希望時間は「8時台」が51.7%、利用終了希望時間は「18時台」
 が34.5%でそれぞれ多い。

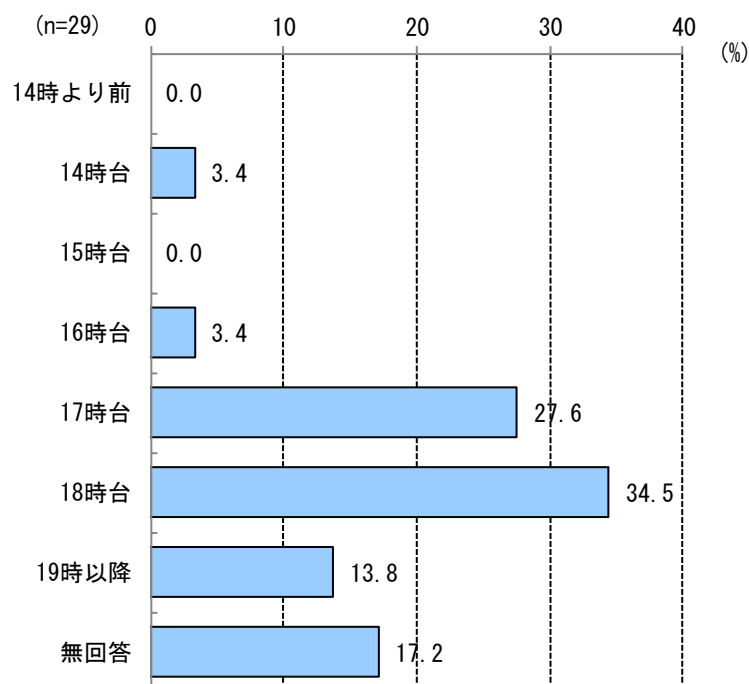


□低学年での利用

【利用開始希望時間】



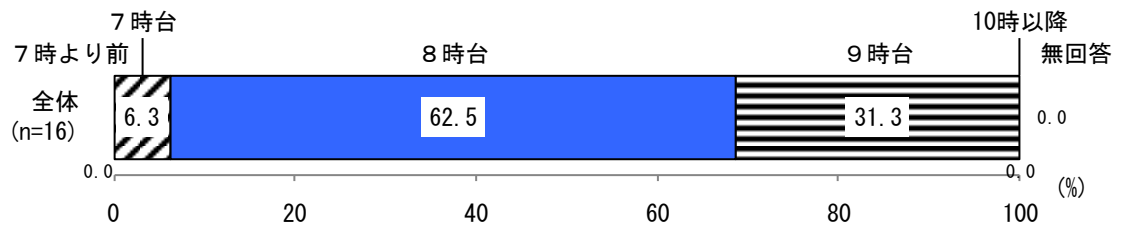
【利用終了希望時間】



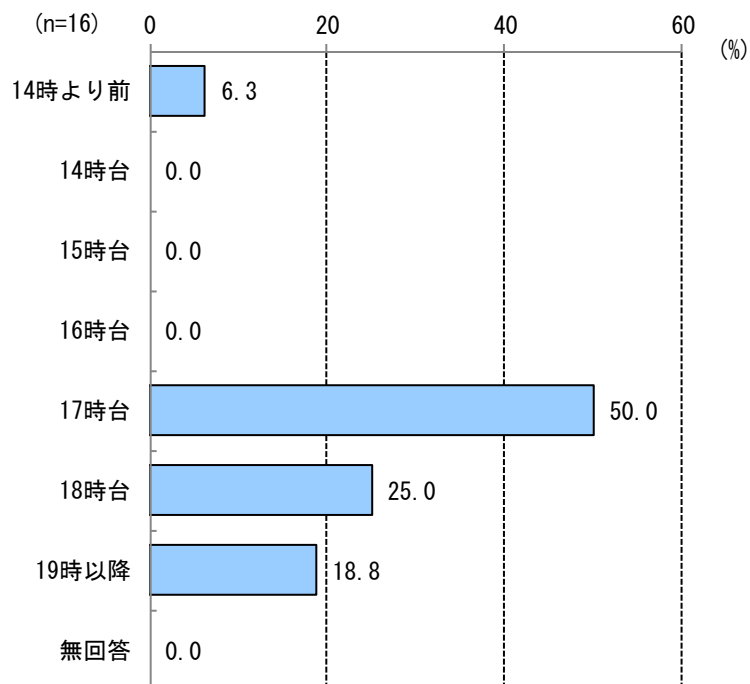
高学年での利用開始希望時間は「8時台」が62.5%、利用終了希望時間は「17時台」が50.0%でそれぞれ多い。

□高学年での利用

【利用開始希望時間】



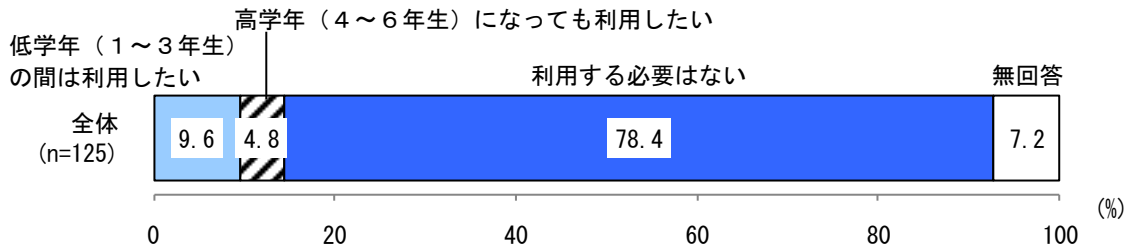
【利用終了希望時間】



(イ) 日曜日・祝日の利用希望

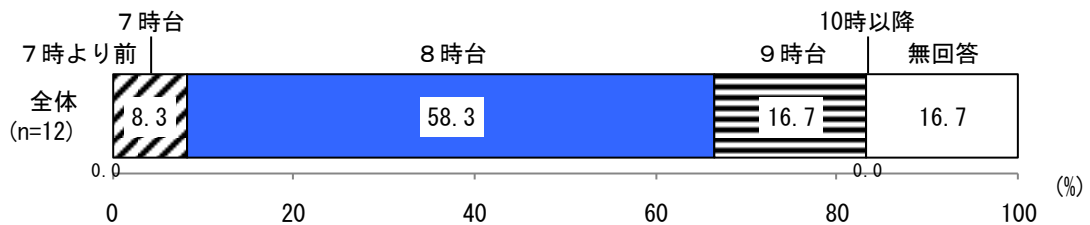
「利用する必要はない」が78.4%を占めている。利用したい割合は14.4%で、そのうち「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が9.6%となっている。

低学年での利用開始希望時間は「8時台」が58.3%、利用終了希望時間は「18時台」が50.0%となっている。

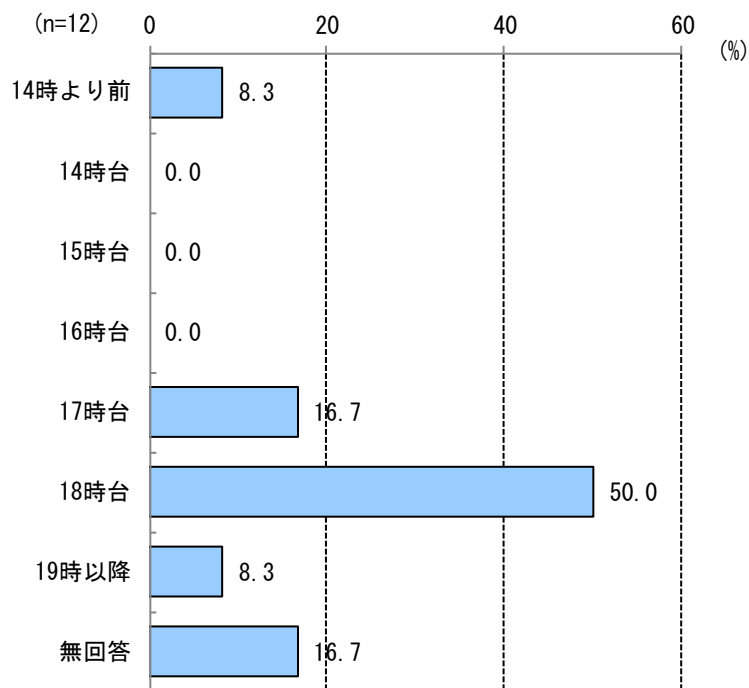


□ 低学年での利用

【利用開始希望時間】



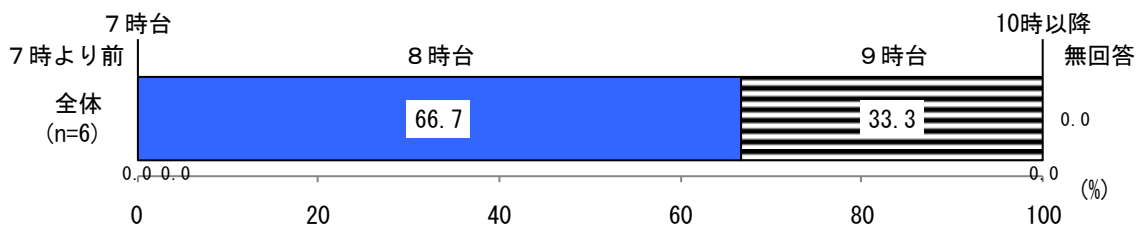
【利用終了希望時間】



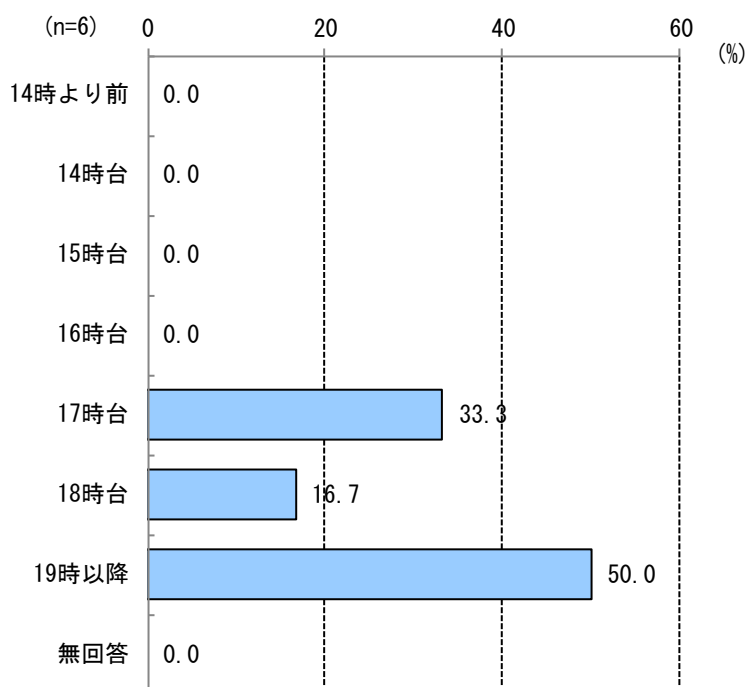
高学年での利用開始希望時間は「8時台」が66.7%、利用終了希望時間は「19時以降」が50.0%でそれぞれ多い。

□高学年での利用

【利用開始希望時間】



【利用終了希望時間】

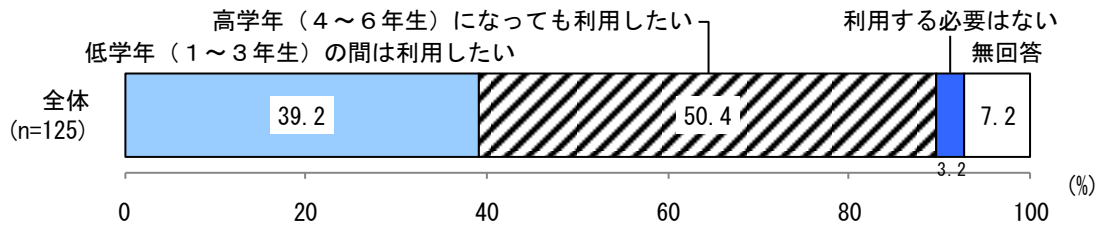


(4)夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望 [就学前児童のみ]

問28 封筒のあて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を記入してください。
 なお、サービスの利用にあたっては、利用料が必要となります。

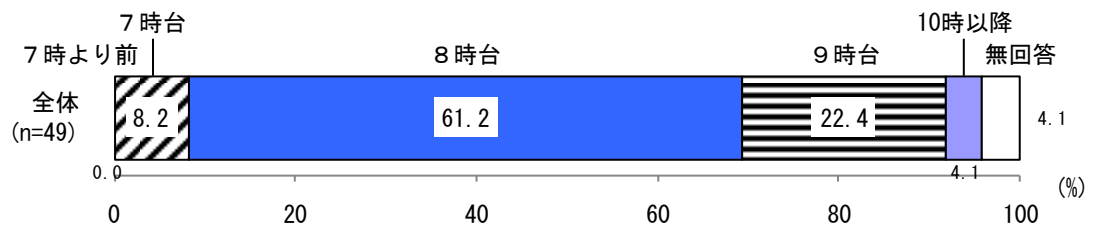
夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に学童保育を利用したい割合は89.6%で、そのうち「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が50.4%となっている。

低学年での利用開始希望時間は「8時台」が61.2%、利用終了希望時間は「17時台」が46.9%となっている。

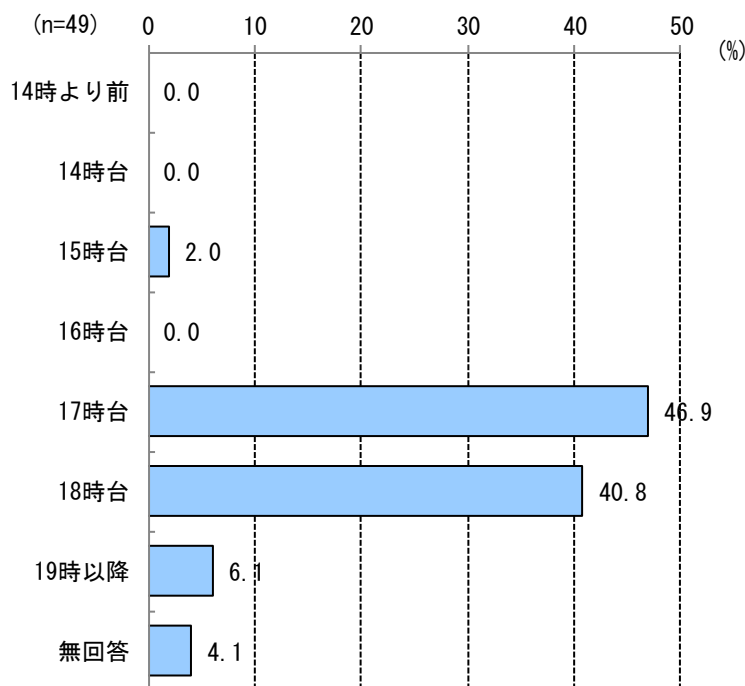


□低学年での利用

【利用開始希望時間】



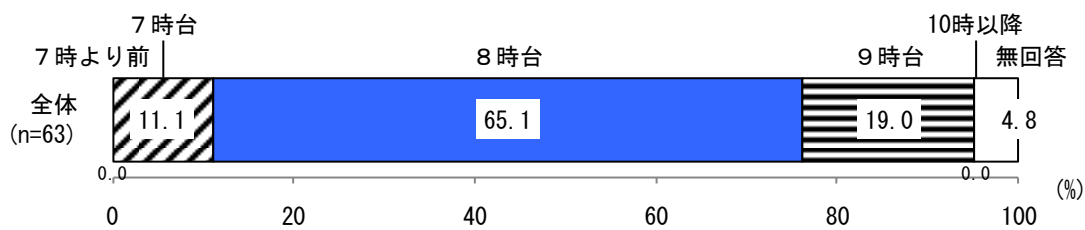
【利用終了希望時間】



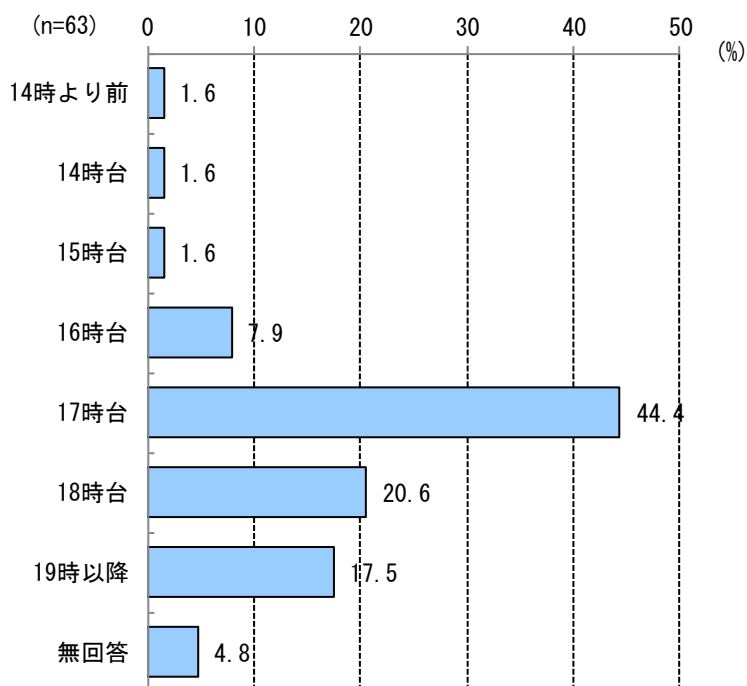
高学年での利用開始希望時間は「8時台」が65.1%、利用終了希望時間は「17時台」が44.4%となっている。

□高学年での利用

【利用開始希望時間】



【利用終了希望時間】

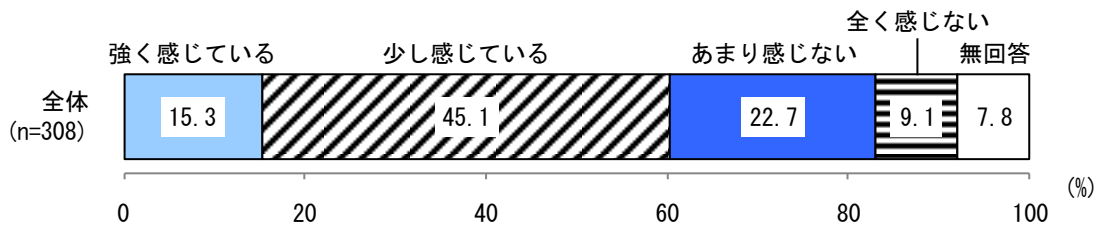


(5) 就学前から小学校入学にあたっての不安について [就学前児童のみ]

① 就学前から小学校入学にあたっての不安の程度

問29 就学前から小学校入学にあたり、何か不安はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

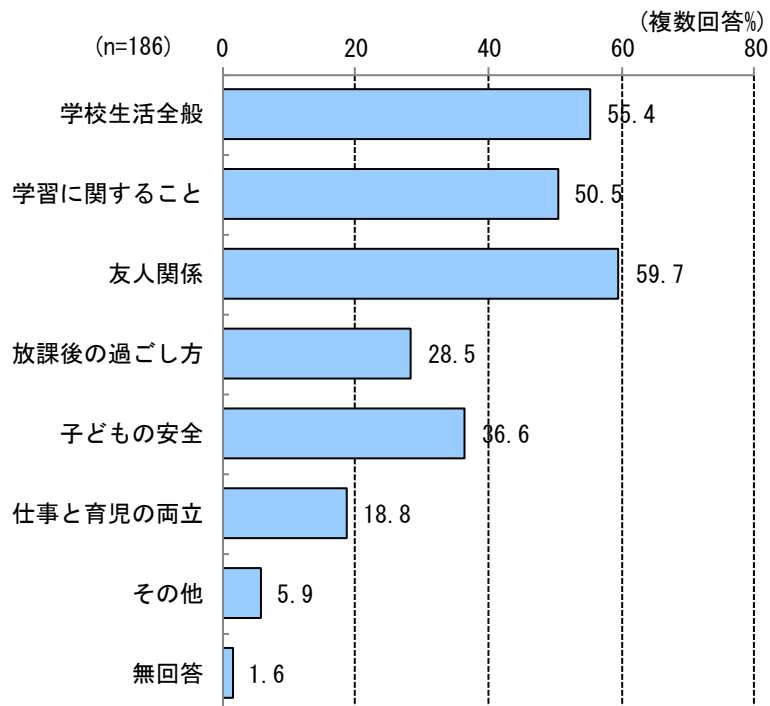
不安を感じている割合（「強く感じている」と「少し感じている」の割合の合計）は60.4%に対し、不安を感じていない割合（「全く感じない」と「あまり感じない」の割合の合計）は31.8%で、不安を感じている割合が高くなっている。



② 就学前から小学校入学にあたっての不安内容

問30 問29で「強く感じている」または「少し感じている」を選ばれた不安がある方におうかがいします。その内容はどんなものですか。特に不安を感じる番号3つに○をつけてください。

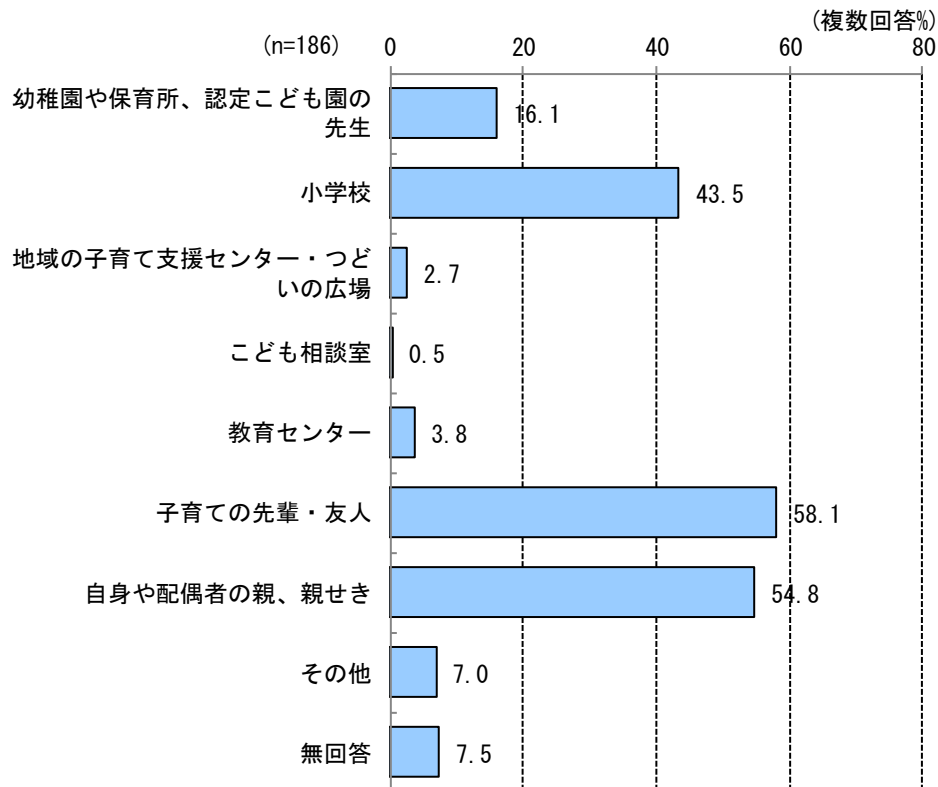
不安を感じている場合の内容は、「友人関係」（59.7%）や「学校生活全般」（55.4%）、「学習に関すること」（50.5%）が多い。



③就学前から小学校入学にあたっての不安の相談先

問31 問29で「強く感じている」または「少し感じている」を選ばれた不安がある方におうかがいします。
その場合、相談する人や場所はどこですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

不安に関する相談先は、「子育ての先輩・友人」が58.1%で最も多く、これに次いで「ご自身や配偶者の親、親せき」(54.8%)、「小学校」(43.5%)となっている。



9 子どもを預かるサービスの不規則な利用について

(1) 不規則に利用した子どもを預かるサービスの利用状況 [就学前児童のみ]

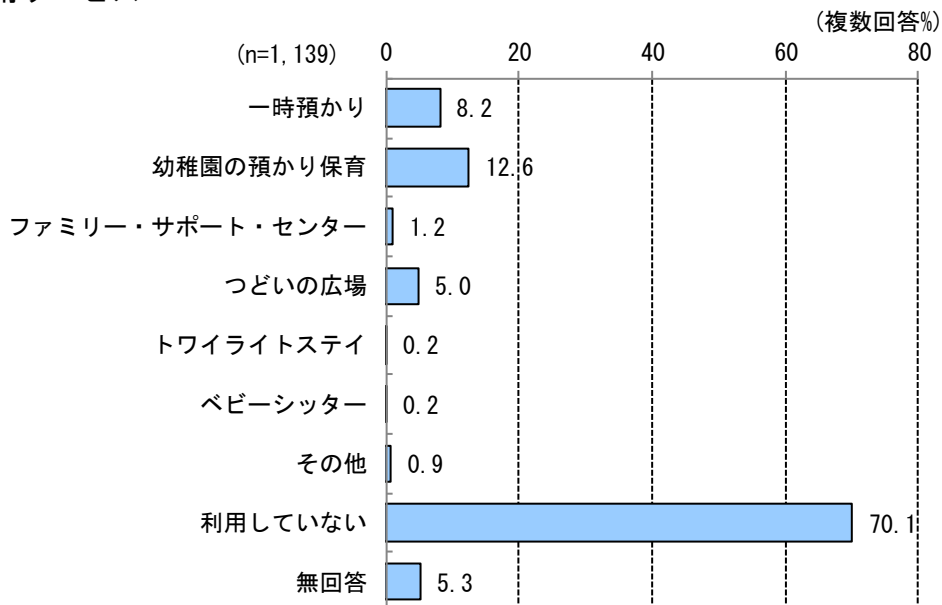
① 利用したことのあるサービス

問32 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不規則に」利用しましたか。(幼稚園や保育所、認定こども園などの定期的な利用や子どもが病気の際の保育施設などの利用は除きます。) 当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について記入してください。

「利用していない」が70.1%となっている。一方、子どもを預かるサービスで不規則利用が多いものは、「幼稚園の預かり保育」の12.6%で、これに次いで「一時預かり」の8.2%である。

年間の延べ利用日数は、幼稚園の預かり保育は「3日～6日」(30.8%)が、一時預かりは「1日～2日」(46.2%)がそれぞれ最も多い。

□ 利用サービス



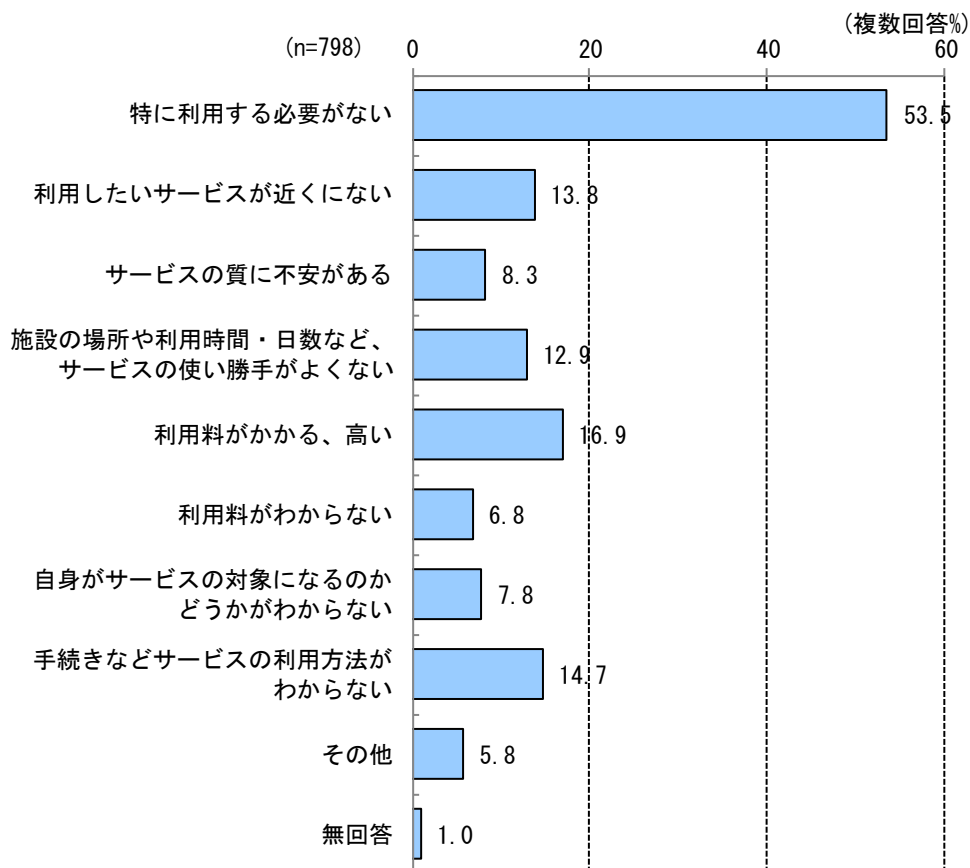
□ 年間延べ利用日数

	n	(%)						
		1日 5 2日	3日 5日	6日 1 0日	1 日 5 2 0日	2 日 5 3 0日	3 日 1 日以上	無 回 答
①一時預かり	93	46.2	23.7	17.2	6.5	1.1	4.3	1.1
②幼稚園の預かり保育	143	18.9	30.8	18.9	11.9	4.2	8.4	7.0
③ファミリー・サポート・センター	14	21.4	28.6	21.4	14.3	-	14.3	-
④つどいの広場	57	26.3	12.3	22.8	14.0	5.3	17.5	1.8
⑤トワイライトステイ	2	-	100.0	-	-	-	-	-
⑥ベビーシッター	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-
⑦その他	10	30.0	-	-	-	20.0	20.0	30.0

②子どもを不定期に預かるサービスを利用していない理由

問32-1 問32で「利用していない」を選ばれた方におうかがいします。
現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

一時預かりなどの不定期に預かるサービスを利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が53.5%で最も多い。これに次いで「利用料がかかる、高い」(16.9%)、「手続きなどサービスの利用方法がわからない」(14.7%)、「利用したいサービスが近くにない」(13.8%)などが続いている。



(2) 保育所や子育て支援総合センターなどで実施されている一時預かりの利用希望 [就学前児童のみ]

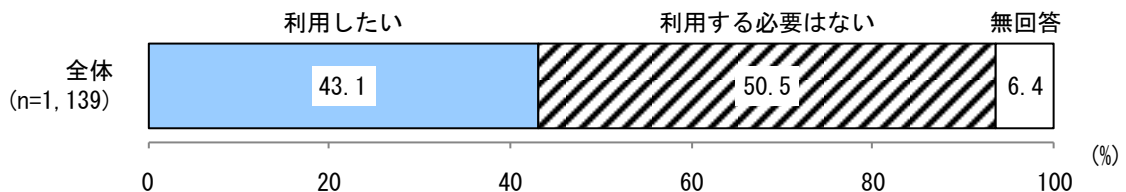
① 利用希望と利用目的

問33 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、1年間に何日くらい保育所や子育て支援総合センターなどで実施されている「一時預かり」を利用したいと思いますか。利用したいか、する必要がないかについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。利用したい場合、利用したい目的すべてに○をつけ、日数を記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が必要となります。

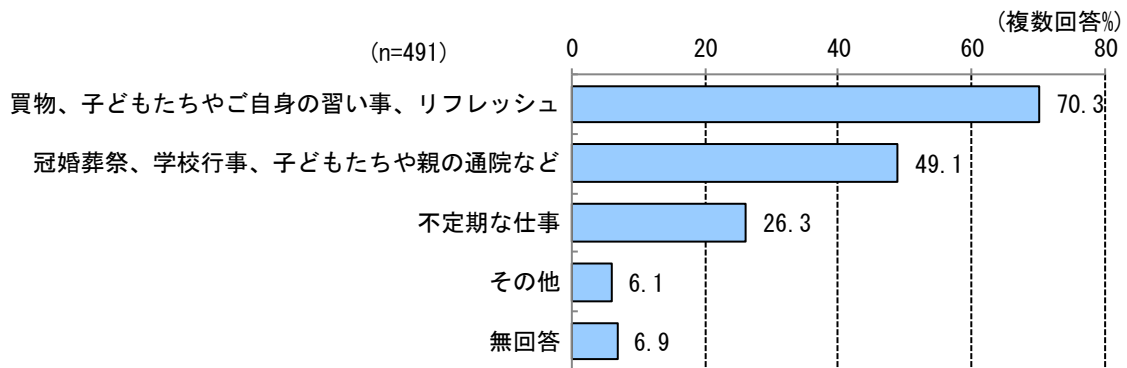
保育所や子育て支援総合センターなどで実施されている一時預かりについて、「利用したい」は43.1%に対し、「利用する必要はない」は50.5%となっている。

利用希望がある場合の利用目的は、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」が70.3%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」(49.1%)となっている。利用希望日数は、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」では「11日～20日」が29.3%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」では「3日～5日」が35.7%でそれぞれ多い。

□ 利用希望



□ 利用目的



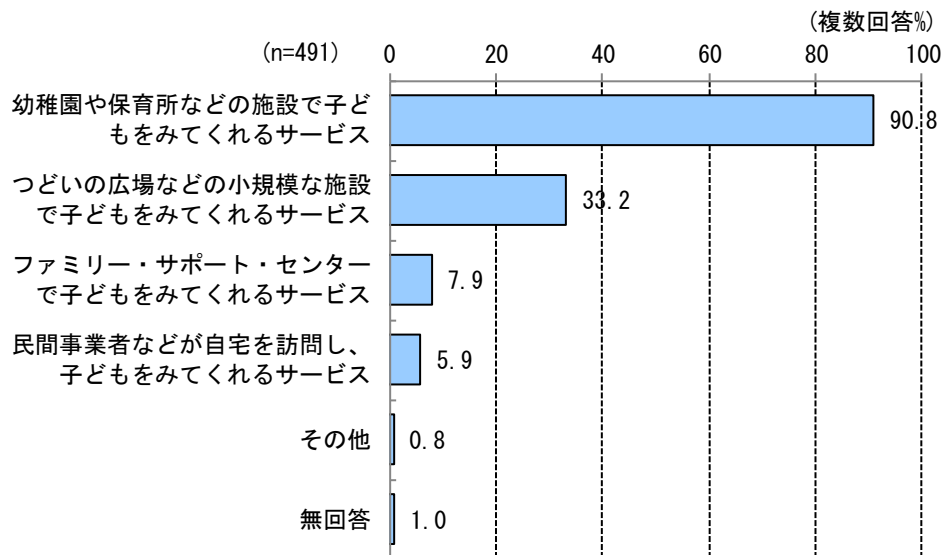
□ 利用目的別年間利用希望日数

	n	希望日数 (%)						
		1日 以下	3日 以下	6日 以下	11日 以下	21日 以下	31日 以上	無回答
ア. 買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	345	8.7	20.6	22.3	29.3	9.9	5.8	3.5
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもたちの親の通院など	241	15.4	35.7	27.0	11.6	3.7	2.1	4.6
ウ. 不定期な仕事	129	8.5	26.4	18.6	15.5	10.9	14.7	5.4
エ. その他	30	10.0	33.3	10.0	20.0	6.7	13.3	6.7

②一時預かりを利用したい場合に希望する子育て支援サービス

問33-1 問33で「利用したい」を選ばれた方におうかがいします。
問33の目的で封筒のあて名のお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が必要となります。

一時預かりを利用したい場合に希望するサービスは、「幼稚園や保育所、認定こども園、子育て支援総合センター、すこやかセンターなどの施設で子どもをみてるサービス」が多く、90.8%を占めている。



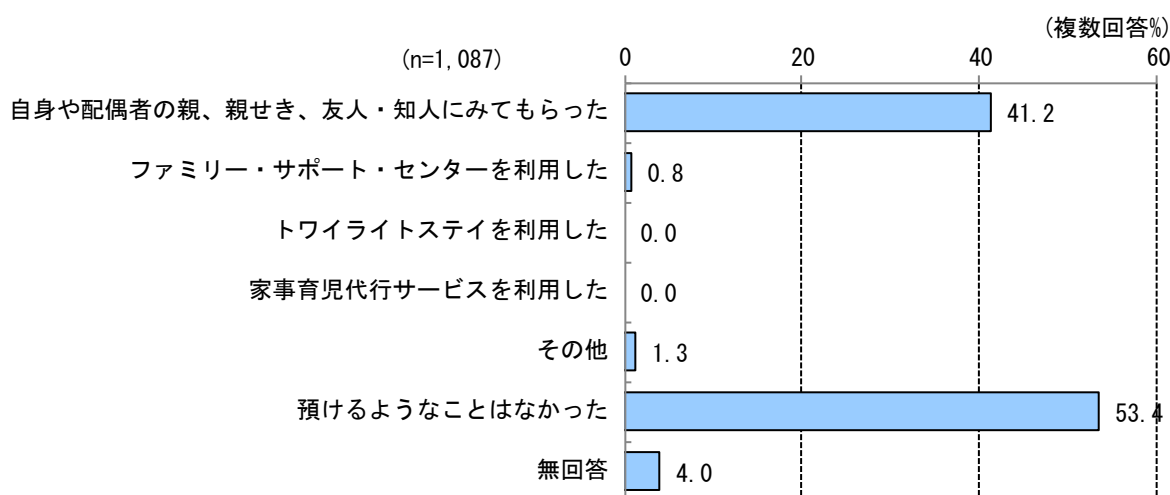
(3) 私用、自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として家族以外に小学生を一時的に預けた経験の状況 [小学生のみ]

問17 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、封筒のあて名のお子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。) あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について()内に具体的な数字を入れてください。

私用、自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として家族以外に小学生を一時的に預けたことについて、「預けるようなことはなかった」が53.4%に対し、預けたことがある割合は42.6%となっている。

その対処方法は、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)」が41.2%で最も多く、年間の利用日数は「1日～2日」(36.2%)が多い。

□ 対処方法



□ 対処方法別年間利用日数

対処方法	n	(%)						
		1日 5 2日	3日 5 5日	6日 5 10日	11日 5 20日	21日 5 30日	31日以上	無回答
①自身や配偶者の親、親せき、友人・知人	448	36.2	25.9	17.0	7.4	3.1	4.7	5.8
②ファミリー・サポート・センター	9	33.3	11.1	33.3	-	-	11.1	11.1
③トワイライトステイ	-	-	-	-	-	-	-	-
④家事育児代行サービス	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤その他	14	21.4	35.7	7.1	-	14.3	-	21.4

(4) 泊りがけで、家族以外に子どもを預けた経験の有無

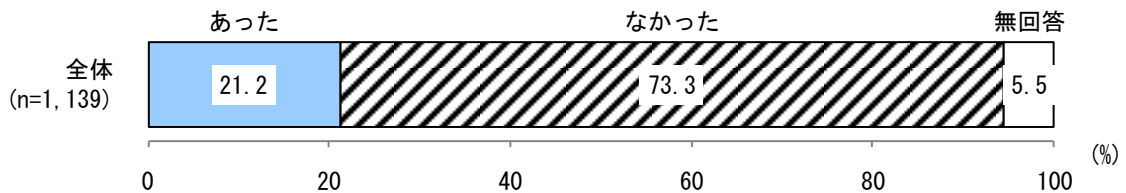
問34(問18) この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、封筒のあて名のお子さんを「泊りがけで」家族以外に預けたこと、または預けたいと思ったことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。) あったか、なかったかについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。あった場合、その対処方法すべてに○をつけ、泊数を記入してください。

(ア) 就学前児童

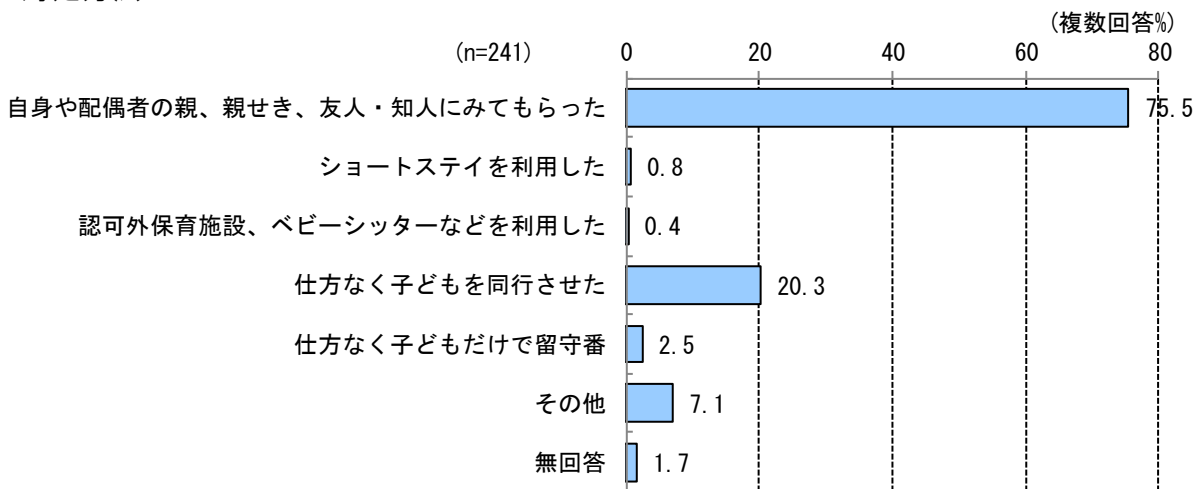
泊りがけで、家族以外に子どもを預けたことが「あった」は21.2%に対し、「なかった」は73.3%となっている。

その対処方法は、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)」が75.5%で最も多く、その年間の泊数は「1泊～2泊」が39.6%で多い。

□子どもを泊りがけで家族以外に預けた経験の有無



□対処方法



□対処方法別年間泊数

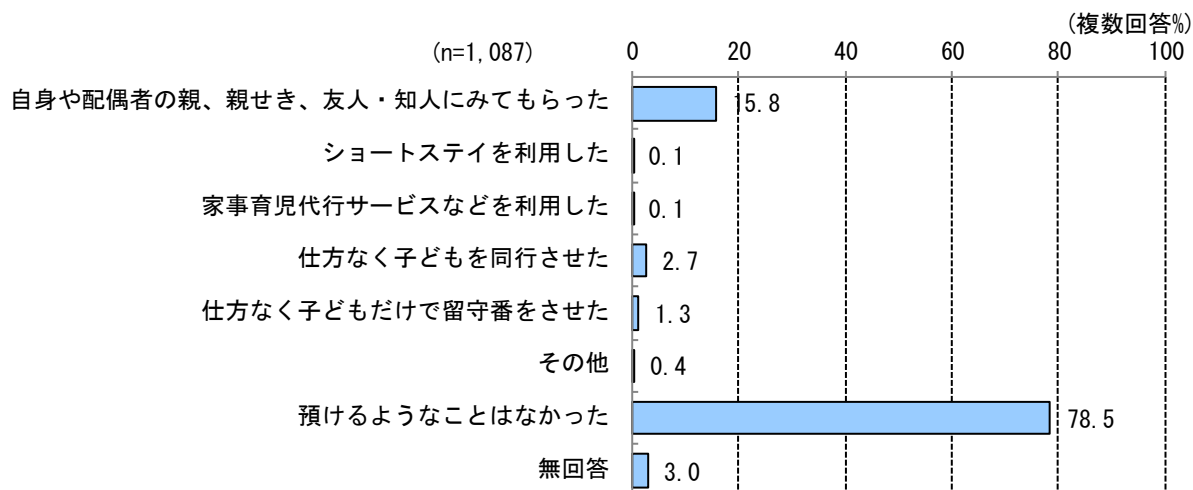
	n	年間泊数 (%)						
		1泊 2泊	3泊 5泊	6泊 10泊	1泊 2泊	2泊 3泊	3泊 以上	無回答
ア. 自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	182	39.6	34.6	12.6	5.5	1.1	1.1	5.5
イ. ショートステイを利用した	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0
ウ. 認可外保育施設、ベビーシッターなどを利用した	1	-	100.0	-	-	-	-	-
エ. 仕方なく子どもを同行させた	49	53.1	24.5	2.0	2.0	-	2.0	16.3
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	6	66.7	-	-	-	-	-	33.3
カ. その他	17	29.4	-	-	-	5.9	-	64.7

(イ) 小学生

泊りがけで、家族以外に子どもを「預けるようなことはなかった」が78.5%を占め、預けた経験のある割合は18.5%となっている。

その対処方法は、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」が15.8%で最も多く、その年間の泊数は「1泊～2泊」が45.3%が多い。

□ 対処方法



□ 対処方法別年間泊数

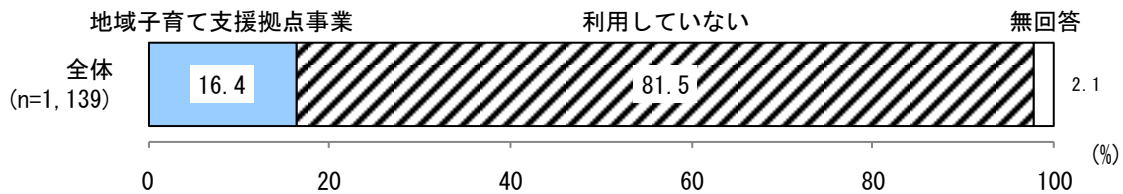
	n	(%)						
		1泊 2泊	3泊 5泊	6泊 10泊	1泊 2泊	2泊 3泊	3泊 以上	無回答
①自身や配偶者の親、親せき、友人・知人	172	45.3	26.7	13.4	5.2	0.6	2.9	5.8
②ショートステイ	1	100.0	-	-	-	-	-	-
③家事育児代行サービスなど	1	-	100.0	-	-	-	-	-
④子どもを同行	29	51.7	17.2	3.4	3.4	3.4	-	20.7
⑤子どもだけで留守番	14	35.7	21.4	7.1	-	-	-	35.7
⑥その他	4	25.0	-	25.0	-	-	-	50.0

10 地域子育て支援サービスの利用について

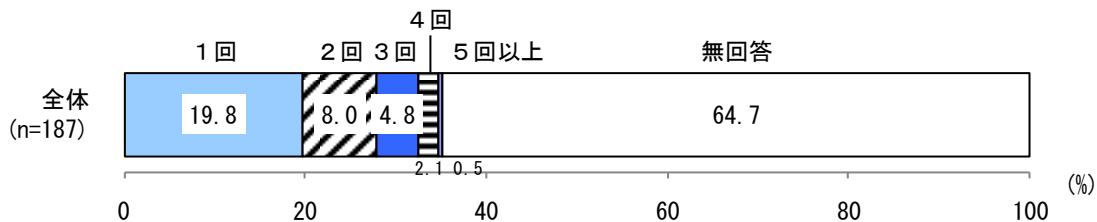
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用の有無 [就学前児童のみ]

問35 地域子育て支援拠点事業（親が集まったり、相談をする場）についておうかがいします。現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、おおよその利用回数について記入してください。

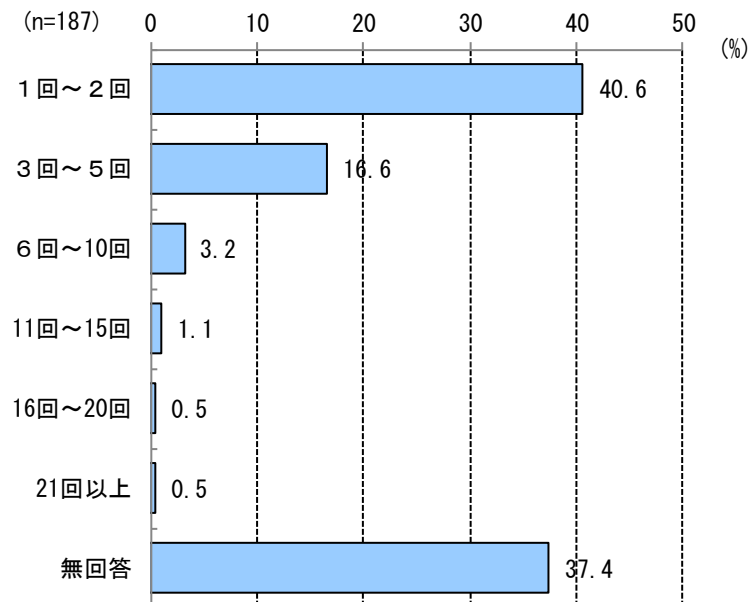
「地域子育て支援拠点事業」を利用する保護者は16.4%に対し、「利用していない」が81.5%となっている。



□ 1週間あたりの利用回数



□ 1ヶ月あたりの利用回数

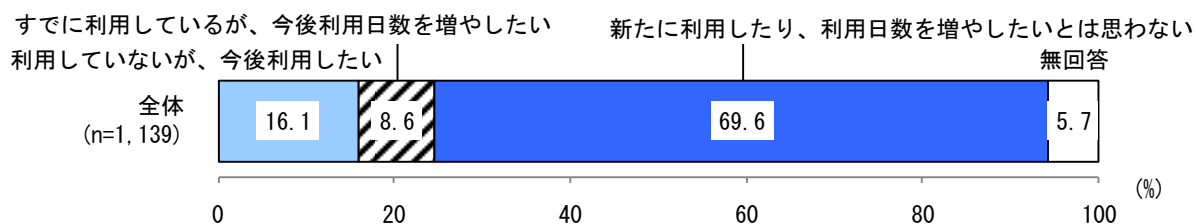


(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向 [就学前児童のみ]

① 利用希望の有無

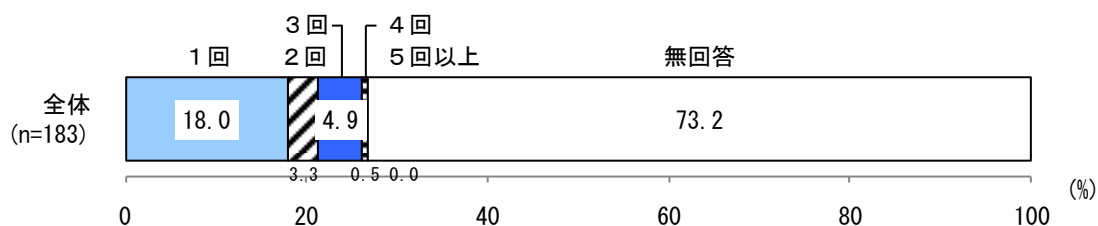
問36 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけ、希望がある方はその回数を記入してください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が必要となる場合があります。

地域子育て支援拠点事業を今後利用したい、または利用日数を増やしたいと希望する保護者は24.7%に対し、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が69.6%となっている。

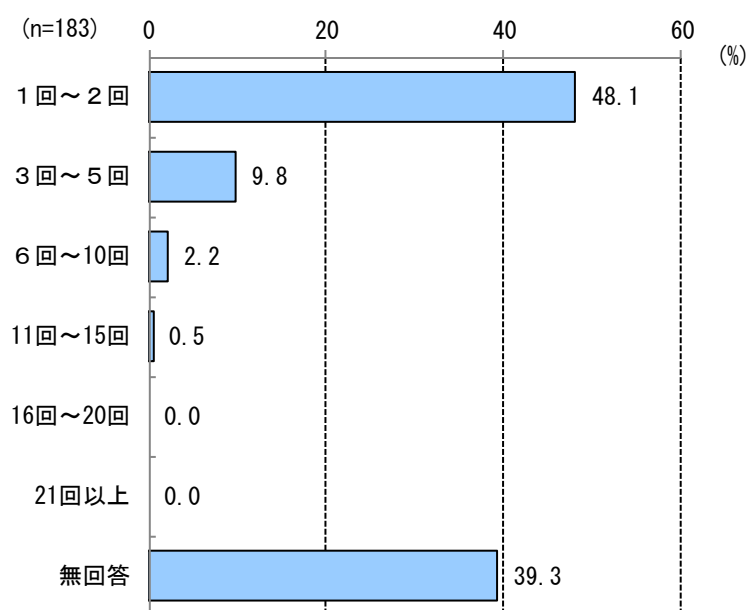


[利用していないが、今後利用したい]

□ 1週間あたりの利用希望回数

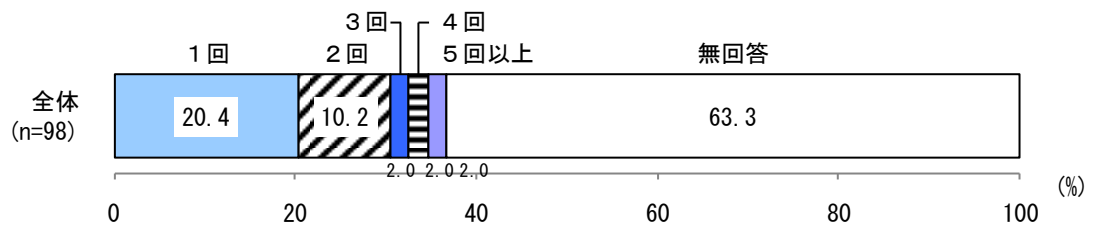


□ 1ヶ月あたりの利用希望回数

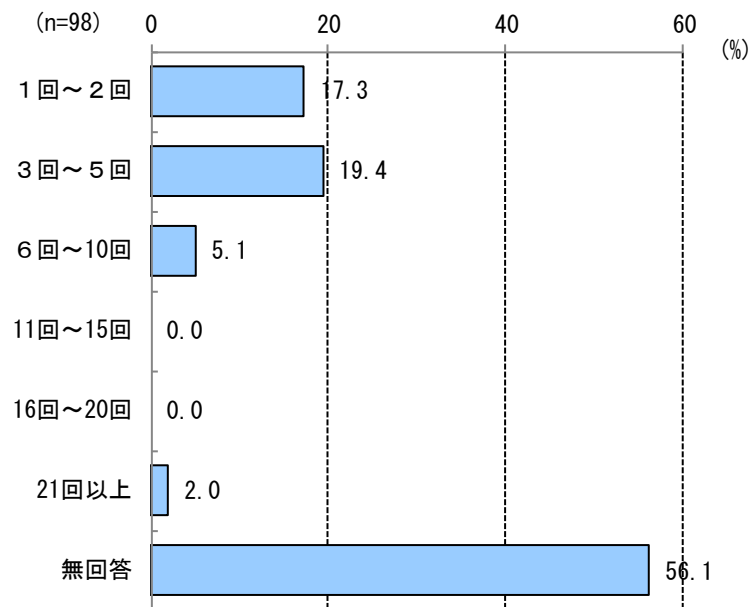


[すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい]

□ 1週間あたりの利用希望回数



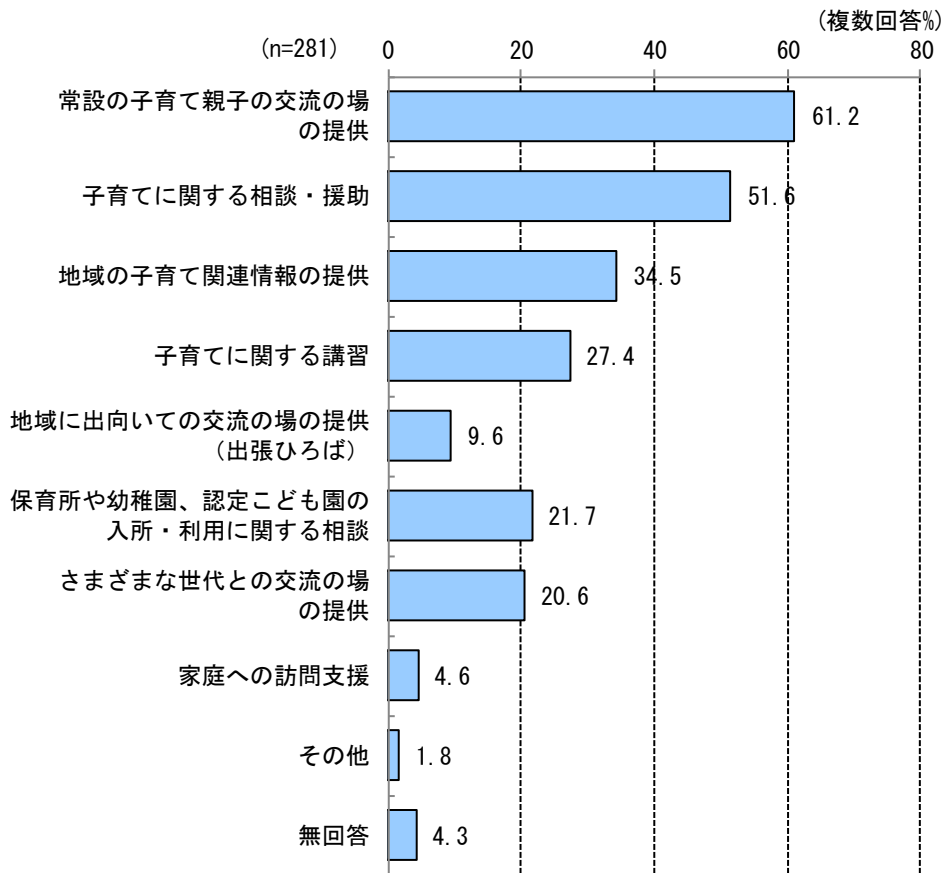
□ 1ヶ月あたりの利用希望回数



②利用したい地域子育て支援拠点事業のサービス

問36-1 問36で「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選ばれた方におうかがいします。
 地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスを3つまで○をつけてください。
 なお、事業の内容によっては、一定の利用料が必要となる場合があります。

地域子育て支援拠点事業を今後利用したい、または利用日数を増やしたいと希望する保護者が利用を望むサービスは、「常設の子育て親子の交流の場の提供」が61.2%で最も多い。これに次いで「子育てに関する相談・援助」(51.6%)であり、以下「地域の子育て関連情報の提供」(34.5%)、「子育てに関する講習」(27.4%)などが続いている。

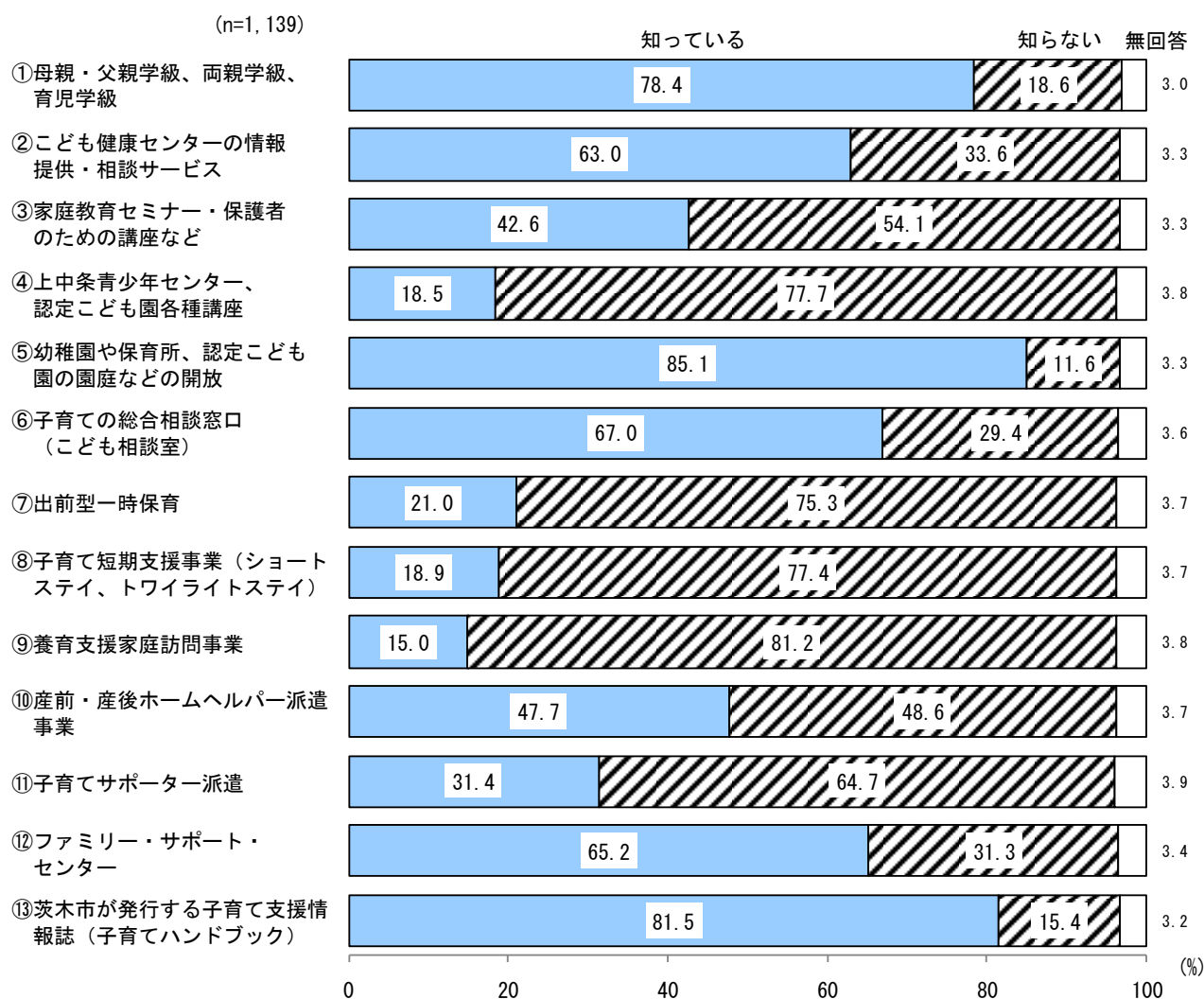


(3) 子育て支援サービスの認知状況・利用意向 [就学前児童のみ]

問37 子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。また、今後、利用したいと思うものはありますか。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が必要となる場合があります。

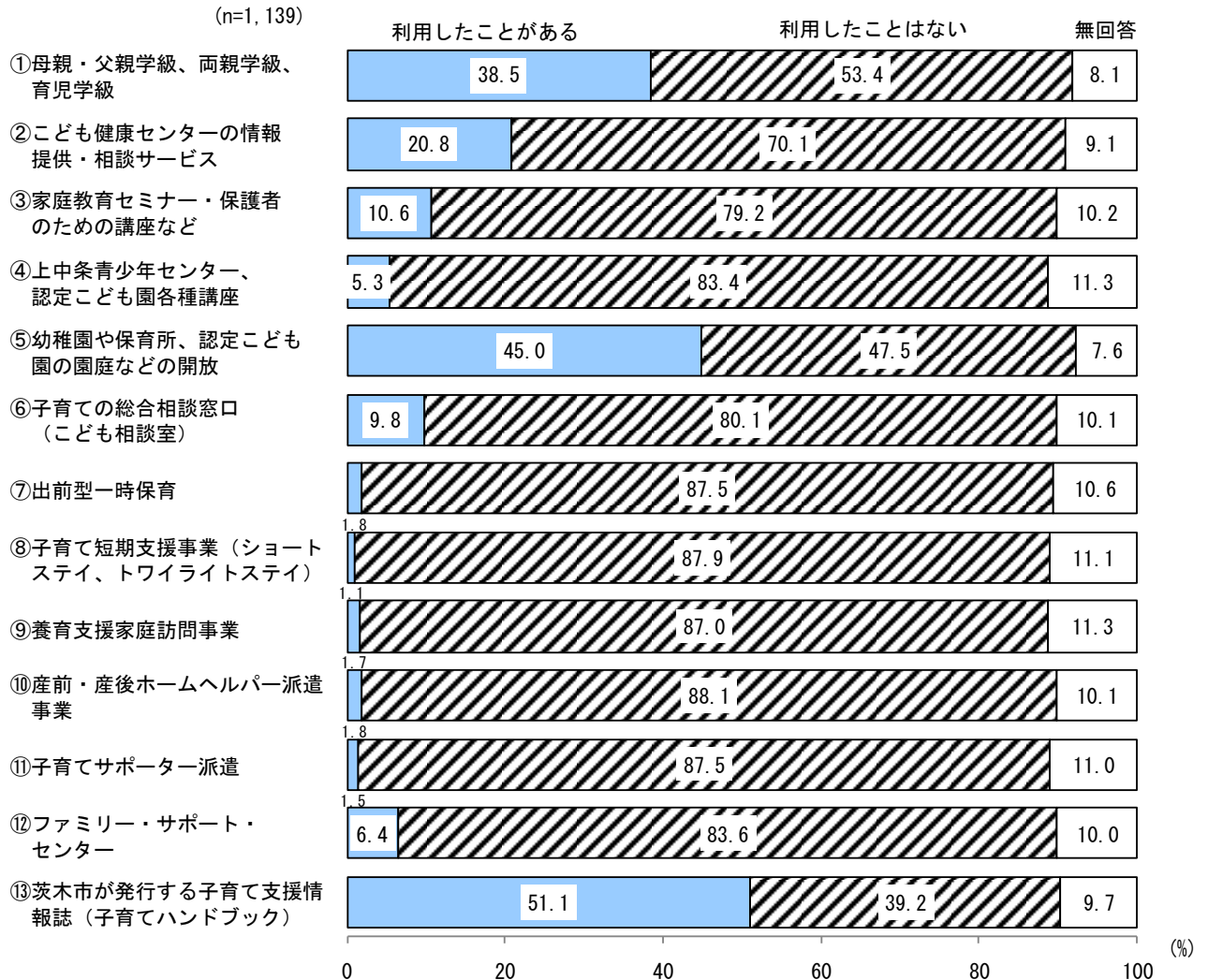
① 認知状況

「知っている」割合が最も高い事業は、「⑤幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放」の85.1%で、次いで「⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）」の81.5%である。以下、割合が高い順に「①母親・父親学級、両親学級、育児学級」（78.4%）、「⑥子育ての総合相談窓口（こども相談室）」（67.0%）、「⑫ファミリー・サポート・センター」（65.2%）、「②こども健康センターの情報提供・相談サービス」（63.0%）、「⑩産前・産後ホームヘルパー派遣事業」（47.7%）、「③家庭教育セミナー・保護者のための講座など」（42.6%）が続く。



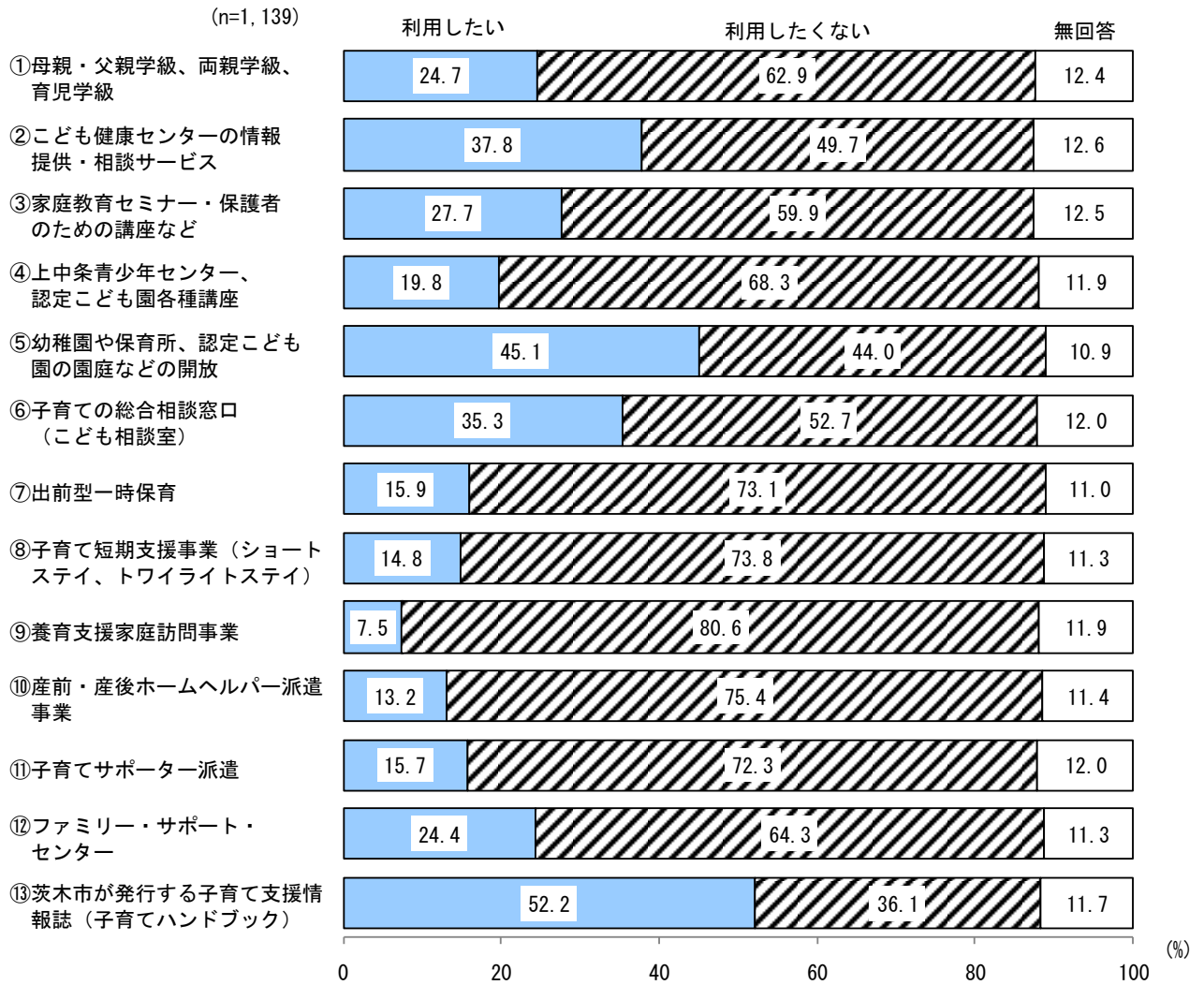
②利用経験

「利用したことがある」割合が最も高い事業は、「⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）」の51.1%である。これに次いで「⑤幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放」の45.0%で、「①母親・父親学級、両親学級、育児学級」の38.5%などが続く。



③今後の利用意向

「利用したい」割合が最も高い事業は、「⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）」の52.2%である。これに次いで「⑤幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放」の45.1%で、以下、「②こども健康センターの情報提供・相談サービス」（37.8%）、「⑥子育ての総合相談窓口（こども相談室）」（35.3%）、「③家庭教育セミナー・保護者のための講座など」（27.7%）などが続く。

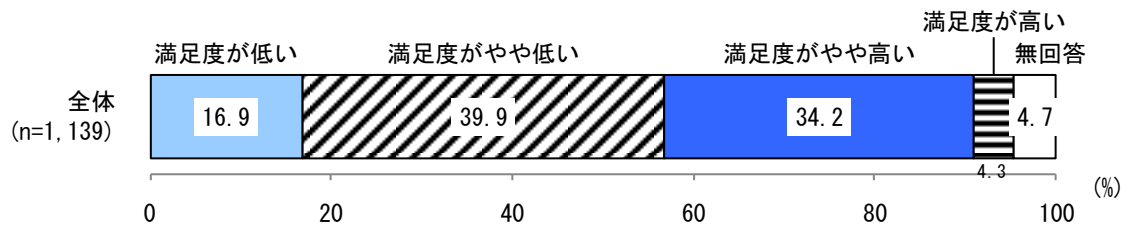


11 市役所などへの要望について

(1) 茨木市における子育てに関する満足度 [就学前児童のみ]

問38 茨木市における子育て環境や子育て支援への満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

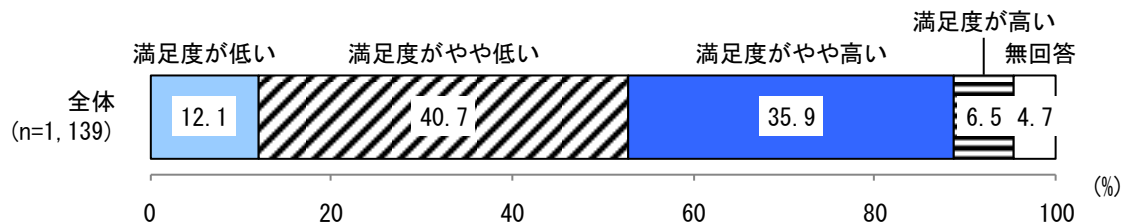
茨木市における子育て環境や子育て支援に対し、「満足度がやや低い」が39.9%で最も多く、「満足度が低い」の16.9%を合わせると56.8%の家庭は満足度が低いと回答している。これに対し、満足度が高い（「満足度が高い」と「満足度がやや高い」の合計）割合は38.5%となっている。



(2) 子育てに関する相談機能や情報提供や、子育てサークルなどへの支援等、地域における子育て支援サービスの充実に対する満足度 [就学前児童のみ]

問38-1 子育てに関する相談機能や情報提供や、子育てサークルなどへの支援等、地域における子育て支援サービスの充実に対する満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

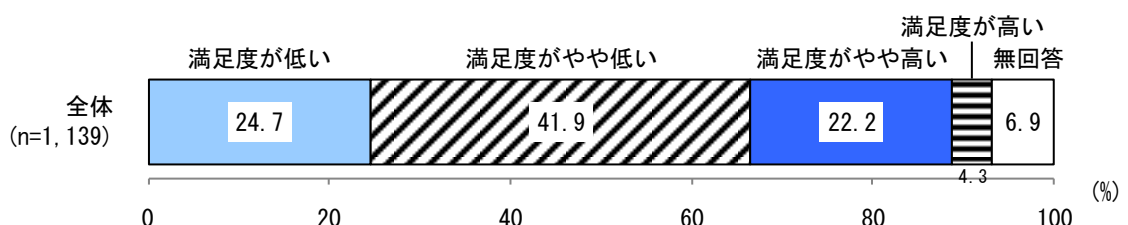
地域における子育て支援サービスに対し、「満足度がやや低い」が40.7%で最も多く、「満足度が低い」の12.1%を合わせると52.8%の家庭は満足度が低いと回答している。これに対し、満足度が高い（「満足度が高い」と「満足度がやや高い」の合計）割合は42.4%となっている。



(3) 仕事と子育ての両立ができる職場環境、延長保育・休日保育や学童保育などの保育サービスへの満足度 [就学前児童のみ]

問38-2 仕事と子育ての両立ができる職場環境、延長保育・休日保育や学童保育などの保育サービスへの満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

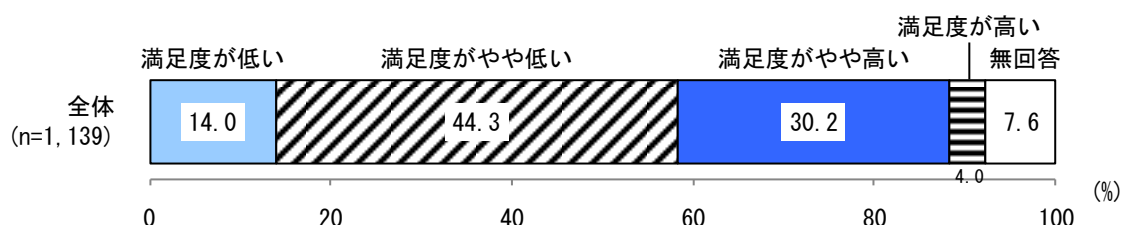
仕事と子育ての両立ができる職場環境や保育サービスに対し、「満足度がやや低い」が41.9%で最も多く、「満足度が低い」の24.7%を合わせると66.6%の家庭は満足度が低いと回答している。これに対し、満足度が高い（「満足度が高い」と「満足度がやや高い」の合計）割合は26.5%となっている。



(4) 就学前教育・保育・学校教育の充実、子どもの視点を取り入れた社会づくりへの満足度 [就学前児童のみ]

問38-3 就学前教育・保育・学校教育の充実、子どもの視点を取り入れた社会づくりへの満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

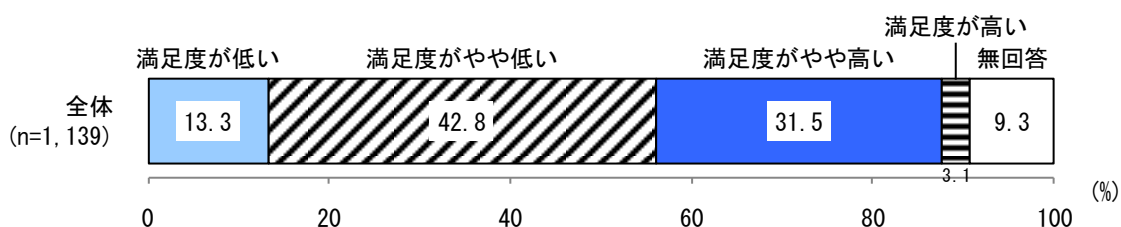
就学前教育・保育・学校教育の充実、子どもの視点を取り入れた社会づくりに対し、「満足度がやや低い」が44.3%で最も多く、「満足度が低い」の14.0%を合わせると58.3%の家庭は満足度が低いと回答している。これに対し、満足度が高い（「満足度が高い」と「満足度がやや高い」の合計）割合は34.2%となっている。



(5) 保健・医療体制の充実や障害・虐待など、さまざまな課題を抱える子ども・家庭への支援に対する満足度 [就学前児童のみ]

問38-4 保健・医療体制の充実や障害・虐待など、さまざまな課題を抱える子ども・家庭への支援に対する満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

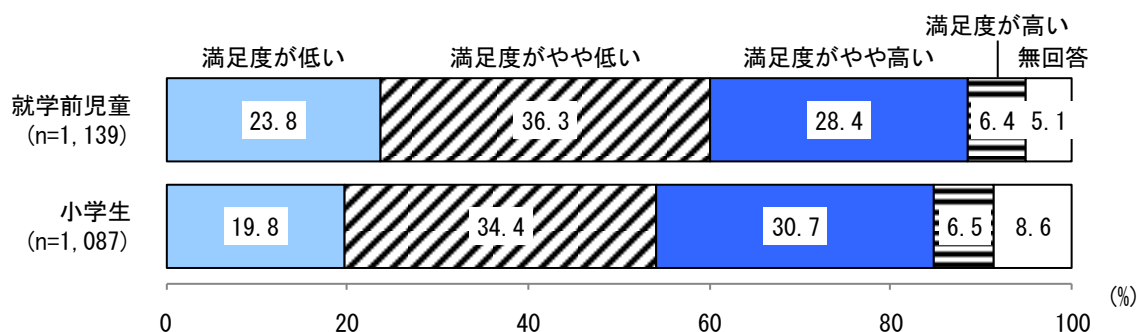
保健・医療体制の充実や障害・虐待など、さまざまな課題を抱える子ども・家庭への支援に対し、「満足度がやや低い」が42.8%で最も多く、「満足度が低い」の13.3%を合わせると56.1%の家庭は満足度が低いと回答している。これに対し、満足度が高い（「満足度が高い」と「満足度がやや高い」の合計）割合は34.6%となっている。



(6) 教育・保育や医療への経済的な助成に対する満足度 [就学前児童のみ]

問38-5(問22-5) 教育・保育や医療への経済的な助成に対する満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

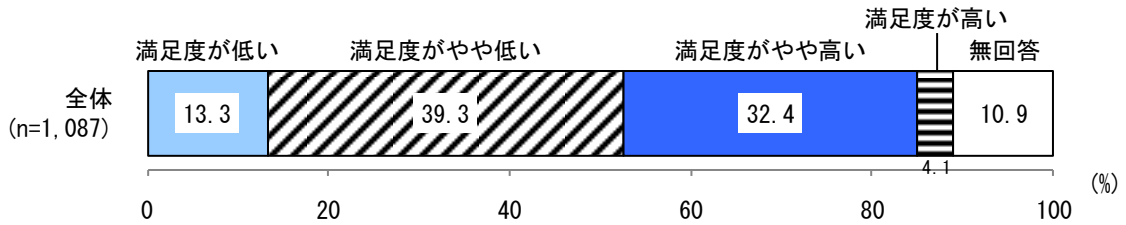
教育・保育や医療への経済的な助成に対し、就学前児童では「満足度がやや低い」が36.3%で最も多く、「満足度が低い」の23.8%を合わせると60.1%の家庭は満足度が低いと回答している。また、小学生では、54.2%の家庭は満足度が低いと回答している。



(7) 教育相談や家庭教育支援の充実に対する満足度 [小学生のみ]

問22-1 教育相談や家庭教育支援の充実に対する満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

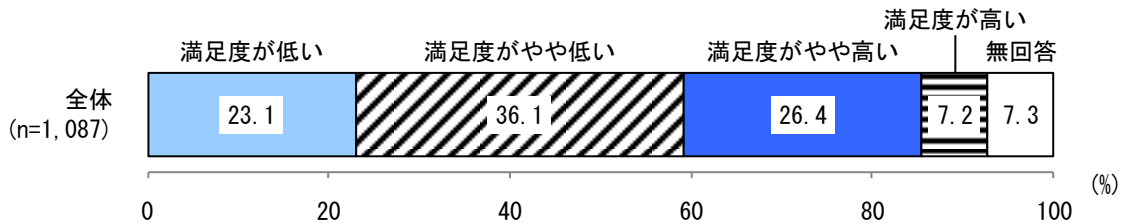
教育相談や家庭教育支援の充実に対し、「満足度がやや低い」が39.3%で最も多く、「満足度が低い」の13.3%を合わせると52.6%の家庭は満足度が低いと回答している。これに対し、満足度が高い（「満足度が高い」と「満足度がやや高い」の合計）割合は36.5%となっている。



(8) 放課後における子どもの居場所の確保・充実への満足度 [小学生のみ]

問22-2 放課後における子どもの居場所の確保・充実への満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

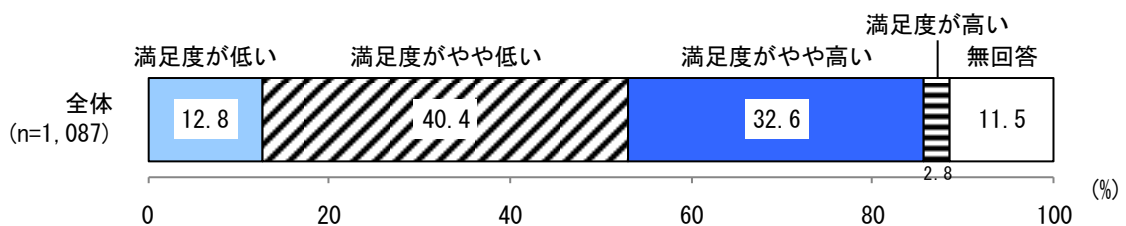
放課後における子どもの居場所の確保・充実に対し、「満足度がやや低い」が36.1%で最も多く、「満足度が低い」の23.1%を合わせると59.2%の家庭は満足度が低いと回答している。これに対し、満足度が高い（「満足度が高い」と「満足度がやや高い」の合計）割合は33.6%となっている。



(9) 「生きる力」を育む教育の推進、子どもの健全育成への満足度 [小学生のみ]

問22-3 「生きる力」を育む教育の推進、子どもの健全育成への満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

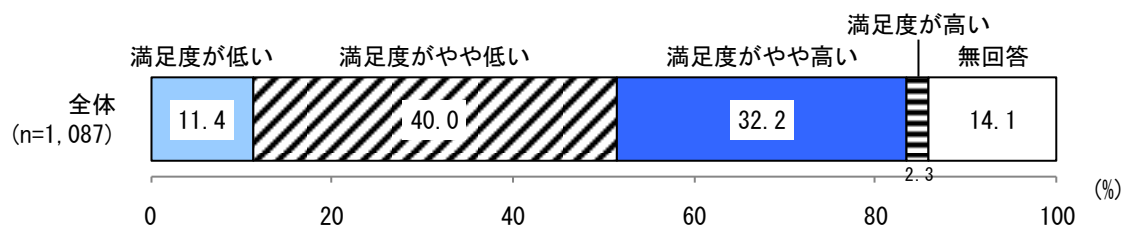
「生きる力」を育む教育の推進、子どもの健全育成に対し、「満足度がやや低い」が40.4%で最も多く、「満足度が低い」の12.8%を合わせると53.2%の家庭は満足度が低いと回答している。これに対し、満足度が高い（「満足度が高い」と「満足度がやや高い」の合計）割合は35.4%となっている。



(10) 障害・虐待など、さまざまな課題を抱える子ども・家庭への支援に対する満足度 [小学生のみ]

問22-4 障害・虐待など、さまざまな課題を抱える子ども・家庭への支援に対する満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

障害・虐待など、さまざまな課題を抱える子ども・家庭への支援に対し、「満足度がやや低い」が40.0%で最も多く、「満足度が低い」の11.4%を合わせると51.4%の家庭は満足度が低いと回答している。これに対し、満足度が高い（「満足度が高い」と「満足度がやや高い」の合計）割合は34.5%となっている。



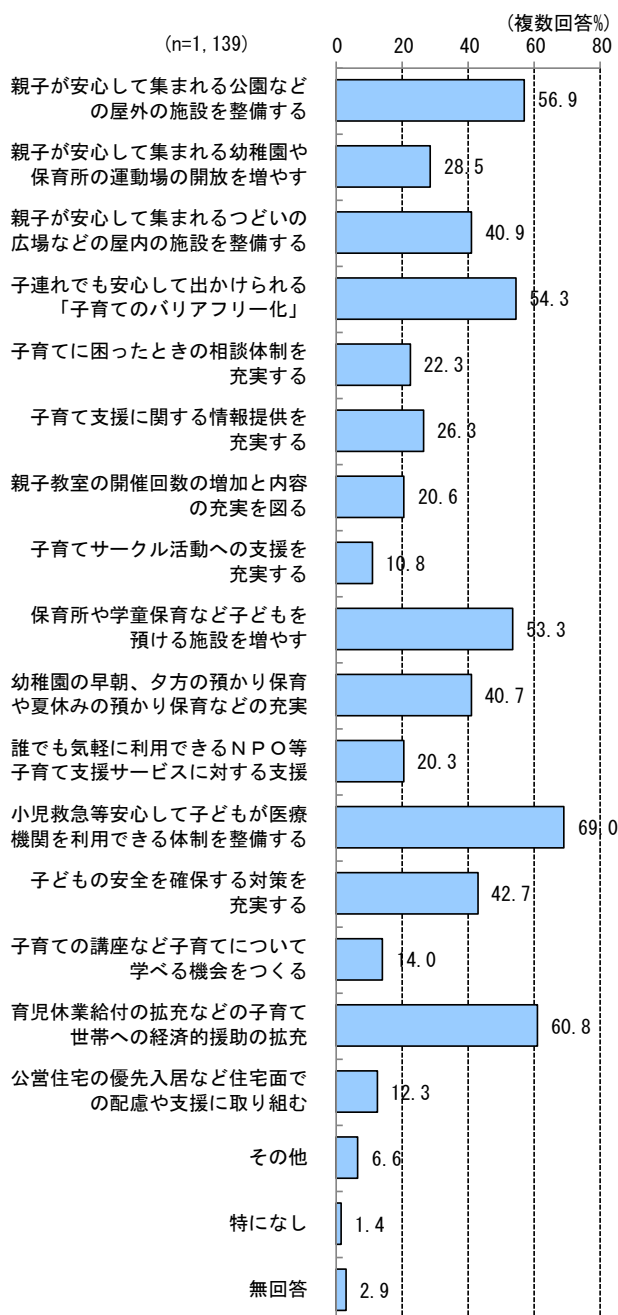
(11) 市役所などに対して充実してほしいサービス

問39(問22) 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

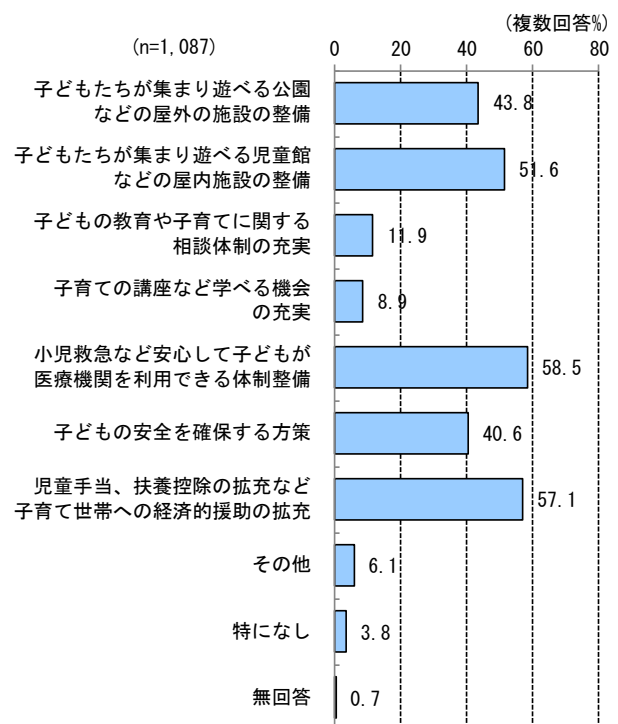
就学前児童の保護者では、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が69.0%で最も多く、次いで「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」の60.8%となっている。

小学生の保護者も「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が58.5%で最も多く、次いで「児童手当、扶養控除の拡充など子育て世帯への経済的援助の拡充」(57.1%)、「子どもたちが集まり遊べる児童館などの屋内施設の整備」(51.6%)などとなっている。

【就学前児童】



【小学生】

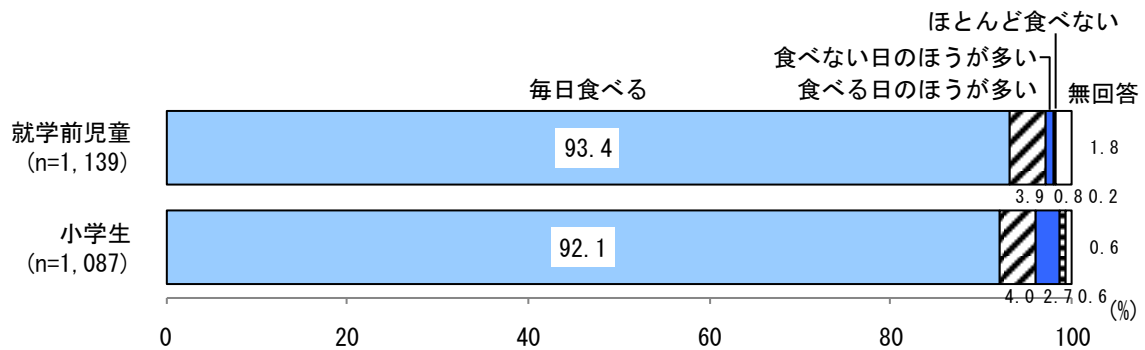


12 子どもの生活習慣について

問40(問23) お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

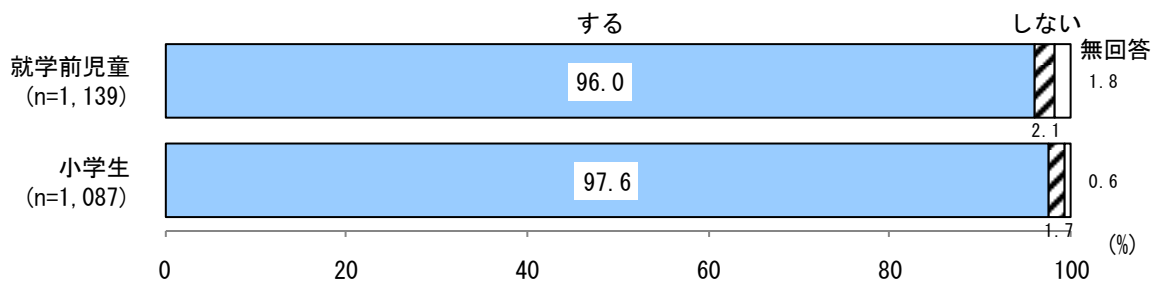
① 朝ごはんを食べますか。[就学前児童…問40(1)、小学生…問23(1)]

就学前児童、小学生とも「毎日食べる」が9割を占める。



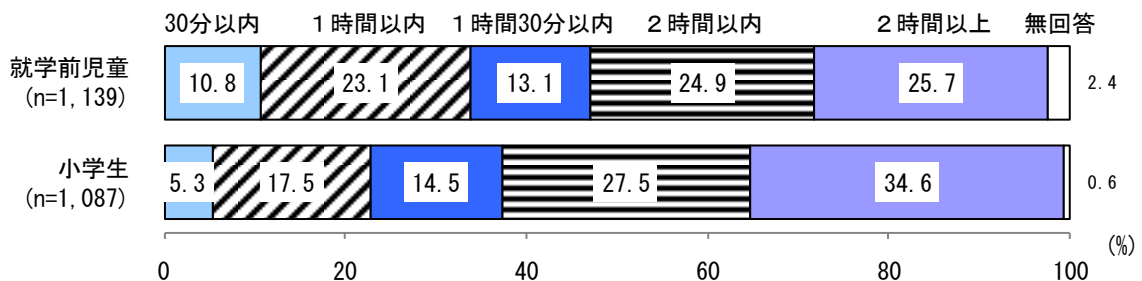
② 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。[就学前児童…問40(2)、小学生…問23(2)]

就学前児童、小学生とも「する」が9割を占める。



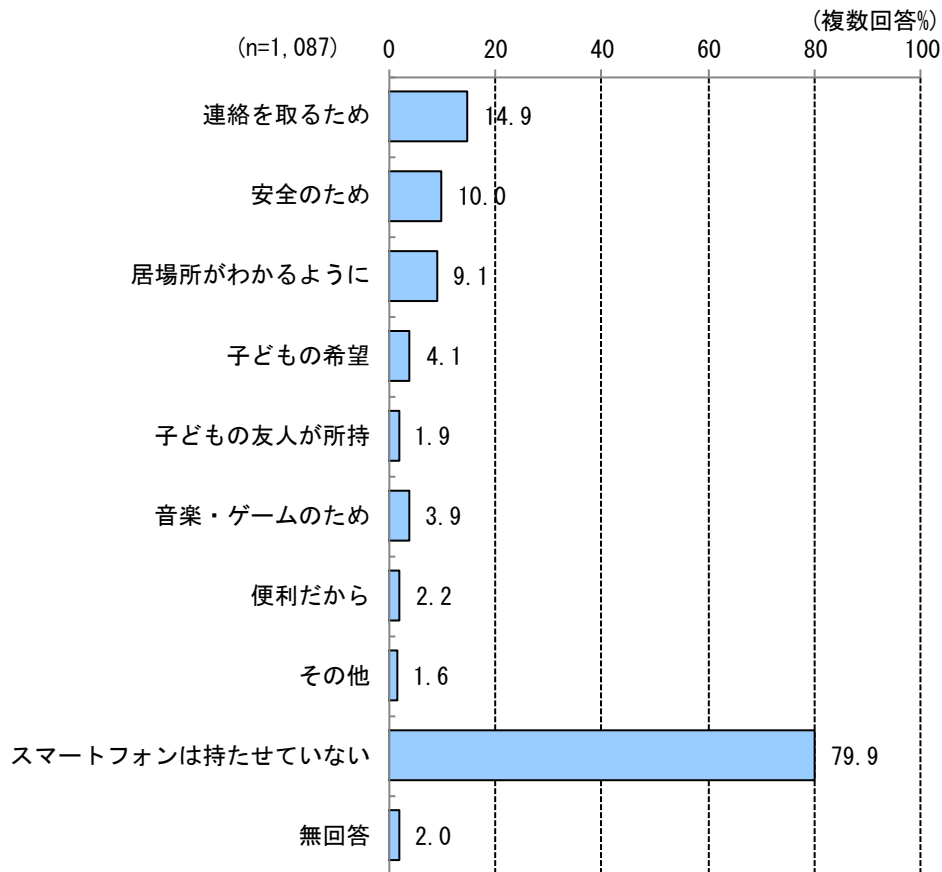
③ 平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の1日あたり平均視聴時間は何時間ですか。[就学前児童…問40(3)、小学生…問23(3)]

就学前児童、小学生とも「2時間以上」が最も多く、2時間またはそれ以上の時間視聴する子どもが5割を超える。



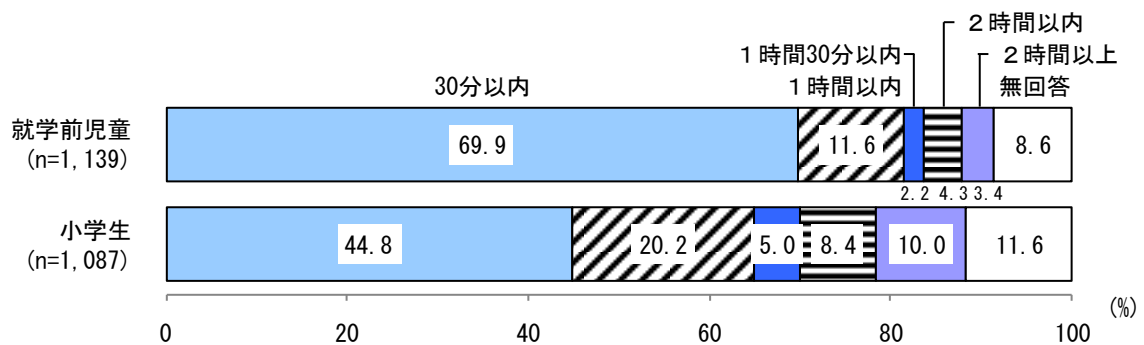
④お子さんに自分専用のスマートフォンを持たせていますか。持たせている場合はその理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。[小学生…問23(4)]

小学生の子どもに自分専用のスマートフォンを持たせている家庭は18.1%で、その理由は「連絡を取るため」が14.9%で最も多い。



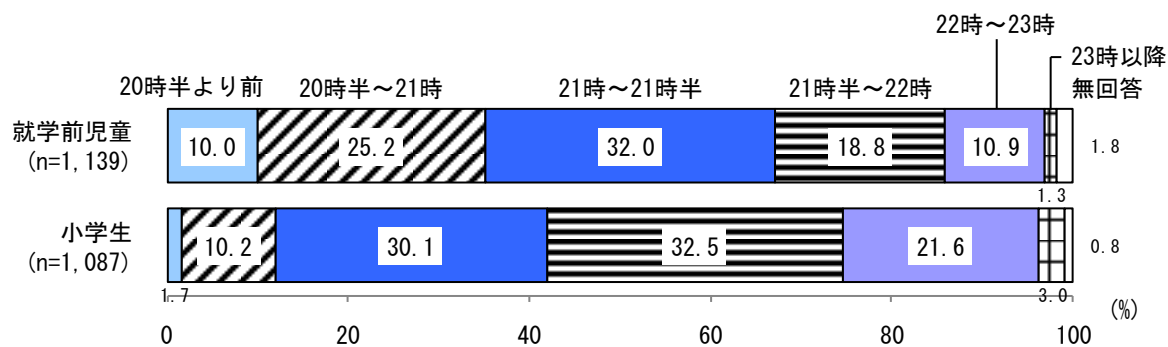
⑤平日のインターネット・スマートフォンの1日あたりの平均利用時間は何時間ですか。[就学前児童…問40(4)、小学生…問23(5)]

就学前児童、小学生とも「30分以内」が最も多く、30分を超えて利用している子どもの割合は小学生に多い。



⑥就寝時刻は何時ですか。[就学前児童…問40(5)、小学生…問23(6)]

就学前児童は「21時～21時半」(32.0%)、小学生は「21時半～22時」(32.5%)がそれぞれ最も多い。小学生では「22時～23時」が21.6%と就学前児童の割合に比べ高くなっている。



13 子どものふだんの過ごし方

[小学生のみ]

問24 平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で1番多いものについて、時間帯ごとに、枠内の選択肢の中からあてはまる記号を1つだけ選んで記入してください。

平日14～16時は「授業などで学校にいる」(74.4%)が、平日16～18時は「家や公園などで友達と過ごす」(37.4%)が、平日18時以降は「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」がそれぞれ多くなっている。

(n=1,087)

(%)

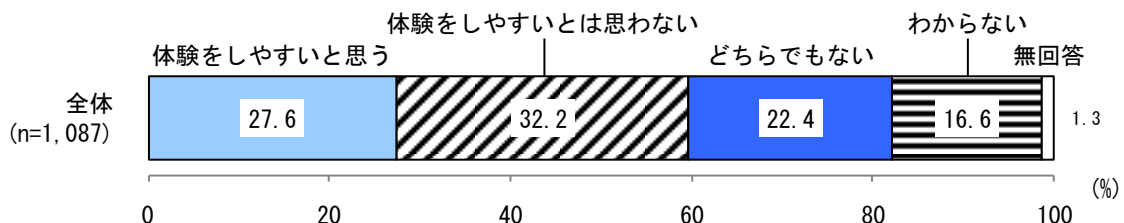
	授業などで学校にいる	学童保育室で過ごす	放課後子ども教室に参加する	放課後等児童デイサービスを利用する	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	家事代行サービスなどを利用する	家や公園などで友達と過ごす	図書館など公共の施設にいる	地域活動に参加する(子ども会活動、スポーツ活動)	学習塾や習い事へ行く	家で、ひとりで過ごす	その他	無回答
平日14～16時	74.4	6.4	0.8	0.4	3.5	-	5	-	-	1.2	0.7	0.2	7.4
平日16～18時	0.3	9.1	0.6	1	15.5	-	37.4	0.1	1	23.1	6.1	0.9	5
平日18～20時	-	0.7	-	-	71.8	0.3	1.8	0.3	1	13.7	2.2	1.4	6.8
平日20時以降	0.1	-	-	-	85.6	0.2	1.4	0.4	-	1.7	1.8	1.7	7.1
休日	0.1	-	-	-	67.3	-	8.2	0.7	7.2	7.3	0.7	0.6	7.8

14 子どもの地域での自然体験などへの参加などについて

(1) 居住地が子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると思うか [小学生のみ]

問25 お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

「体験をしやすいと思わない」が32.2%に対し、「体験をしやすいと思う」が27.6%となっている。

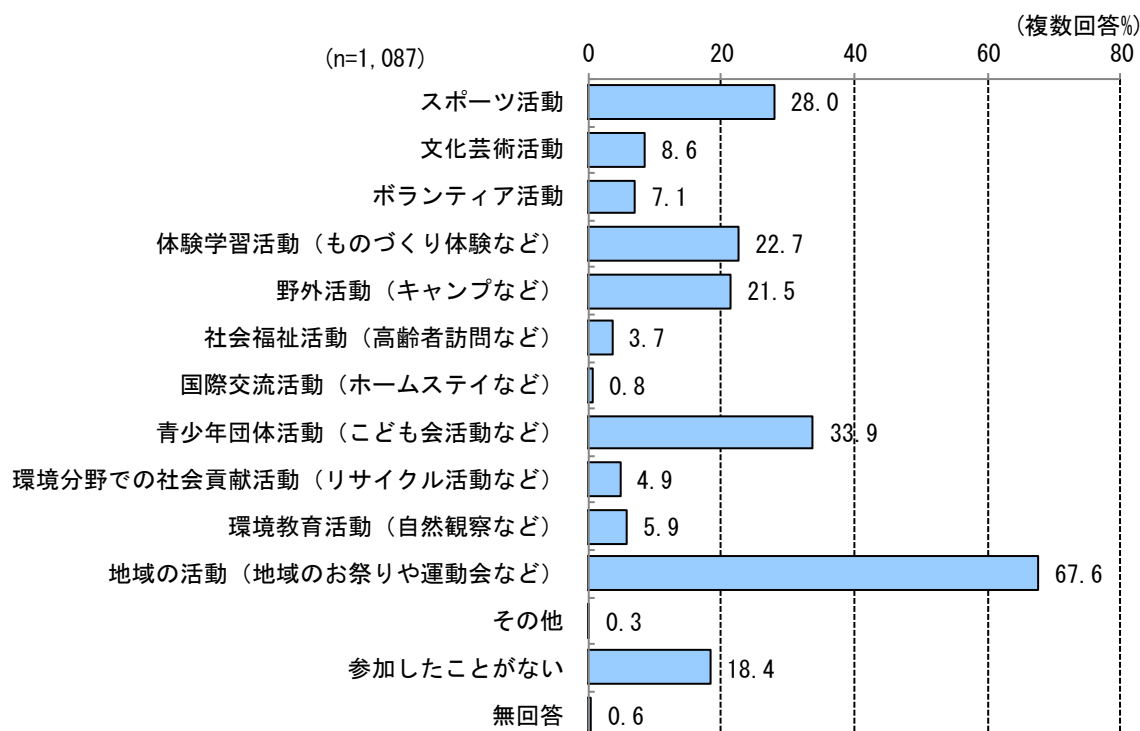


(2) 地域での自然体験、社会参加、文化活動への参加状況 [小学生のみ]

① 参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動

問26 参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

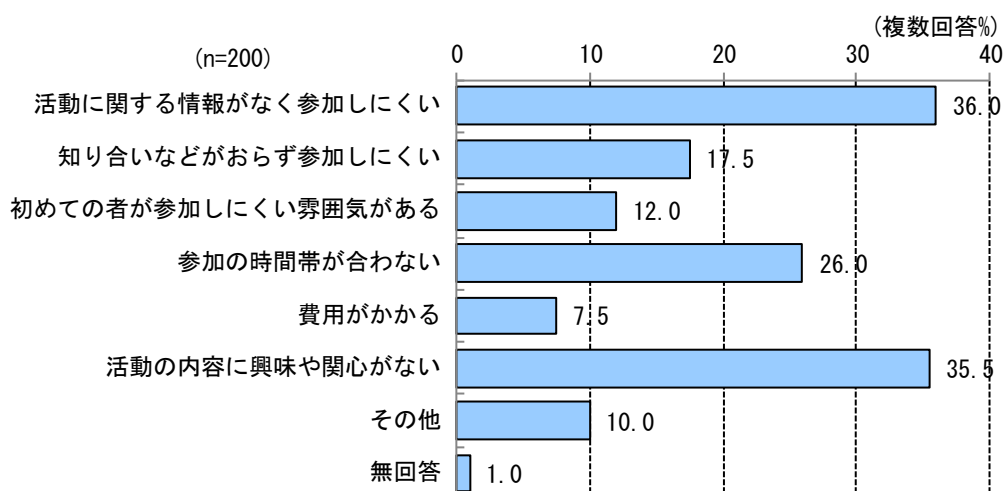
参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動は「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」が67.6%で最も多く、次いで「青少年団体活動（こども会活動など）」が33.9%、「スポーツ活動」が28.0%となっている。



② 地域での自然体験、社会参加、文化活動に参加していない理由

問26-1 問26で「参加したことがない」を選ばれた方におうかがいします。お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「活動に関する情報がなく参加しにくい」(36.0%)や「活動の内容に興味や関心がない」(35.5%)が多くなっている。

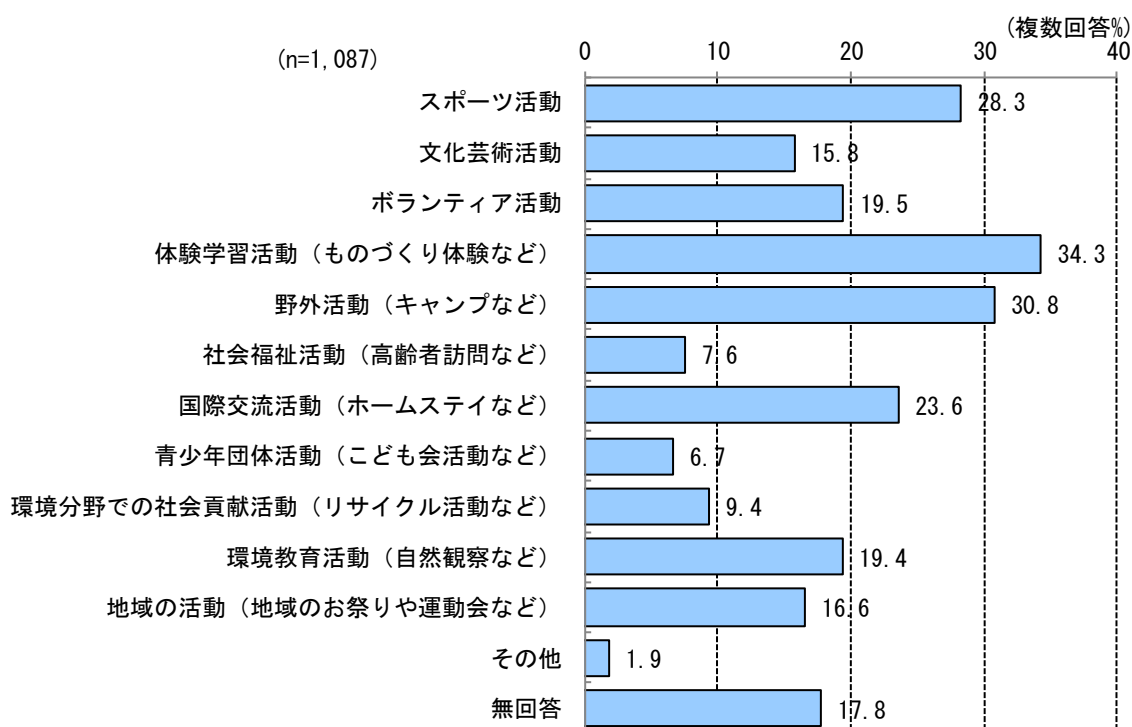


(3) 今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動

[小学生のみ]

問27 お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

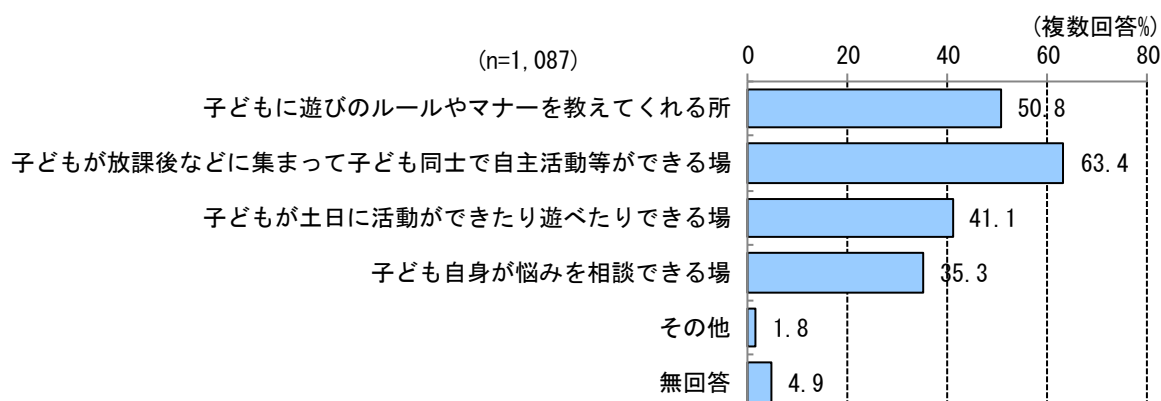
今後参加させたいと思っている地域での自然体験、社会参加、文化活動は「体験学習活動(ものづくり体験など)」が34.3%で最も多く、次いで「野外活動(キャンプなど)」(30.8%)、「スポーツ活動」(28.3%)となっている。



(4) 身近な地域で子ども同士が交流等を行うことのできる場への希望 [小学生のみ]

問28 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合、どのようなものが望ましいですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

「子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主活動などができる場」が63.4%で最も多く、次いで「子どもに遊びのルールやマナーを教えてくれる所」が50.8%となっている。

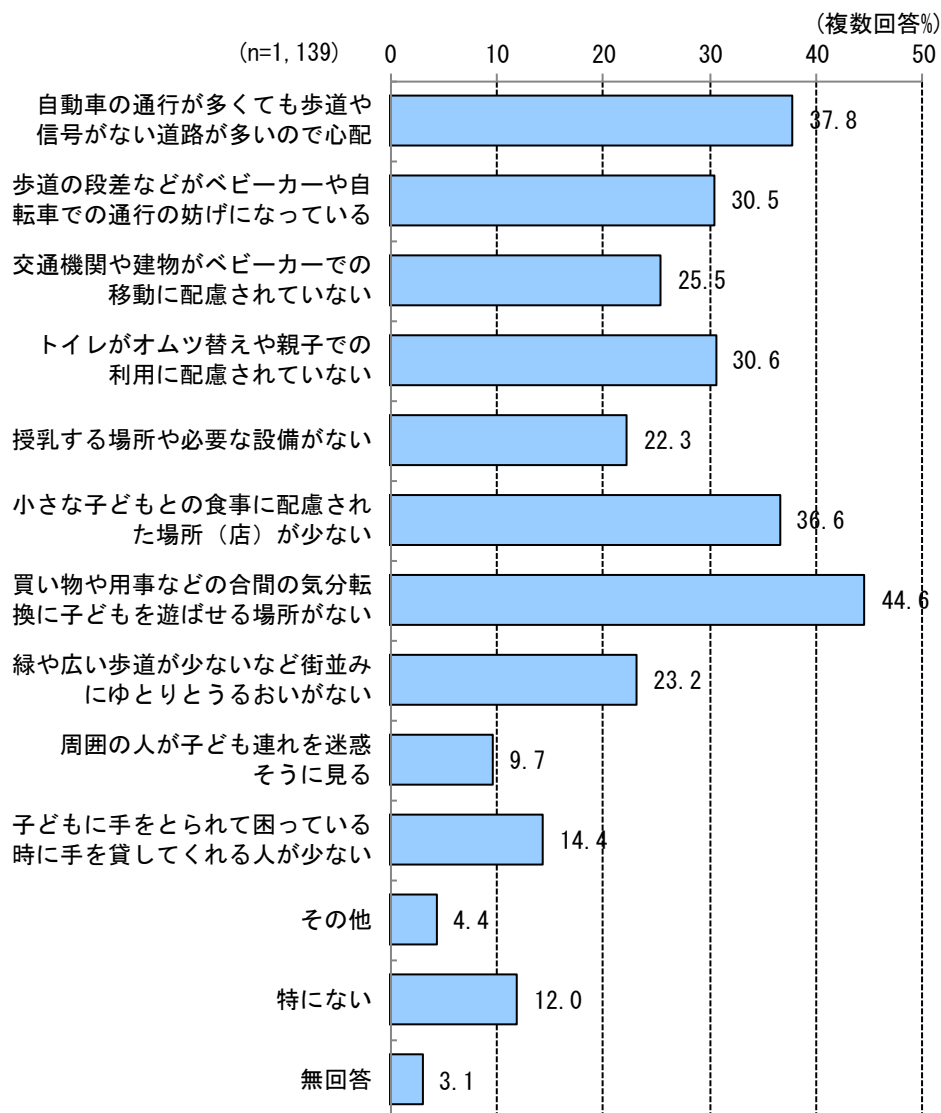


15 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について

(1) 子どもと外出されるときに、困ること、困ったこと [就学前児童のみ]

問41 封筒のあて名のお子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

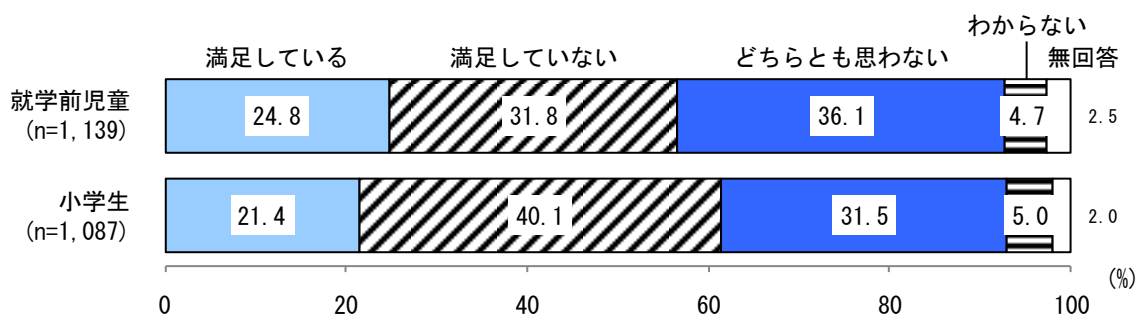
「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」が44.6%で最も多く、次いで「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」が37.8%、「小さな子どもとの食事に配慮された場所(店)が少ない」が36.6%となっている。



(2) 地域における子どもの遊び場に関する満足度

問42(問29) お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

就学前児童の保護者で、地域の子どもの遊び場に対し、「満足している」は24.8%に対し、「満足していない」は31.8%で不満の割合が高い。小学生の保護者では、「満足している」は21.4%に対し、「満足していない」は40.1%で不満の割合が高い。

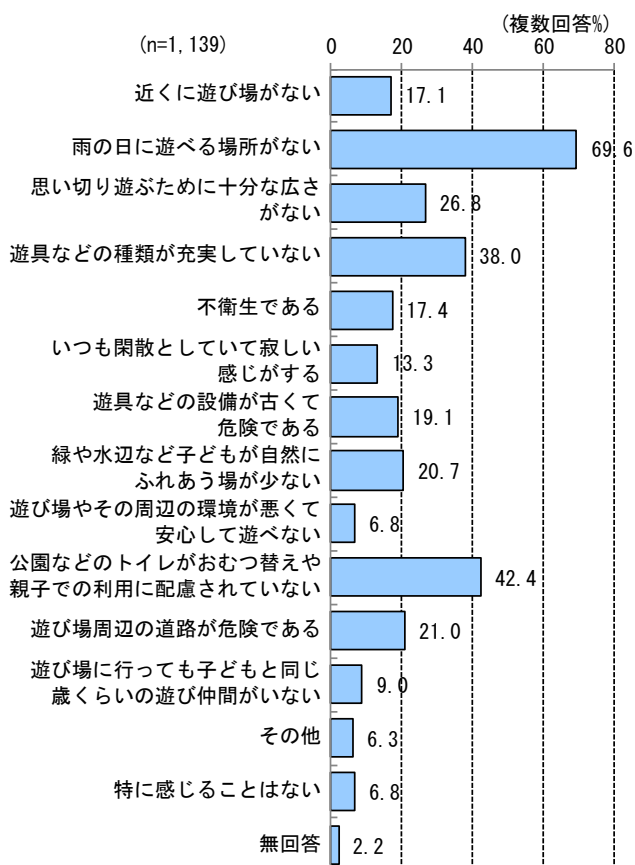


(3) 地域の子どもの遊び場について日ごろ感じること

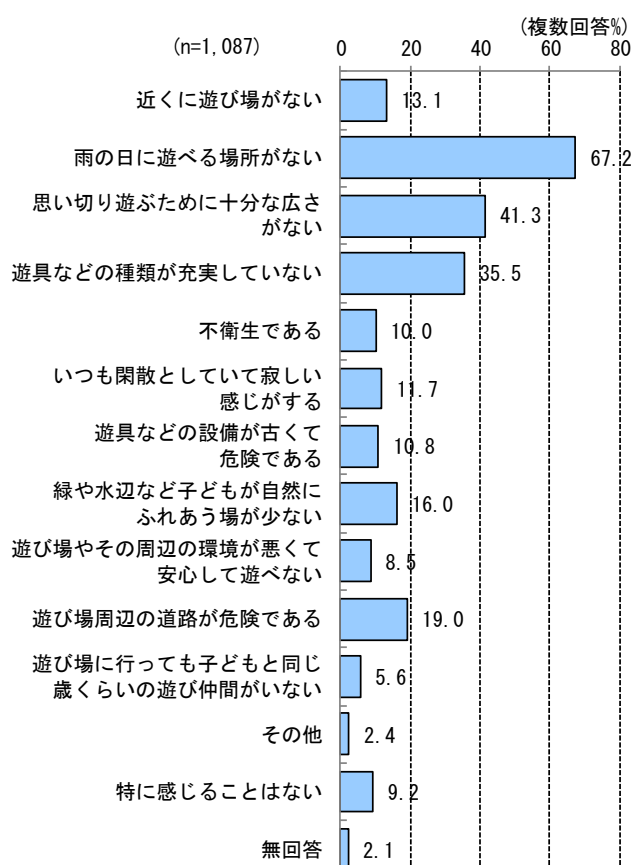
問43(問30) お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童では、「雨の日に遊べる場所がない」が69.6%で最も多く、次いで「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」の42.4%となっている。小学生も「雨の日に遊べる場所がない」が67.2%で最も多く、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」(41.3%)、「遊具などの種類が充実していない」(35.5%)などが続く。

【就学前児童】



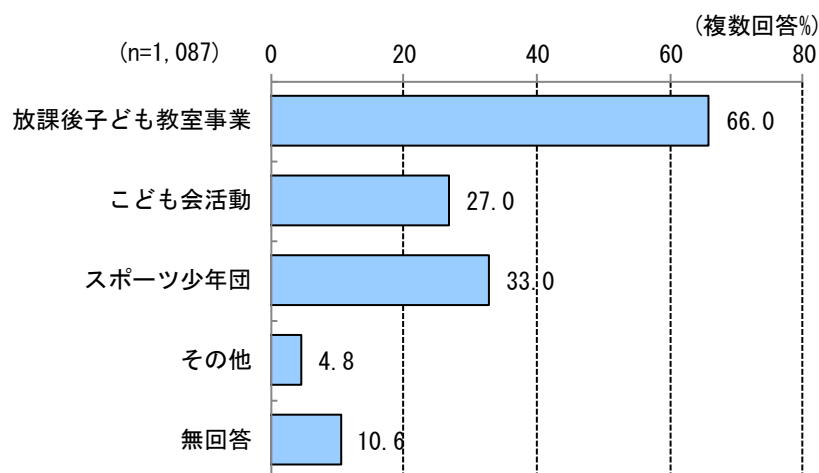
【小学生】



(4) 地域において子育てを支援する生活環境のために必要、あるいは効果があると思われる事業や取組 [小学生のみ]

問31 下記の事業や取組のうち、地域において子育てを支援する生活環境のために必要、あるいは効果があると思われるものはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てを支援する生活環境のために必要、あるいは効果があると考えられているものは、「放課後子ども教室事業」が66.0%で最も多く、次いで「スポーツ少年団」の33.0%、「こども会活動」(27.0%) となっている。

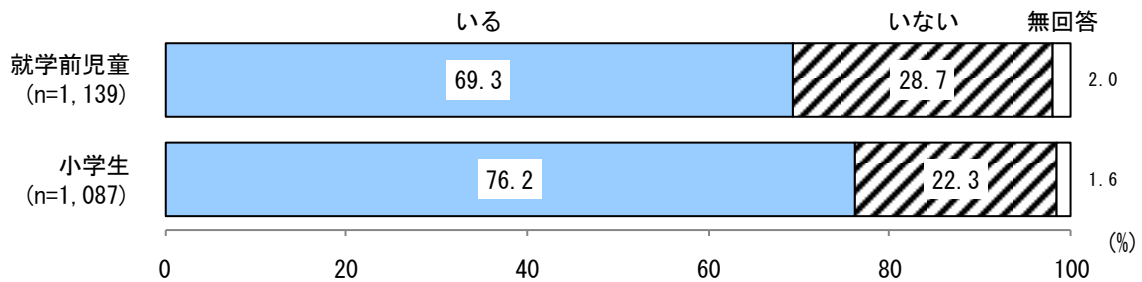


16 子育てに対する意識について

(1) 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人の有無

問44(問32) 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人がいるの割合は、就学前児童で69.3%、小学生で76.2%となっている。

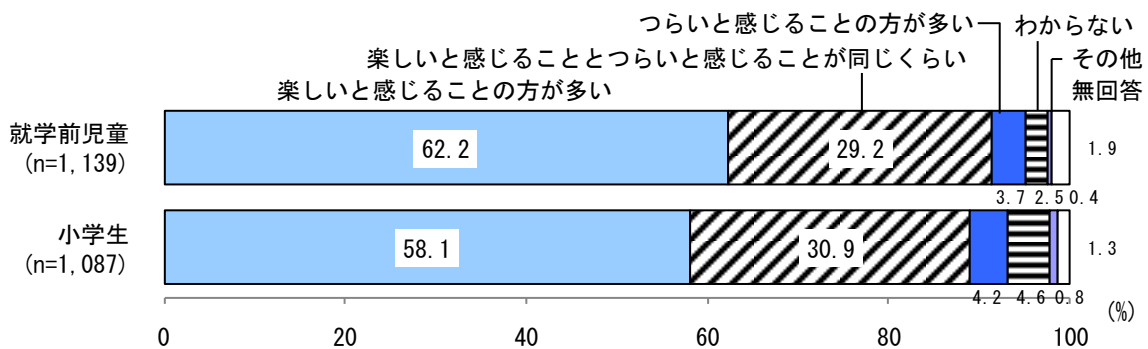


(2) 子育てに対する負担感の状況

① 子育てに対する負担感

問45(問33) ご自身にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子育てを「楽しいと感じることの方が多い」が就学前児童、小学生とも6割前後で、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が3割前後となっている。

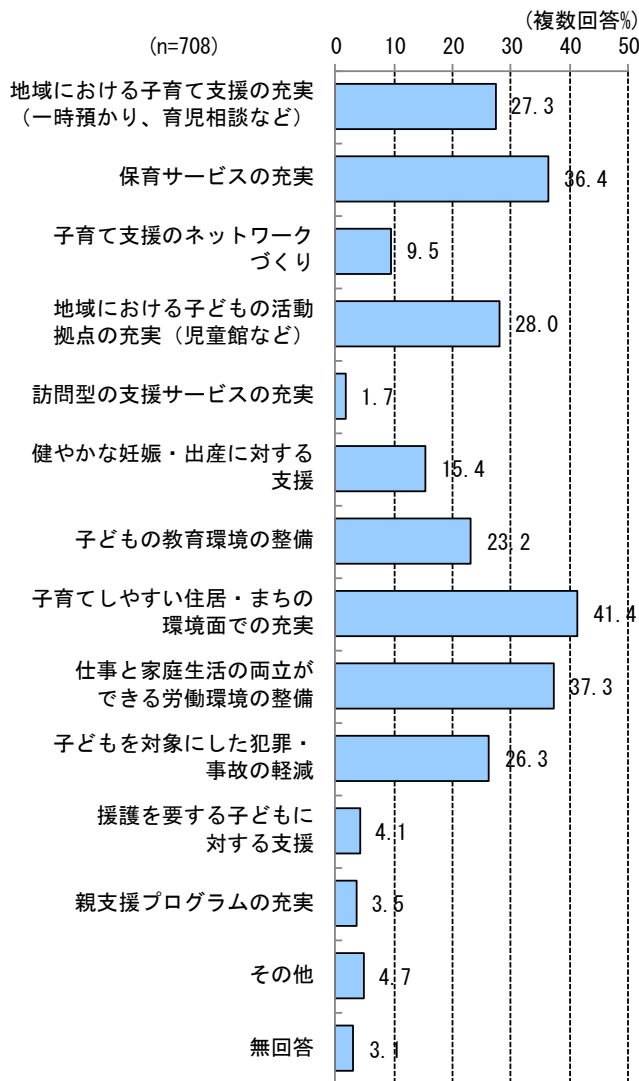


②子育てにとって有効な支援・対策

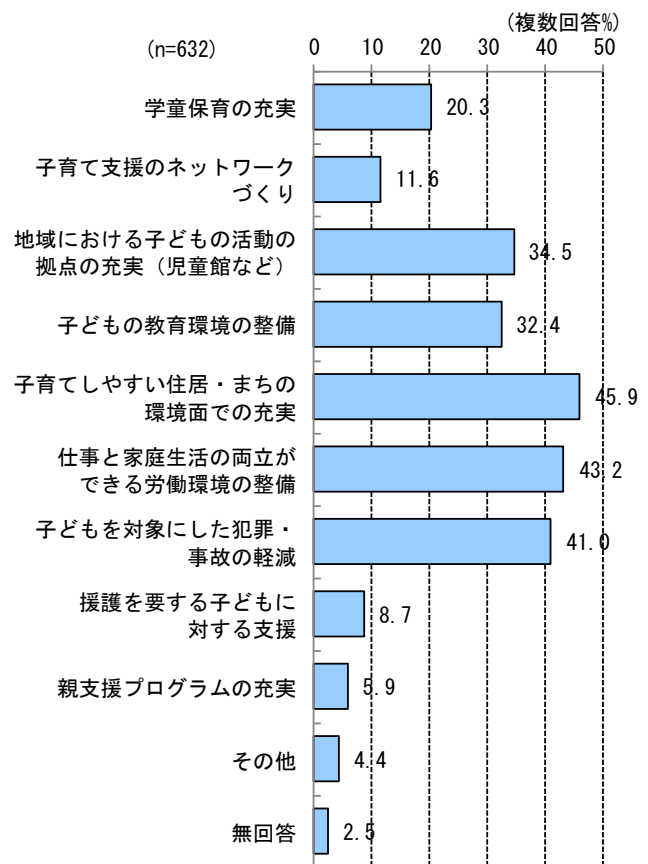
問45-1(問33-1) 問45(問33)で「楽しいと感じることの方が多い」を選ばれた方におうかがいします。子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

子育てを「楽しいと感じることの方が多い」と回答した保護者を対象に、子育てにとって有効な支援・対策をたずねた。就学前児童は「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が41.4%で最も多く、次いで「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」(37.3%)や「保育サービスの充実」(36.4%)が多い。一方、小学生は「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」(45.9%)、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」(43.2%)に加えて、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」(41.0%)となっている。

【就学前児童】



【小学生】

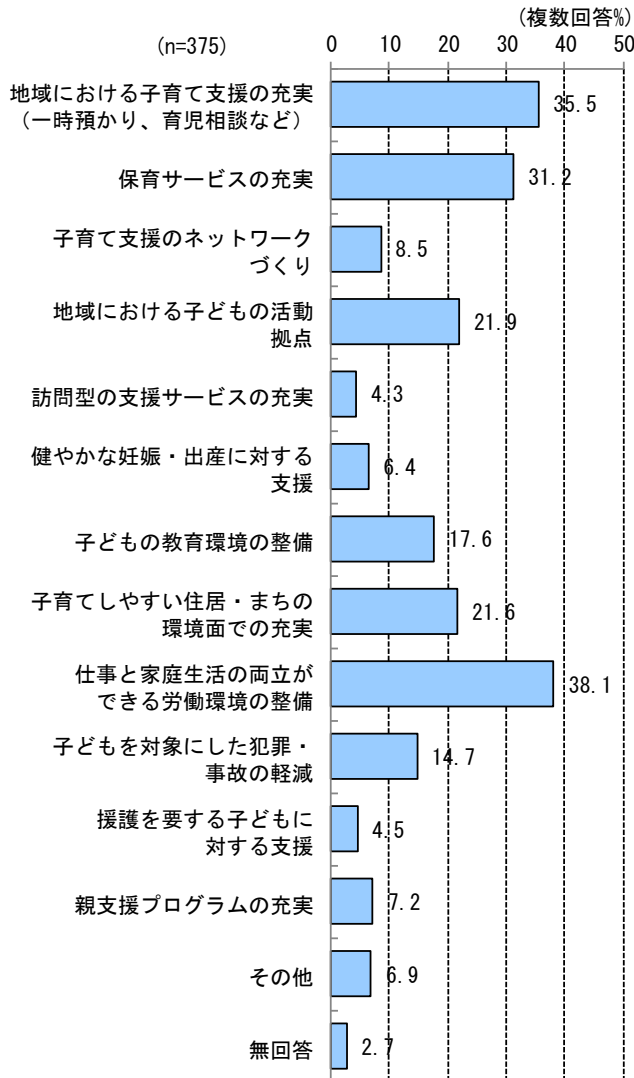


③子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策

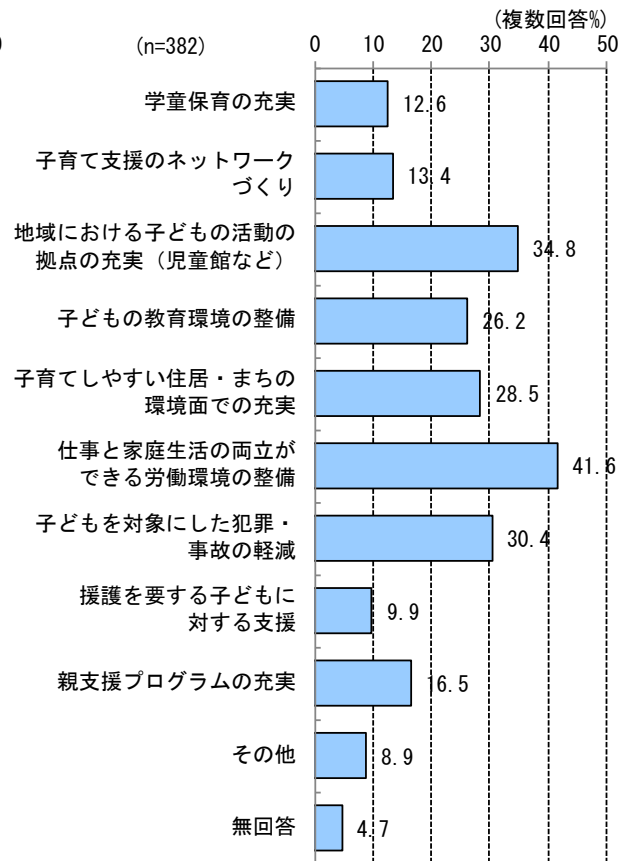
問45-2(問33-2) 問45(問33)で「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」「つらいと感じることの方が多し」を選ばれた方におうかがいします。あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

子育てを「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」または「つらいと感じることの方が多し」と回答した保護者を対象に、子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策をたずねた。就学前児童は「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が38.1%で最も多く、次いで「地域における子育て支援の充実」(35.5%)や「保育サービスの充実」(31.2%)となっている。一方、小学生も「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」(41.6%)が最も多く、次いで「地域における子どもの活動の拠点の充実」(34.8%)や「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」(30.4%)となっている。

【就学前児童】



【小学生】

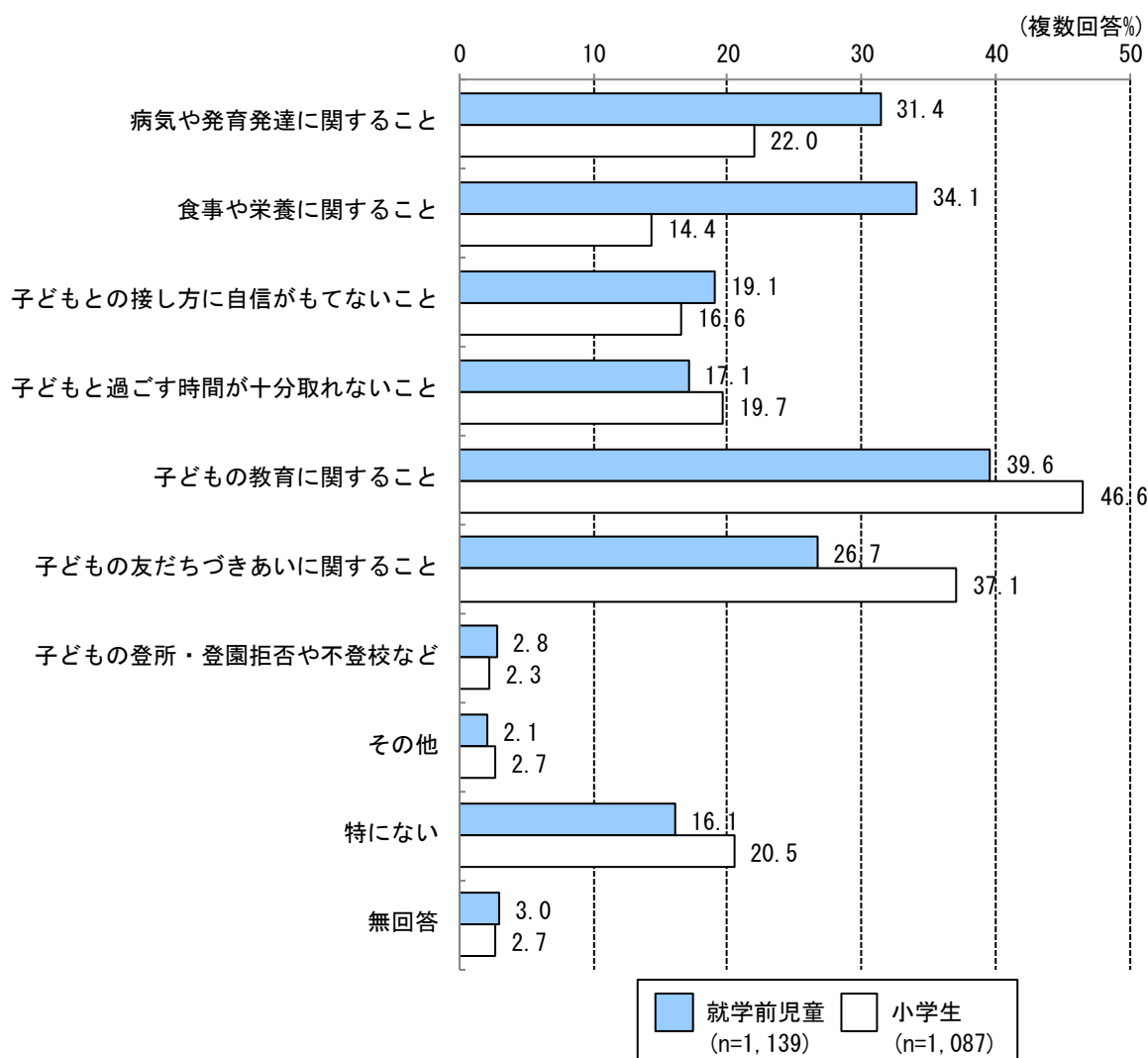


(3) 子育てに関する悩みや気になること

問46(問34) 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。
 なお、事業の内容によっては、一定の利用料が必要となる場合があります。

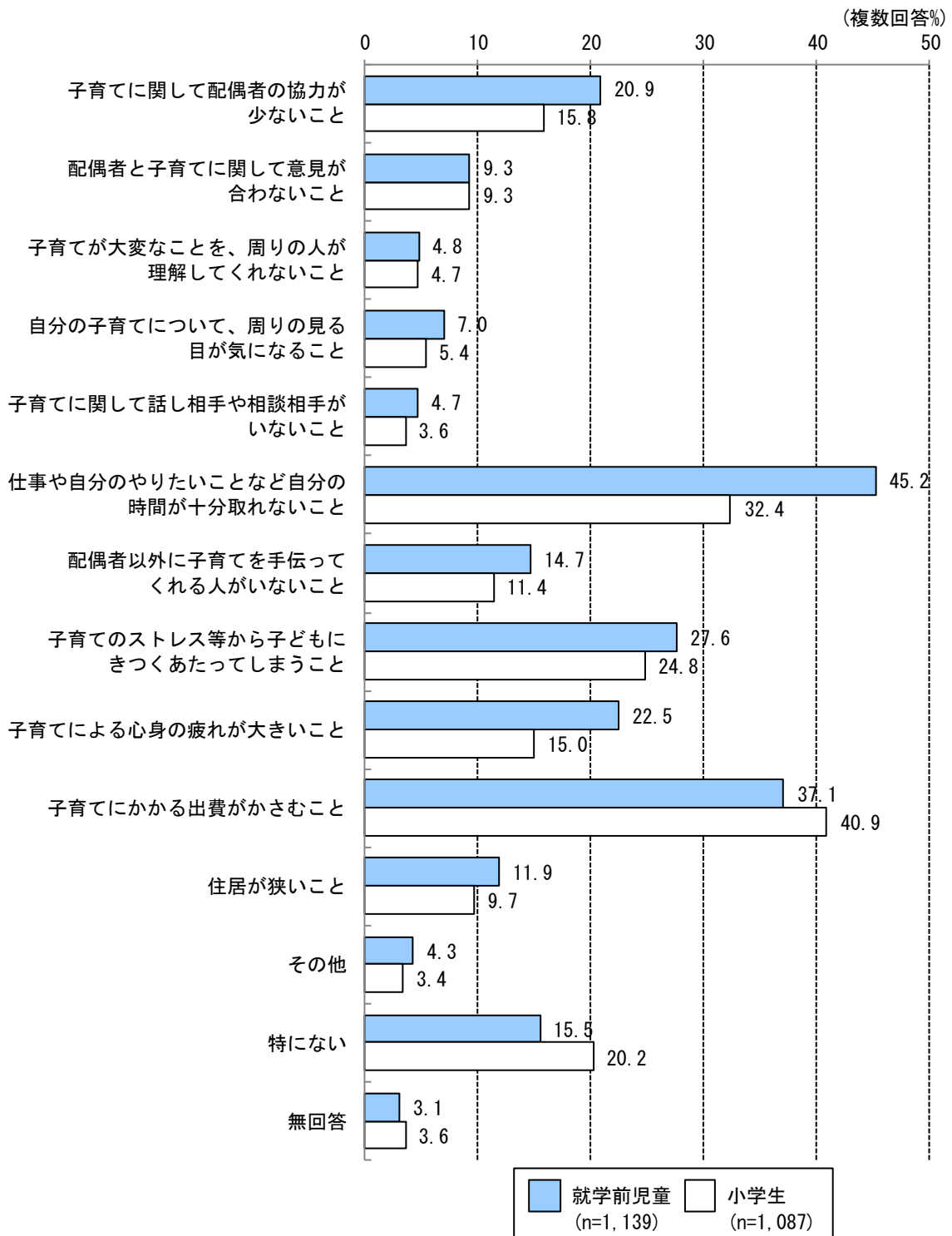
①子どもに関すること

子どもに関する悩みごとで最も多いものは、就学前児童、小学生とも「子どもの教育に関すること」で就学前児童が39.6%、小学生が46.6%となっている。これに次いで、就学前児童では「食事や栄養に関すること」(34.1%)、「病気や発育発達に関すること」(31.4%)などが多い。小学生では「子どもの友だちづきあいに関すること」(37.1%)が2番目に多くなっている。



②自身に関すること

保護者自身に関する悩みごとをみると、就学前児童の保護者では「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」(45.2%)が最も多い。これに次いで、「子育てにかかる出費がかさむこと」(37.1%)、「子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと」(27.6%)、「子育てによる心身の疲れが大きいこと」(22.5%)などが多い。小学生では「子育てにかかる出費がかさむこと」(40.9%)が最も多く、次いで、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」(32.4%)、「子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと」(24.8%)などが多くなっている。



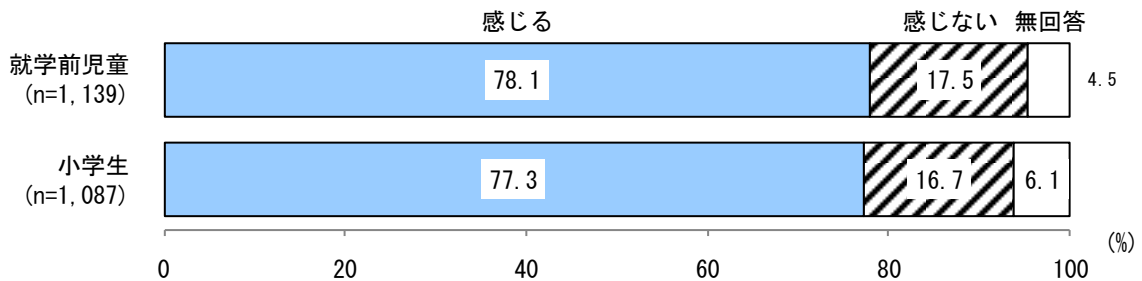
(4) 地域での子育て支援に対する実感の有無

問47(問35) ご自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

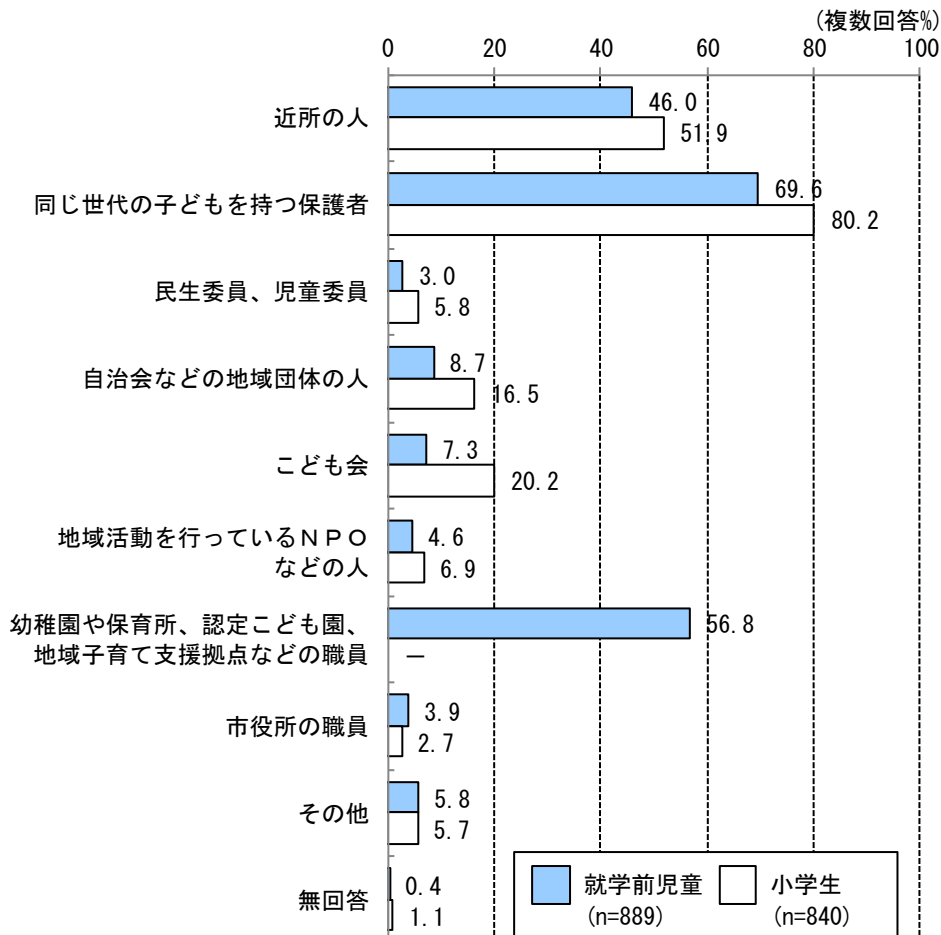
子育てが地域の人や社会に支えられていると感じる割合は、就学前児童の保護者が78.1%、小学生の保護者が77.3%となっている。

それが誰から支えられていると感じるのかについては、就学前児童、小学生とも「同じ世代の子どもを持つ保護者」(就学前69.6%、小学生80.2%)が最も多く、特に小学生の保護者の割合が高い。これに次いで就学前児童の保護者では、「幼稚園や保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」(56.8%)が、小学生の保護者では「近所の人」(51.9%)がそれぞれ多くなっている。

□自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。

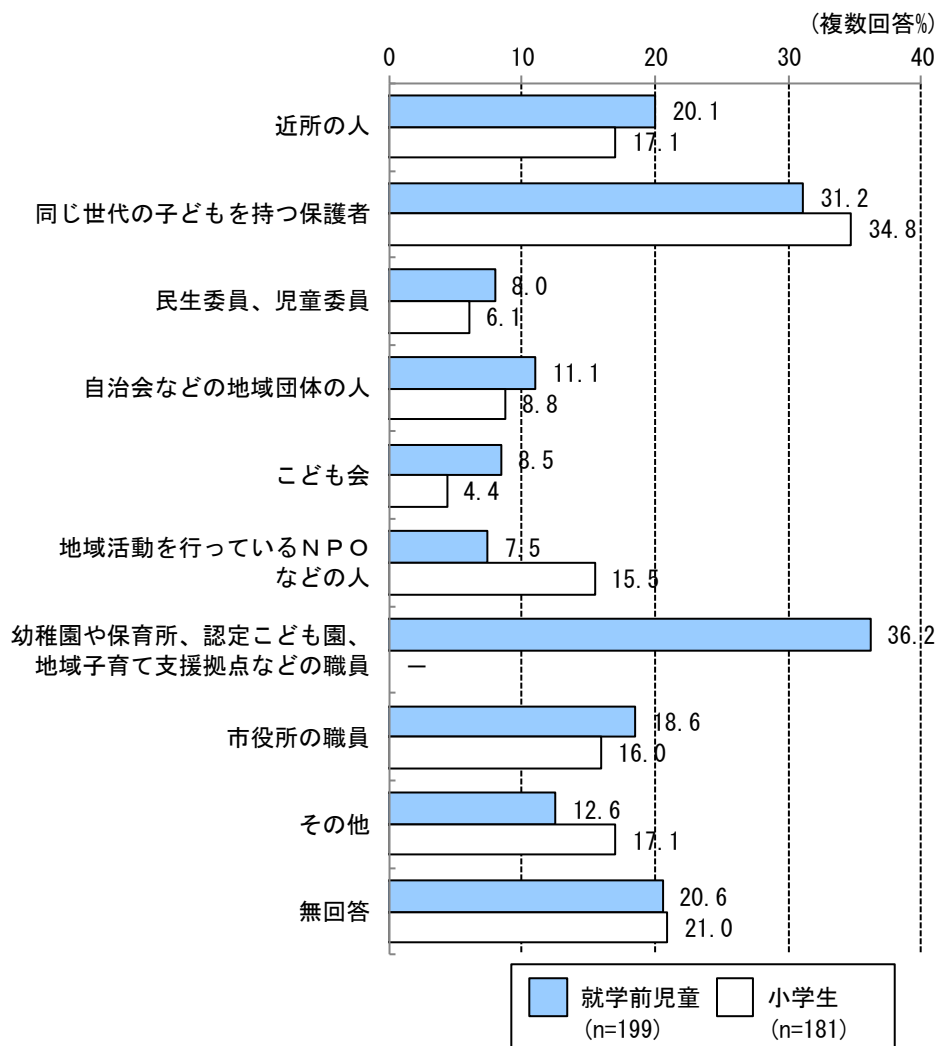


□特に誰から支えられていると感じますか。



一方、子育てが地域の人や社会に支えられていると感じない割合は、就学前児童が17.5%、小学生の保護者が16.7%となっており、そのような回答をした保護者が特に誰から支えてほしいのかについては、就学前児童では「幼稚園や保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」(36.2%)、「同じ世代の子どもを持つ保護者」(31.2%)が多く、小学生では「同じ世代の子どもを持つ保護者」(34.8%)が多い。また、小学生では「地域活動を行っているNPOなどの人」(15.6%)の割合が就学前児童に比べ高い。

□特に誰から支えてほしいと感じますか。

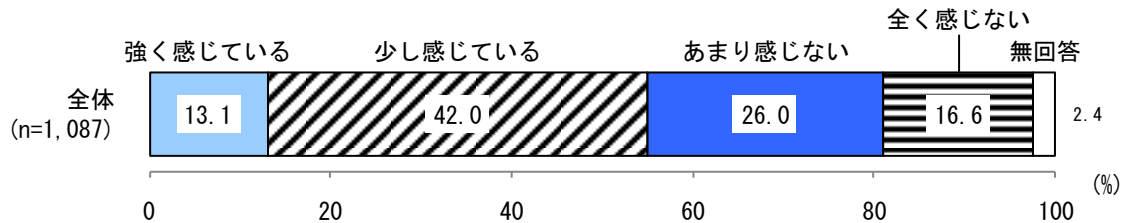


(5) 就学前から小学校入学にあたっての不安について [小学生のみ]

① 就学前から小学校入学にあたっての不安の程度

問36 就学前から小学校入学にあたり、何か不安はありましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

不安を感じている割合（「強く感じている」と「少し感じている」の割合の合計）は55.1%に対し、不安を感じていない割合（「全く感じない」と「あまり感じない」の割合の合計）は42.6%で、不安を感じている割合が高くなっている。

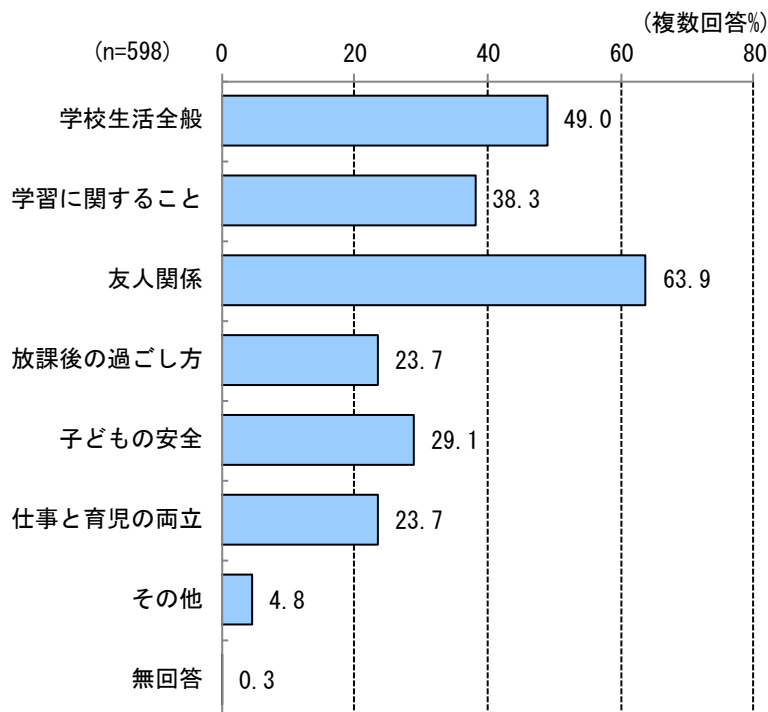


② 就学前から小学校入学にあたっての不安内容

問36-1 問36で「強く感じている」または「少し感じている」を選ばれた方におうかがいします。

その内容はどんなものですか。特に不安を感じた番号3つに○をつけてください。

不安を感じている場合の内容は、「友人関係」(63.9%)が最も多く、これに次いで「学校生活全般」(49.0%)、「学習に関すること」(38.3%)となっている。



③就学前から小学校入学にあたっての不安の相談先

問36-2 問36で「強く感じている」または「少し感じている」を選ばれた不安がある方におうかがいします。
その場合、相談する人や場所はどこですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

不安に関する相談先は、「子育ての先輩・友人」が44.3%で最も多く、これに次いで「ご自身や配偶者の親、親せき」(42.0%)、「小学校」(30.6%)となっている。

